

平成 23 年度 第 8 次大和市総合計画に関する市民意識調査
集計結果報告書

平成 24 年 3 月

大和市

内容

I. 市民意識調査の概要.....	1
II. アンケート調査結果の集計結果.....	4
III. アンケート調査の分析結果.....	13
1. 回答者属性.....	13
(1) 性別.....	13
(2) 年齢.....	13
(3) 居住年数.....	14
(4) 家族構成.....	14
(5) 「未就学」または「小学生以上 18 歳未満」の子どもの有無.....	15
(6) 住居形態.....	15
(7) 居住地域.....	16
2. 回答結果.....	17
(1) 大和市への愛着心（問 1）.....	17
(2) 大和市への定住意識（問 2）.....	22
(3) 大和市の施策の重要度、満足度（問 3）.....	27
(4) 大和市のイメージ（問 4）.....	33
(5) 心と身体健康づくりに関する取り組み（問 5）.....	40
(6) 高齢社会に関する取り組み（問 6）.....	43
(7) 子育てに関する取り組み（問 7）.....	46
(8) 防災対策に関する取り組み（問 8）.....	49
(9) 環境問題に対する取り組み（問 9）.....	52
(10) 移動しやすいまちづくりに関する取り組み（問 10）.....	55
(11) 文化芸術の振興に関する取り組み（問 11）.....	58
(12) 地域経済の活性化への取り組み（問 12）.....	61
(13) 行政経営に関する取り組み（問 13）.....	64
(14) まちづくりに関する自由意見.....	67
IV. 調査結果のまとめ.....	72

I. 市民意識調査の概要

(1) 目的

大和市では、10年間にわたる市政運営の基本的な方針を示した「第8次大和市総合計画」に基づき、「健康創造都市 やまと」の実現に向け、計画的にまちづくりを進めている。前期基本計画の計画期間が平成25年度をもって終了することから、現在、平成26年度からの後期基本計画の策定作業に取り組んでいるところである。

こうした計画策定に市民の意見を反映させる取り組みの一環として、市民の意向やニーズを把握することを目的とした市民意識調査を実施することとした。

(2) 調査の方法

- ①調査対象 : 大和市に居住する16歳以上の市民5,000人を住民基本台帳及び外国人登録から無作為抽出した。
- ②調査方法 : 調査票を郵送により配布・回収した。
- ③調査時期 : 平成23年11月に実施した。

(3) 調査項目

- ①大和市への愛着度
- ②大和市への定住意向
- ③まちづくりの分野の重要度、満足度
- ④まちづくりや市の施策に関する市民の意識
- ⑤重点施策の中で重視すべき内容
- ⑥まちづくりに関しての意見、要望

(4) 調査結果

有効回答数は、2,510人（回収率50.2%）となった。なお、男女別・年代別・地域別の回収状況は次の通りである。

【男女別回答率】

性別	発送合計	回収合計	回収率
男性	2,555	1,059	41.4%
女性	2,445	1,344	55.0%
無回答	-	107	-
合計	5,000	2,510	50.2%

【年代別回答率】

年代	発送数	回収合計	回収率
10歳代	214	76	35.5%
20歳代	700	206	29.4%
30歳代	999	396	39.6%
40歳代	926	419	45.2%
50歳代	663	340	51.3%
60歳代	828	512	61.8%
70歳以上	670	457	68.2%
無回答	-	104	-
合計	5,000	2,510	50.2%

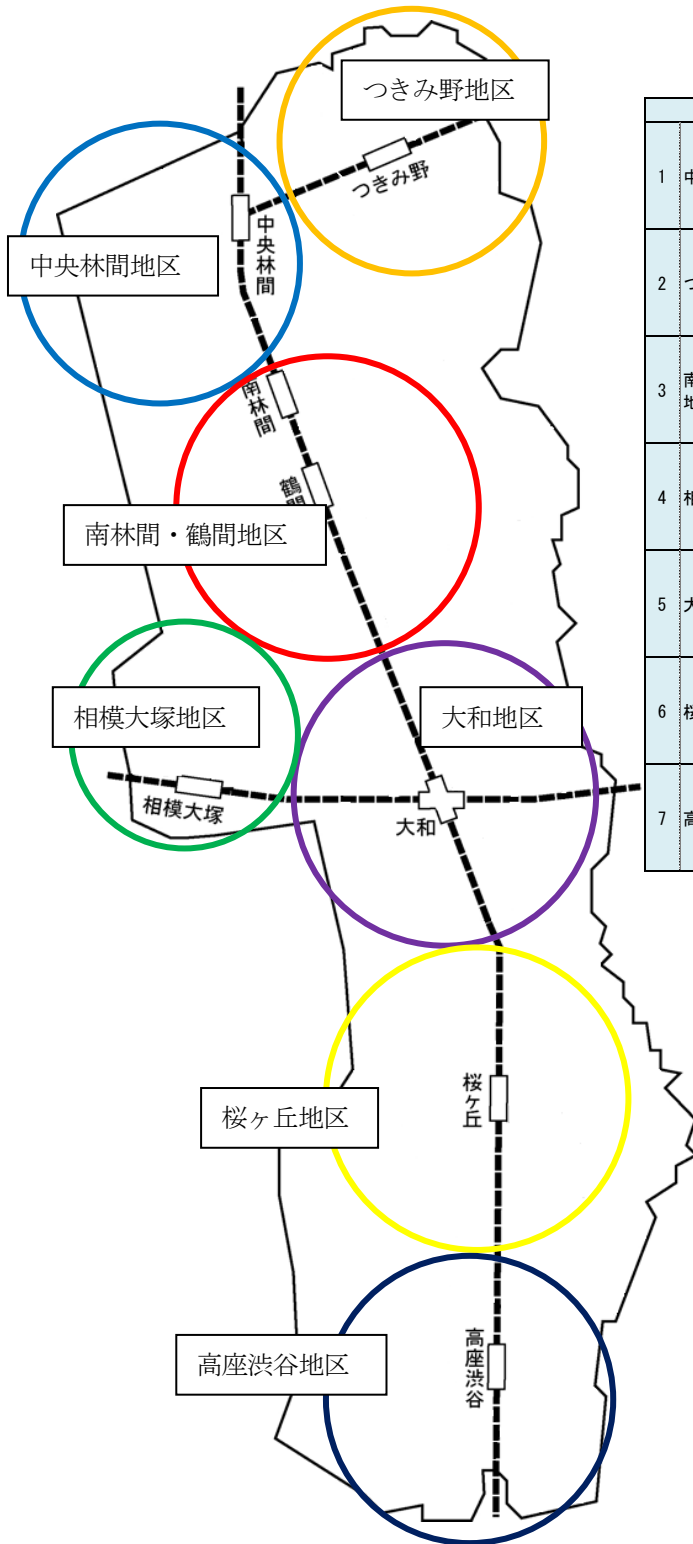
【地域回答率】

地域名	発送数	回収数	回収率
中央林間地区	560	290	51.8%
つきみ野地区	431	230	53.4%
南林間・鶴間地区	1,596	750	47.0%
相模大塚地区	148	61	41.2%
大和地区	963	473	49.1%
桜ヶ丘地区	794	394	49.6%
高座渋谷地区	508	267	52.6%
無回答	-	45	-
合計	5,000	2,510	50.2%

注意：

- 図表の数値は、回答率を表している。
- 図表の数値は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問では、合計が100%を超える場合がある。
- 地域名は下記町名ごとに集約してある。

【地域区分略図】



地域区分	地区名
1	中央林間地区 下鶴間（1448～1646・4374～4457番地）、 中央林間1～6丁目、中央林間西1～7丁目
2	つきみ野地区 下鶴間（1～1439・1945・2046～2244・5011～5287番地） つきみ野1～8丁目、
3	南林間・鶴間地区 上草柳5～9丁目、 下鶴間（1733～1943・1946～2044・2245～3070番地）、 鶴間1～2丁目、西鶴間1～8丁目、深見西5～8丁目、 南林間1～9丁目、林間1～2丁目、
4	相模大塚地区 上草柳、桜森1～3丁目
5	大和地区 上草柳1～4丁目、下草柳、草柳1～3丁目、 中央1～7丁目、深見、深見台1～4丁目、 深見東1～3丁目、深見西1～4丁目、柳橋1・4丁目、 大和東1～3丁目、大和南1～2丁目、
6	桜ヶ丘地区 上和田（1～2743番地）、代官1～4丁目、 福田（2264～2620・4147～5697番地）、福田1～8丁目、 柳橋2・3・5丁目、
7	高座渋谷地区 上和田（2744～3523番地）、渋谷1～6丁目、下和田、 福田（1～2263・3264～4146・6000～6215番地）

Ⅱ. アンケート調査結果の集計結果

大和市についてお伺いします

問1 あなたは、大和市に愛着を感じていますか。(○印は1つ)

53.5%	1,342 件	1 愛着を感じている
19.2%	483 件	2 以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた
8.6%	216 件	3 以前は愛着があったが、最近薄れつつある
13.3%	335 件	4 愛着は感じない
5.3%	134 件	無回答

問2 あなたは、これからも大和市内に住み続けたいですか。(○印は1つ)

52.3%	1,313 件	1 ずっと住み続けるつもり
9.4%	237 件	2 10年以上は住むつもり
5.9%	147 件	3 5年～9年間は住むつもり
3.5%	89 件	4 5年以内に転出したい
24.1%	606 件	5 わからない
4.7%	118 件	無回答

問3 あなたは、下記のまちづくりの分野の中で、どの分野が重要と感じていますか。またどの分野に満足されていますか。

(1) あなたにとって重要度の高い分野(1～14の中から3つまで)

		【まちづくりの分野】
12.5%	941 件	1 心身の健康や地域福祉に関すること
17.0%	1,277 件	2 地域医療や救急医療に関すること
10.4%	784 件	3 子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること
5.7%	428 件	4 働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること
13.7%	1,032 件	5 防犯や交通安全に関すること
6.3%	475 件	6 防災に関すること
3.6%	273 件	7 緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関すること
5.4%	410 件	8 公園や道路などの都市基盤の整備に関すること
5.1%	386 件	9 交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること
1.8%	133 件	10 生涯学習やスポーツ活動に関すること
1.8%	135 件	11 文化や芸術に関すること
5.5%	411 件	12 地域経済の活性化や就労機会の確保に関すること
1.1%	82 件	13 イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること
1.9%	142 件	14 地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること
8.2%	621 件	無回答

(2)あなたにとって満足度の高い分野(1～14の中から3つまで)

【まちづくりの分野】		
4.0%	300 件	1 心身の健康や地域福祉に関する事
6.6%	497 件	2 地域医療や救急医療に関する事
2.8%	212 件	3 子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関する事
1.0%	77 件	4 働きながら子育てしやすい環境づくりに関する事
4.4%	332 件	5 防犯や交通安全に関する事
3.6%	271 件	6 防災に関する事
7.8%	591 件	7 緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関する事
7.6%	574 件	8 公園や道路などの都市基盤の整備に関する事
8.1%	611 件	9 交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関する事
5.7%	431 件	10 生涯学習やスポーツ活動に関する事
2.6%	194 件	11 文化や芸術に関する事
1.2%	91 件	12 地域経済の活性化や就労機会の確保に関する事
5.4%	406 件	13 イベントや観光資源を活かした様々な交流に関する事
1.9%	145 件	14 地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関する事
37.2%	2,798 件	無回答

(3)あなたが最も重点的に進めて欲しいと思う分野((1)で選んだ中から1つだけ)

【まちづくりの分野】		
10.9%	274 件	1 心身の健康や地域福祉に関する事
17.2%	432 件	2 地域医療や救急医療に関する事
11.5%	289 件	3 子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関する事
6.9%	174 件	4 働きながら子育てしやすい環境づくりに関する事
12.4%	312 件	5 防犯や交通安全に関する事
6.0%	150 件	6 防災に関する事
3.2%	80 件	7 緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関する事
5.1%	128 件	8 公園や道路などの都市基盤の整備に関する事
5.1%	127 件	9 交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関する事
0.8%	21 件	10 生涯学習やスポーツ活動に関する事
2.1%	53 件	11 文化や芸術に関する事
8.1%	203 件	12 地域経済の活性化や就労機会の確保に関する事
1.0%	25 件	13 イベントや観光資源を活かした様々な交流に関する事
2.2%	54 件	14 地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関する事
7.5%	188 件	無回答

問4 あなたは次にあげる項目についてどう思われますか。右欄の「そう思う」から「そう思わない」までの中から選んで番号に○印をつけてください。(それぞれ○印は1つ)

単位：%

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
健康・医療・福祉・人権	1 あなたは、健康であると思う	41.6	36.8	13.7	6.6	1.4
	2 あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う	24.7	38.4	28.1	7.4	1.4
	3 大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う	15.0	50.0	26.3	6.5	2.2
	4 あなたの地域では、介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う	6.3	41.0	38.8	9.1	4.7
	5 あなたの地域では、高齢者が生き生きと活動していると思う	9.9	44.7	34.8	6.9	3.7
	6 あなたの地域では、支えあう人のつながりがあると思う	8.2	33.7	41.7	13.0	3.4
	7 あなたの地域では、差別意識がないと思う	23.3	42.5	23.7	7.0	3.5
子ども	8 大和市では、子育てに関する不安を相談できる場があると思う	10.1	37.6	35.2	6.7	10.4
	9 大和市では、経済的に不安なく子育てができていると思う	4.4	31.0	42.0	12.4	10.3
	10 大和市では、子どもの個性や能力にあった教育が行われていると思う	3.7	28.8	44.1	12.3	11.1
スポーツ・文化・国際交流	11 あなたは、日常的にスポーツを楽しんでいると思う	15.3	20.8	30.8	30.4	2.7
	12 大和の歴史や文化は、しっかり継承されていると思う	6.1	35.4	40.4	12.8	5.3
	13 大和市では、文化や芸術活動が盛んに行われていると思う	6.9	35.5	41.0	12.2	4.4
	14 あなたのまわりでは、国際交流が行われていると思う	3.0	16.5	47.6	27.8	5.1
安全・安心	15 以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う	8.0	38.0	35.4	15.0	3.5
	16 あなたの地域では、広域避難場所が知られていると思う	23.8	43.0	23.0	7.8	2.4
	17 以前に比べて、航空機による騒音が減ったと思う	9.3	25.4	25.8	37.8	1.7
環境・緑・公園	18 あなたのまわりでは、環境に配慮している人が多いと思う	8.0	41.3	38.1	9.2	3.4
	19 大和市には、緑や公園が多いと思う	19.0	49.0	22.4	7.1	2.5
都市環境	20 大和市は、良好な街並みが形成されていると思う	7.7	37.0	39.2	13.0	3.1
	21 大和市は、買い物がしやすいと思う	27.6	42.5	19.1	8.9	1.8
	22 大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う	32.7	43.1	16.5	5.3	2.4
地域活動	23 あなたは、地域活動に参加していると思う	6.8	19.1	33.8	37.4	2.9
開かれた行政	24 大和市では、市政情報（市が提供すべき情報）を手軽に入手できると思う	14.3	46.2	30.3	5.9	3.3
	25 大和市役所は、市民の声が届く市役所であると思う	7.4	36.3	40.9	11.5	3.9
	26 大和市では、市政への参加の機会が確保されていると思う	5.0	32.4	47.6	10.1	4.9

問 5 心と身体の健康づくりに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

29.4%	1,478 件	1 健康診断や各種検診の充実
15.8%	794 件	2 体力づくり、運動に関する機会や場の提供
6.0%	300 件	3 生活習慣病（喫煙、飲酒を含む）予防のための講演会や教室の開催
15.8%	793 件	4 心の健康に関する相談や情報提供
8.7%	439 件	5 食育や食生活改善に関する相談や普及啓発
8.5%	426 件	6 感染症や食中毒に対する予防
1.3%	64 件	7 その他（具体的に：)
14.5%	726 件	無回答

問 6 高齢社会に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

26.2%	1,313 件	1 介護サービスや介護施設の充実
8.0%	400 件	2 趣味やレクリエーション活動のための機会や場の提供
7.1%	355 件	3 ボランティアなど社会貢献ができる機会の提供
16.8%	842 件	4 経験を活かして働くことができる機会の提供
11.2%	560 件	5 身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供
8.8%	442 件	6 公共施設などのバリアフリー化の推進
9.8%	491 件	7 高齢者の住まいの確保
0.8%	38 件	8 その他（具体的に：)
11.5%	579 件	無回答

問 7 子育てに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

24.3%	1,222 件	1 働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施
15.8%	795 件	2 医療費助成など経済的支援の充実
4.8%	242 件	3 子育てに関する相談や親同士の交流などへの支援
18.5%	927 件	4 子どもが安心して遊べる場や居場所の確保
7.5%	377 件	5 子どもの個性・能力にあった学校教育の推進
6.7%	337 件	6 学校、家庭及び地域が連携した教育の推進
8.1%	409 件	7 子どもの安全や人権を守る取り組みの推進
0.9%	45 件	8 その他（具体的に：)
13.3%	666 件	無回答

問8 防災に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

22.5%	1,128 件	1 避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備
19.1%	958 件	2 食料や飲料水、毛布など非常用物資の備蓄
11.1%	557 件	3 避難場所や避難路などの整備
13.9%	700 件	4 子どもや高齢者、障がい者など要援護者への対策の充実
9.1%	456 件	5 建物の耐震化への支援や河川の整備促進
4.7%	237 件	6 消防救急体制の充実
4.0%	201 件	7 防災訓練や自主防災組織の充実
5.3%	265 件	8 他都市や関係機関との協力体制の充実
0.5%	27 件	9 その他（具体的に：)
9.8%	491 件	無回答

問9 環境に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

9.2%	464 件	1 温室効果ガスの削減など地球温暖化対策の推進
16.0%	805 件	2 ごみの減量化と資源化の推進
24.2%	1,214 件	3 ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進
14.6%	733 件	4 緑地や農地の保全と緑化の推進
6.0%	303 件	5 生き物の生息環境の保全・再生
7.4%	369 件	6 環境教育や環境学習の充実
12.6%	631 件	7 大気汚染や水質汚濁などの防止
1.5%	76 件	8 その他（具体的に：)
8.5%	425 件	無回答

問10 移動しやすいまちづくりに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

18.3%	918 件	1 コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の導入
18.2%	914 件	2 自転車の利用に関するルールやマナーの啓発
15.9%	796 件	3 安全な自転車走行空間の整備やレンタサイクルの導入
18.6%	933 件	4 安全で快適な歩行者空間の確保
11.6%	583 件	5 高齢者や障がい者への移動支援
9.6%	480 件	6 道路や建物などのバリアフリー化の推進
1.0%	48 件	7 その他（具体的に：)
6.9%	348 件	無回答

問 11 文化芸術の振興に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

9.6%	483 件	1 文化芸術に関する情報の提供
23.9%	1,200 件	2 文化芸術を鑑賞する機会や場の提供
5.8%	289 件	3 文化芸術に関する団体やサークルへの支援
15.2%	761 件	4 子どもや青少年の文化芸術活動への支援
5.7%	286 件	5 創作活動の成果を発表する機会や場の提供
4.3%	216 件	6 文化芸術事業をサポートするボランティアの育成
11.2%	561 件	7 伝統文化継承者の育成、文化財の保護・活用
6.3%	317 件	8 国内・海外都市との文化芸術交流の推進
1.1%	56 件	9 その他（具体的に：)
17.0%	851 件	無回答

問 12 地域経済の活性化に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

23.3%	1,168 件	1 商業活性化策の充実
11.1%	558 件	2 工場や既存事業所、起業への支援
19.4%	974 件	3 市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上
20.9%	1,048 件	4 農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり
10.5%	529 件	5 観光イベントの促進や様々な地域活動への支援
1.1%	54 件	6 その他（具体的に：)
13.7%	689 件	無回答

問 13 行政経営に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(○印は2つまで)

21.4%	1,076 件	1 市政に関する分かりやすい情報提供
9.8%	490 件	2 民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入
12.5%	625 件	3 市民参加によるまちづくりの推進
8.6%	432 件	4 I T 技術などを活用した窓口手続きの簡素化
9.0%	454 件	5 市が保有する資産の売却や貸付などの有効活用
6.0%	304 件	6 各種団体への補助金等の見直し
9.1%	462 件	7 使用料や手数料などの受益者負担の適正化
4.5%	228 件	8 研修の充実などによる職員の能力開発
1.1%	54 件	9 その他（具体的に：)
18.0%	895 件	無回答

F1 あなたの性別を教えてください。(○印は1つ)

42.2%	1,059 件	1 男性
53.5%	1,344 件	2 女性
4.3%	107 件	無回答

F2 あなたの年齢を教えてください。(○印は1つ)

3.0%	76 件	1 20 歳未満
2.9%	72 件	2 20～24 歳
5.3%	134 件	3 25～29 歳
7.6%	190 件	4 30～34 歳
8.2%	206 件	5 35～39 歳
9.0%	226 件	6 40～44 歳
7.7%	193 件	7 45～49 歳
6.9%	174 件	8 50～54 歳
6.6%	166 件	9 55～59 歳
11.2%	281 件	10 60～64 歳
9.2%	231 件	11 65～69 歳
9.9%	248 件	12 70～74 歳
8.3%	209 件	13 75 歳以上
4.1%	104 件	無回答

F3 大和市内での居住年数を教えてください。(○印は1つ)

7.6%	190 件	1 3 年未満
4.4%	111 件	2 3 年以上～5 年未満
10.3%	259 件	3 5 年以上～10 年未満
20.0%	502 件	4 10 年以上～20 年未満
53.5%	1,342 件	5 20 年以上
4.2%	106 件	無回答

F4 同居されている家族構成を教えてください。(○印は1つ)

9.9%	248 件	1 ひとり暮らし
24.1%	604 件	2 夫婦のみ
51.7%	1,298 件	3 親と子 (2 世代)
6.2%	155 件	4 3 世代以上
3.9%	99 件	5 その他
4.2%	106 件	無回答

F5 あなたのご家族の中に、「未就学」または「小学生以上 18 歳未満」のお子さんがありますか。(○印は1つ)

9.6%	240 件	1 いる (未就学のお子さんのみ)
14.4%	362 件	2 いる (小学生以上 18 歳未満のお子さんのみ)
4.4%	111 件	3 いる (未就学と小学生以上 18 歳未満のお子さんどちらも)
68.8%	1,728 件	4 いない
2.7%	69 件	無回答

F6 あなたの現在の住居の形態を教えてください。(○印は1つ)

53.6%	1,345 件	1 戸建て住宅 (持ち家)
4.6%	116 件	2 戸建て住宅 (賃貸)
17.9%	449 件	3 マンション等集合住宅 (持ち家)
20.7%	519 件	4 マンション等集合住宅 (賃貸)
1.8%	46 件	5 社宅・官舎・寮 など
1.4%	35 件	無回答

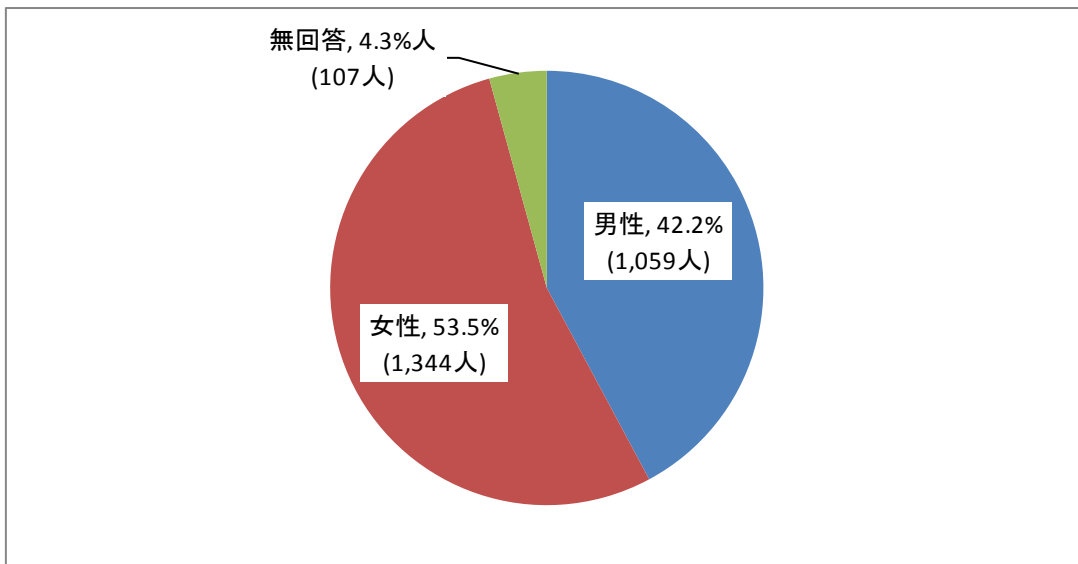
F7 あなたのお住まいの地域を教えてください。(○印は1つ)

	住所	割合	回答者数
か行	上草柳(1~4丁目)	2.0%	49
	上草柳(5~9丁目)	2.5%	62
	上草柳(1~1931番地)	0.8%	19
	上和田(1~2743番地)	5.3%	133
	上和田(2744~3523番地)	0.7%	18
さ行	桜森(1~3丁目)	1.7%	42
	渋谷(1・6丁目)	0.6%	15
	渋谷(2~5丁目)	0.6%	15
	下草柳	0.0%	1
	下鶴間(1~2丁目)	1.5%	37
	下鶴間(1~1439番地、1945番地、 2046~2244番地、5011~5287番地)	3.0%	75
	下鶴間(1448~1646番地、4374~4457番地)	1.4%	35
	下鶴間(1733~1943番地、1946~2044番地、 2245~3070番地)	5.3%	132
	下和田	1.9%	48
た行	草柳(1~3丁目)	1.2%	30
	代官(1~4丁目)	1.4%	36
	中央(1~7丁目)	5.3%	133
	中央林間(1・3・5丁目)	3.7%	92
	中央林間(2・4・6丁目)	3.6%	90
	中央林間西(1~7丁目)	2.9%	73
	つきみ野(1~8丁目)	6.2%	155
な行	鶴間(1~2丁目)	2.9%	74
	西鶴間(1~8丁目)	7.3%	183
は行	深見	2.7%	69
	深見台(1~4丁目)	1.8%	44
	深見西(1~4丁目)	1.6%	41
	深見西(5~8丁目)	0.8%	20
	深見東(1~3丁目)	0.8%	19
	福田(1~8丁目)	4.8%	120
	福田(1~2263番地、3264~4146番地、 6000~6215番地)	6.8%	171
ま行	福田(2264~2620番地、4147~5697番地)	1.9%	47
	南林間(1~9丁目)	7.2%	181
や行	柳橋(1・4丁目)	1.0%	25
	柳橋(2・3・5丁目)	2.3%	58
	大和東(1~3丁目)	1.6%	41
	大和南(1~2丁目)	0.8%	21
ら行	林間(1~2丁目)	2.4%	61
	無回答	1.8%	45

Ⅲ. アンケート調査の分析結果

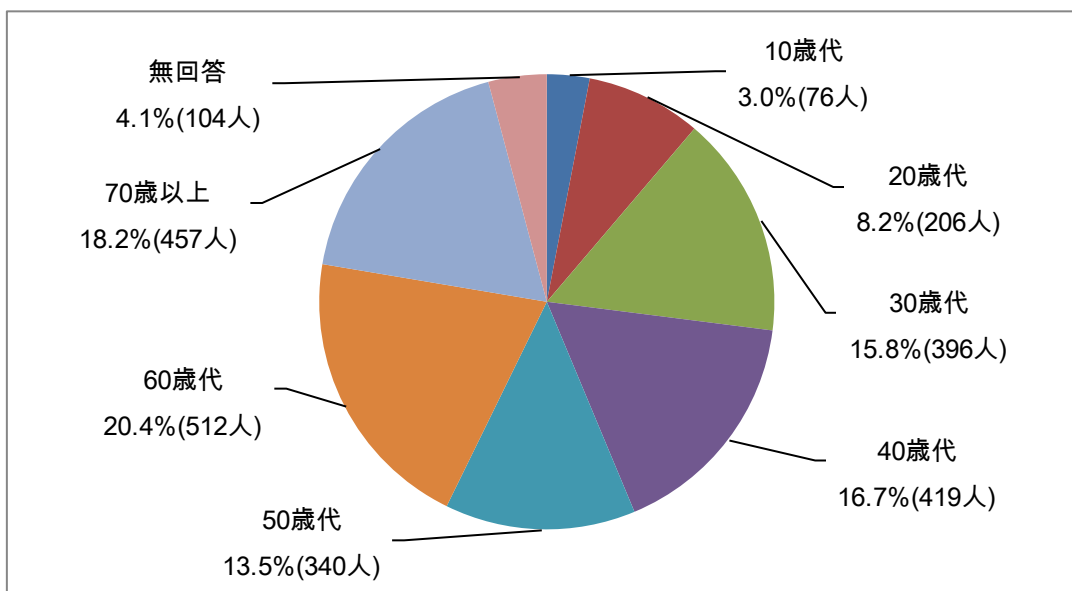
1. 回答者属性

(1) 性別



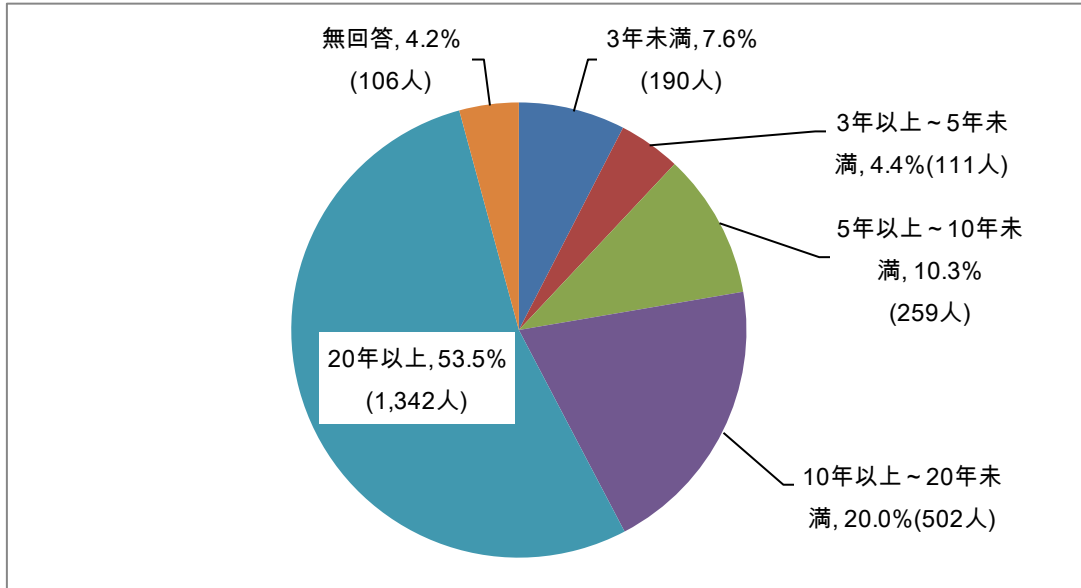
男性回答者は1,059人(42.2%)、女性回答者は1,344人(53.5%)と、回答者は女性の割合が多くなっている。

(2) 年齢



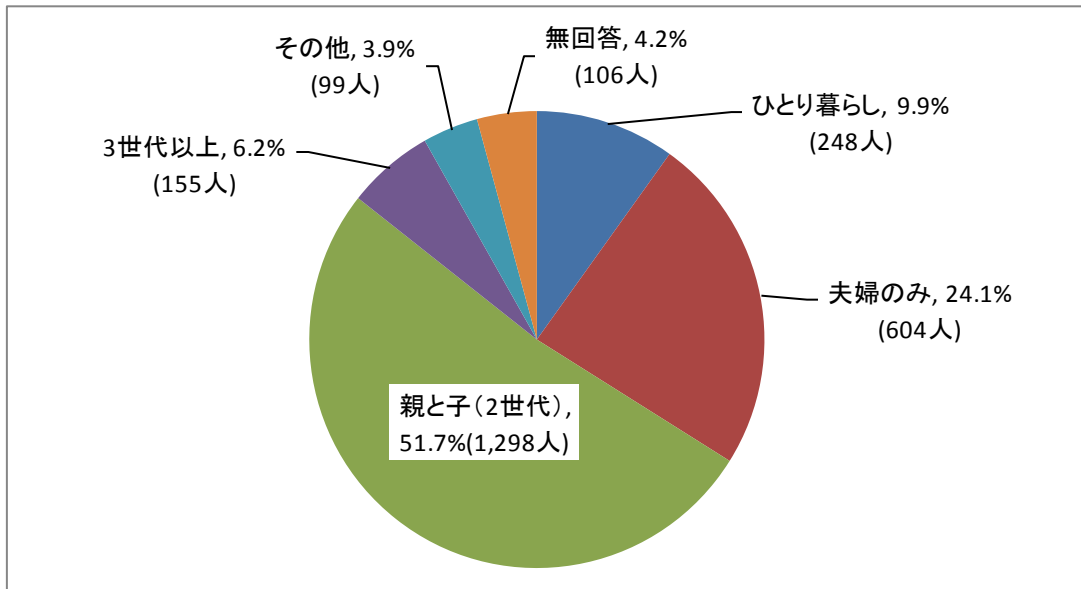
回答者は、60歳代が最も多く、512人(20.4%)となった。次いで、70歳以上が457人(18.2%)、40歳代419人(16.7%)、30歳代396人(15.8%)、50歳代340人(13.5%)、最も少ないのは10歳代で76人(3.0%)となっている。

(3) 居住年数



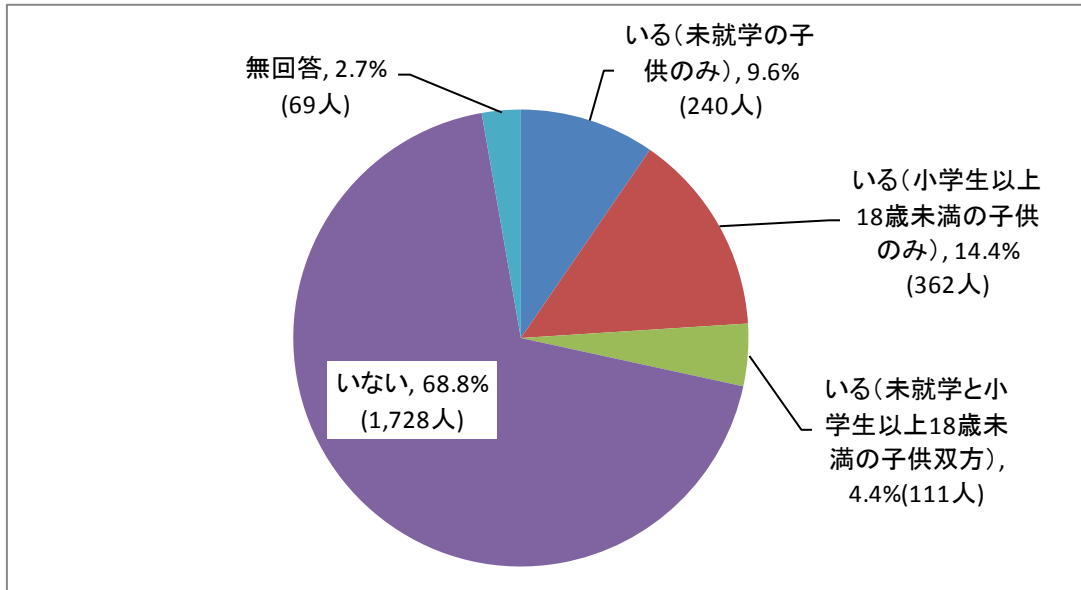
20年以上が最も多く1,342人(53.5%)となった。次いで、10年以上～20年未満が502人(20.0%)、5年以上～10年未満が259人(10.3%)となっている。最も少ないのは、3年以上～5年未満で、111人(4.4%)となった。

(4) 家族構成



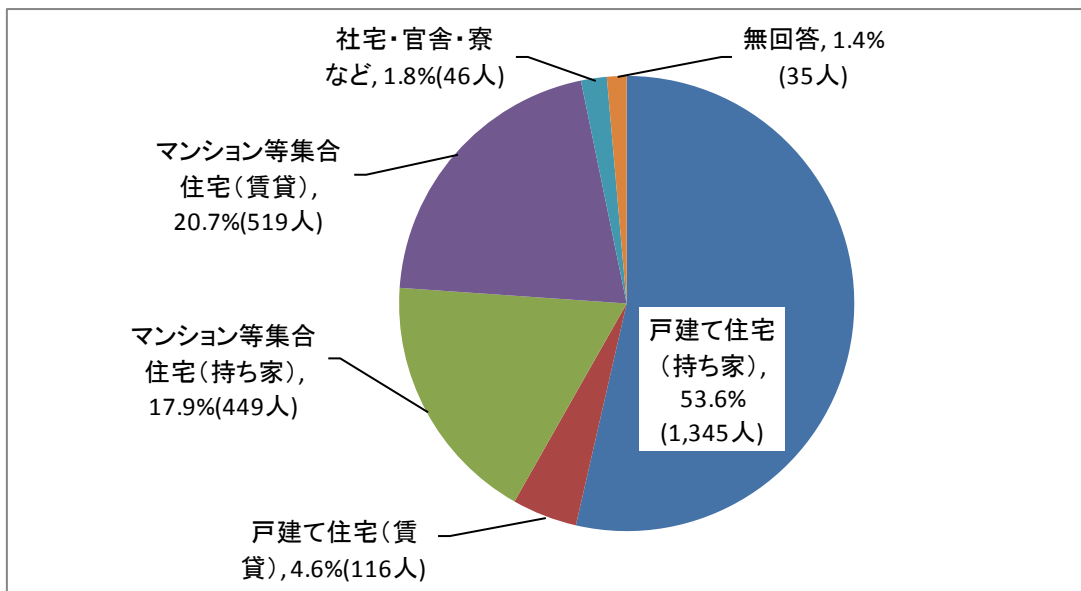
親と子(2世代)が最も多く1,298人(51.7%)となった。次いで、夫婦のみが604人(24.1%)、ひとり暮らしが248人(9.9%)となっている。最も少ないのは、3世代以上で、155人(6.2%)となった。

(5) 「未就学」または「小学生以上18歳未満」の子どもの有無



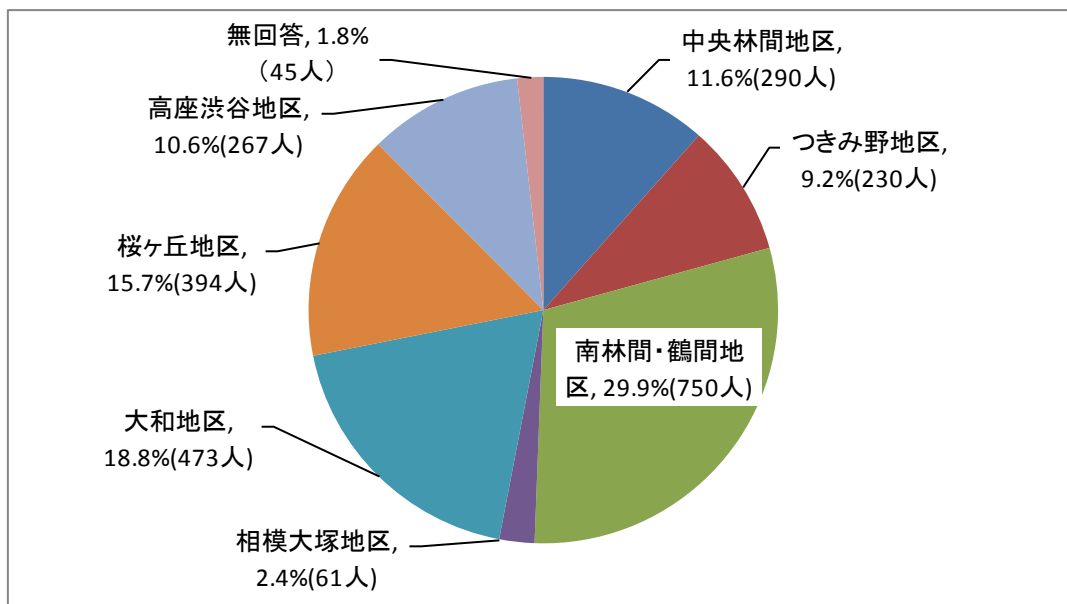
いない場合が最も多く1,728人(68.8%)となった。次いで、小学生以上18歳未満の子供のみの場合で362人(14.4%)となっている。最も少ないのは、未就学と小学生以上18歳未満の子供双方がいる場合で、111人(4.4%)となっている。

(6) 住居形態



戸建て住宅(持ち家)が最も多く1,345人(53.6%)となった。次いで、マンション等集合住宅(賃貸)が519人(20.7%)、マンション等集合住宅(持ち家)が449人(17.9%)となっている。最も少ないのは、社宅・官舎・寮などで、46人(1.8%)となっている。

(7) 居住地域



南林間・鶴間地区が最も多く 750 人 (29.9%) となった。次いで、大和地区で 473 人 (18.8%)、桜ヶ丘地区で 394 人 (15.7%) となっている。最も少ないのは、相模大塚地区で、61 人 (2.4%) となった。

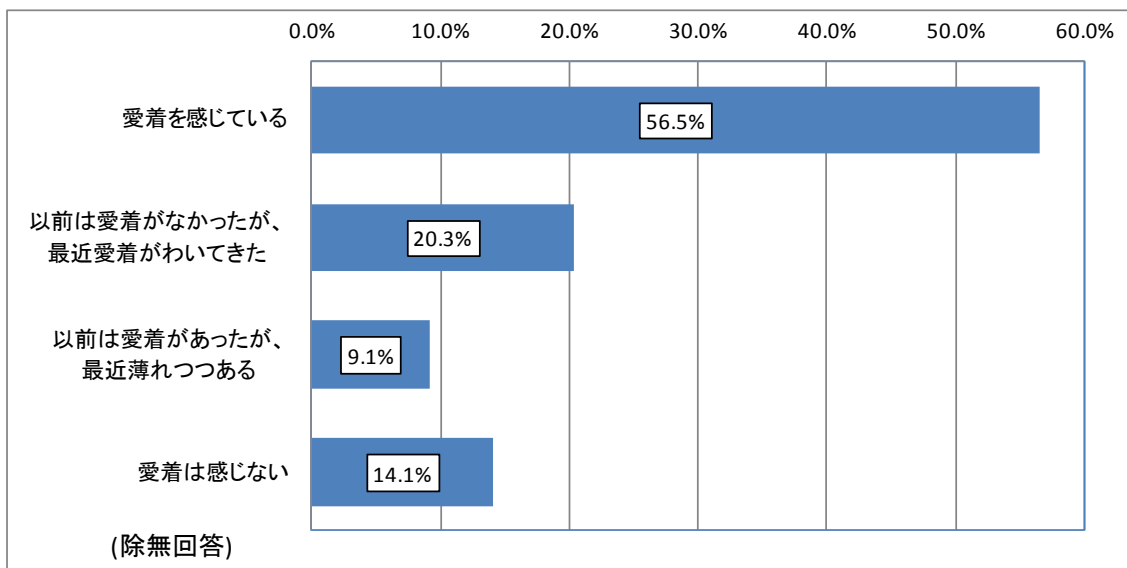
2. 回答結果

(1) 大和市への愛着心 (問1)

問1 あなたは、大和市に愛着を感じていますか。(〇印は1つ)

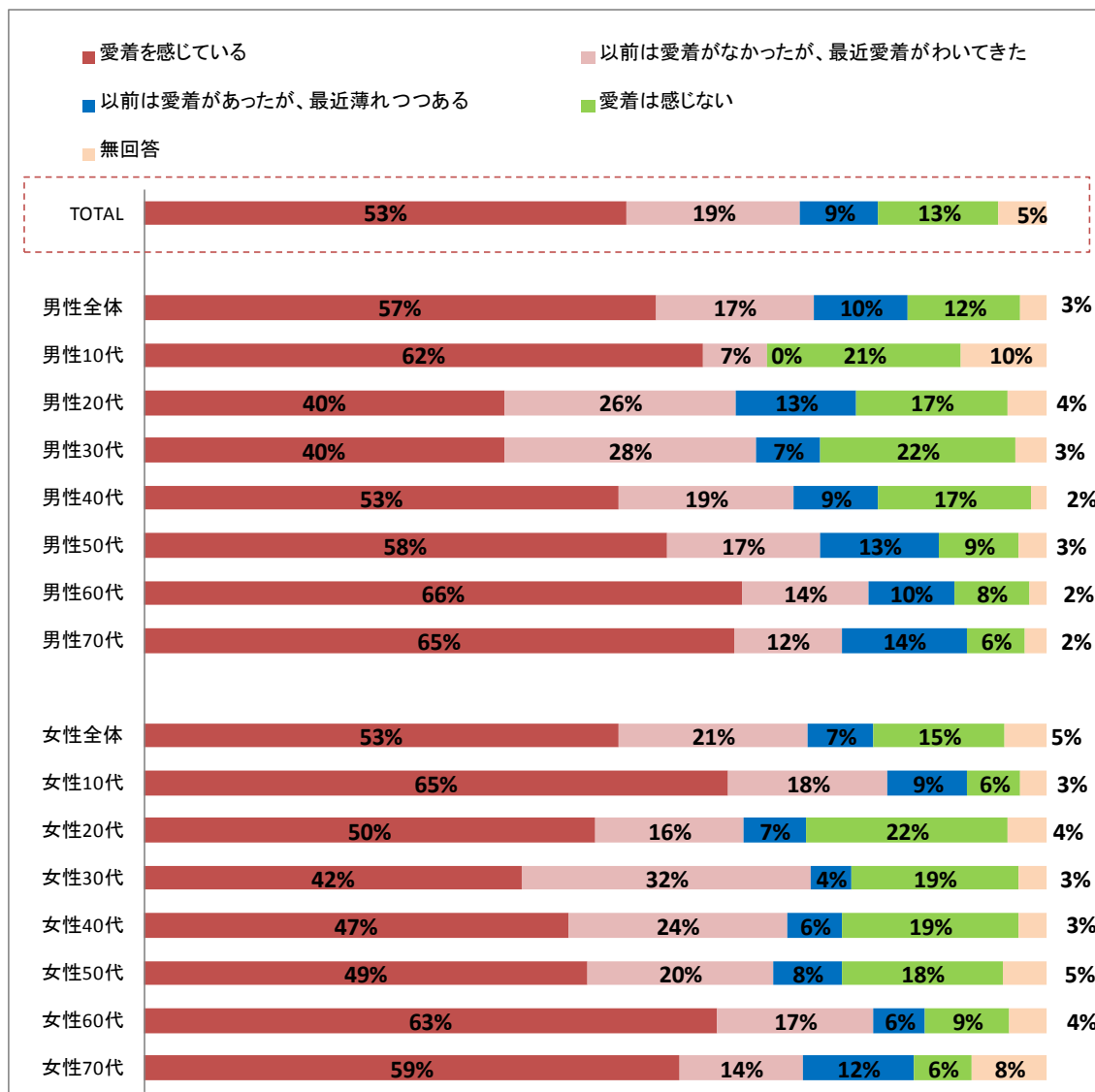
- 1 愛着を感じている
- 2 以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた
- 3 以前は愛着があったが、最近薄れつつある
- 4 愛着は感じない

○大和市への愛着心



「愛着を感じている」(56.5%)という回答はおよそ半数を占め、「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」(20.3%)をあわせると76.8%となっている。

○性別・世代ごと大和市への愛着心



男性全体の「愛着を感じている」が57%、女性全体の「愛着を感じている」が53%となっており、女性よりも男性の愛着が強いことが分かった。

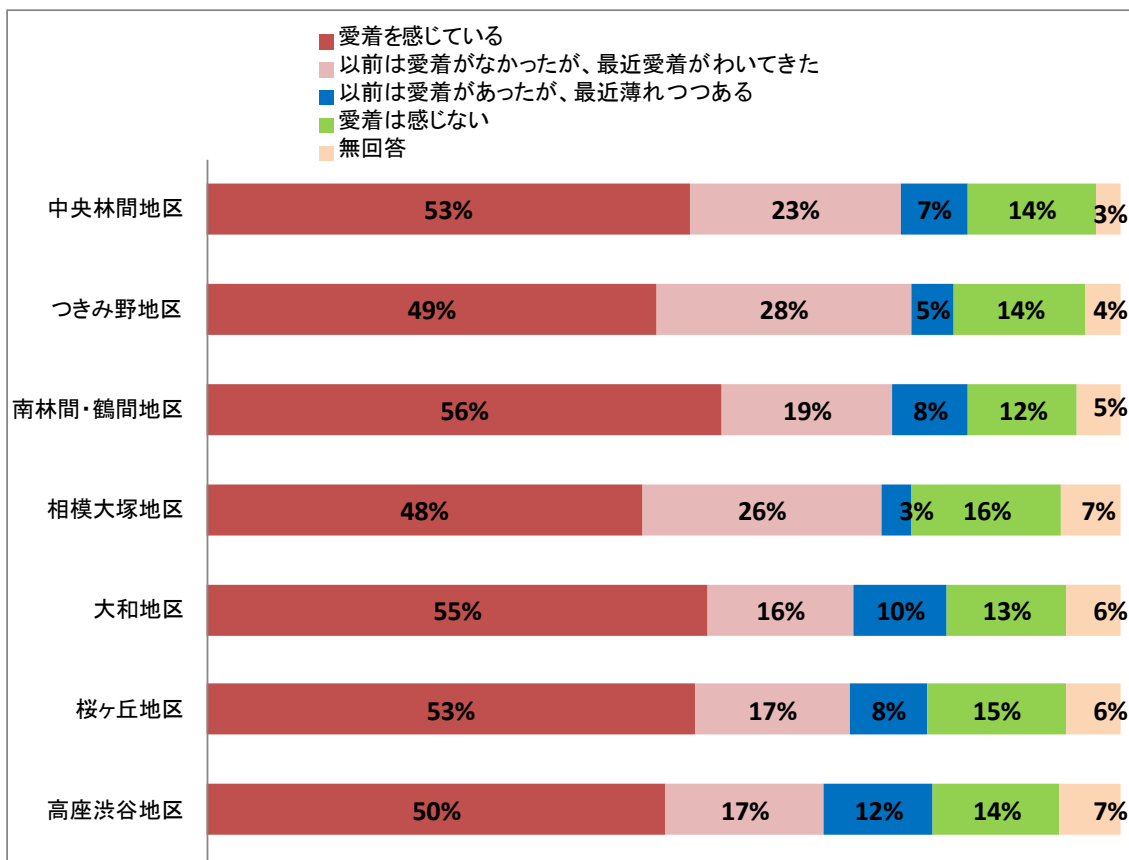
また、男性、女性ともに20代の「愛着を感じている」及び「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」の合計値が他の世代よりも低くなっていることが分かった（男性66%、女性66%）。それに対して、男性、女性共に60代の「愛着を感じている」及び「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」の合計値が各世代において一番高くなった（男性80%、女性80%）。

○年齢別にみた大和市への愛着心

		愛着を感じている	以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた	以前は愛着があったが、最近薄れつつある	愛着は感じない	無回答	合計
実数	全体	1,342	483	216	335	134	2,510
	20歳未満	48	9	3	11	5	76
	20～24歳	34	14	7	16	1	72
	25～29歳	60	28	13	25	8	134
	30～34歳	71	56	9	45	9	190
	35～39歳	92	65	12	33	4	206
	40～44歳	104	55	17	43	7	226
	45～49歳	103	38	14	34	4	193
	50～54歳	90	39	15	23	7	174
	55～59歳	91	25	20	23	7	166
	60～64歳	181	39	23	28	10	281
	65～69歳	151	41	16	17	6	231
	70～74歳	151	35	27	20	15	248
75歳以上	131	24	33	9	12	209	
		愛着を感じている	以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた	以前は愛着があったが、最近薄れつつある	愛着は感じない	無回答	合計
構成比	全体	53.5%	19.2%	8.6%	13.3%	5.3%	100%
	20歳未満	63.2%	11.8%	3.9%	14.5%	6.6%	100%
	20～24歳	47.2%	19.4%	9.7%	22.2%	1.4%	100%
	25～29歳	44.8%	20.9%	9.7%	18.7%	6.0%	100%
	30～34歳	37.4%	29.5%	4.7%	23.7%	4.7%	100%
	35～39歳	44.7%	31.6%	5.8%	16.0%	1.9%	100%
	40～44歳	46.0%	24.3%	7.5%	19.0%	3.1%	100%
	45～49歳	53.4%	19.7%	7.3%	17.6%	2.1%	100%
	50～54歳	51.7%	22.4%	8.6%	13.2%	4.0%	100%
	55～59歳	54.8%	15.1%	12.0%	13.9%	4.2%	100%
	60～64歳	64.4%	13.9%	8.2%	10.0%	3.6%	100%
	65～69歳	65.4%	17.7%	6.9%	7.4%	2.6%	100%
	70～74歳	60.9%	14.1%	10.9%	8.1%	6.0%	100%
75歳以上	62.7%	11.5%	15.8%	4.3%	5.7%	100%	

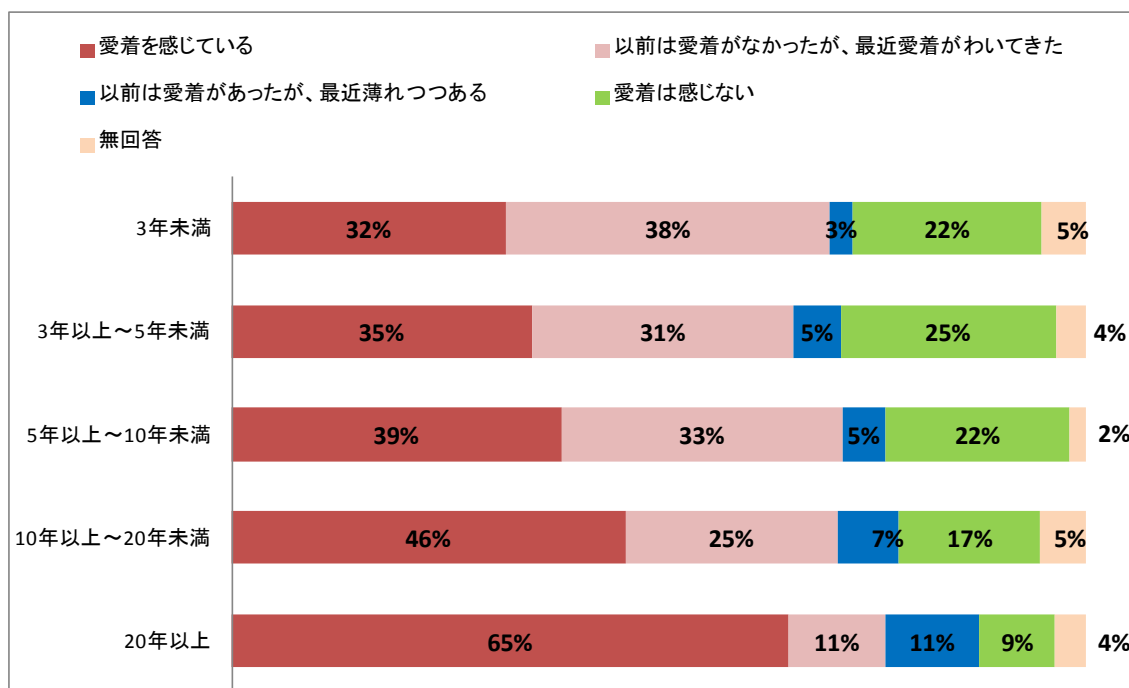
60歳以上及び20歳未満の世代において「愛着を感じている」を選択した割合がいずれも60%以上になっており、若い世代と高齢世代の大和市への愛着心が高くなった。一方、20歳以上50歳未満の各世代において「愛着は感じない」を選択した割合が20%程度と高く、特に20～24歳と30～34歳の世代の割合が高くなっている。

○地域別ごとの大和市への愛着心



いずれの地域においても「愛着を感じている」を選んだ割合が約50%である。ただし、高座渋谷地区については「愛着を感じている」、「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」の割合が70%を下回っており、他の地域と比べて愛着心が低い。

○居住年数ごとの大和市への愛着心



居住年数別では20年以上の居住者における「愛着を感じている」、「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」の占める割合が1番高い(76%)。一方、3年以上5年未満の居住者における「愛着を感じている」、「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」の占める割合が1番低い(66%)。

○前回調査との比較

	今回調査	前回調査
1. 愛着を感じている	56.5%	53.0%
2. 以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた	20.3%	13.9%
3. 以前は愛着があったが、最近薄れつつある	9.1%	13.3%
4. 愛着を感じない	14.1%	19.8%

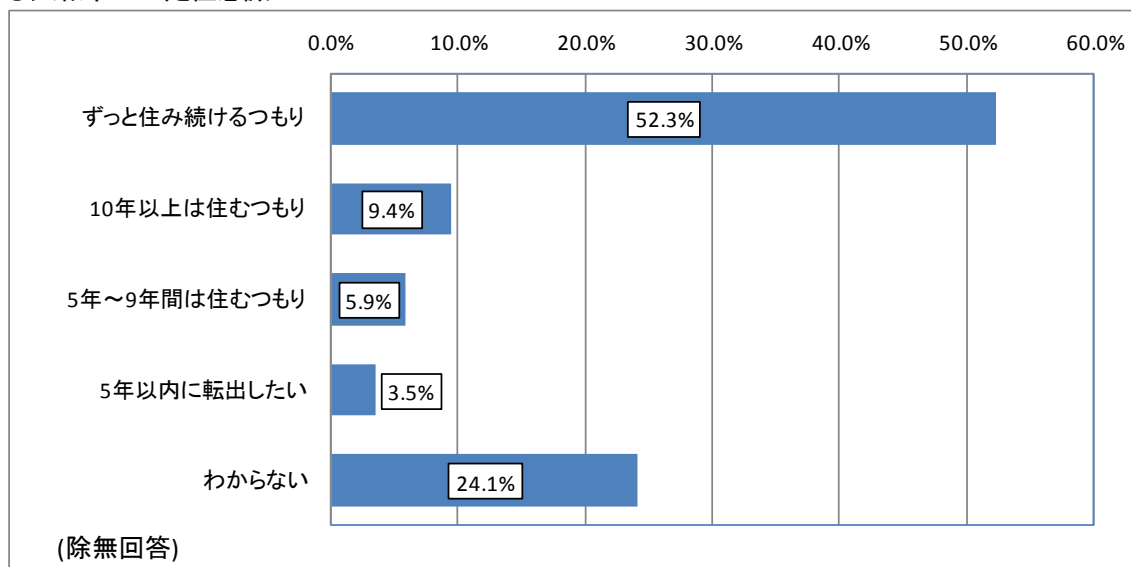
平成20年度に実施した前回の市民意識調査での調査結果と比較して、大和市に愛着を感じている市民の割合が高まっている。

(2) 大和市への定住意識 (問2)

問2 あなたは、これからも大和市内に住み続けたいですか。(○印は1つ)

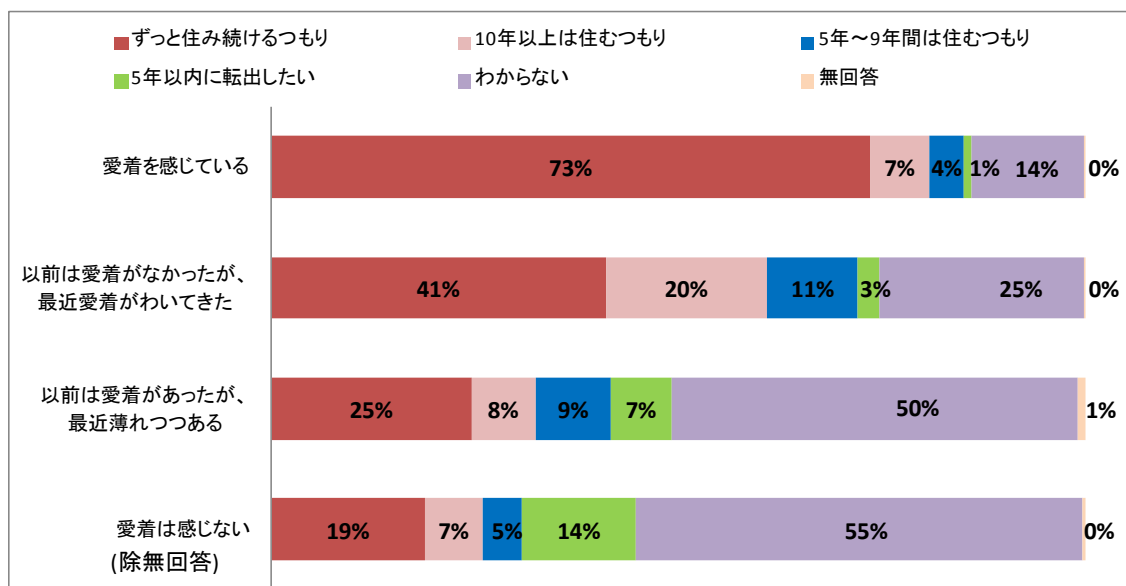
- 1 ずっと住み続けるつもり
- 2 10年以上は住むつもり
- 3 5年～9年間は住むつもり
- 4 5年以内に転出したい
- 5 わからない

○大和市への定住意識



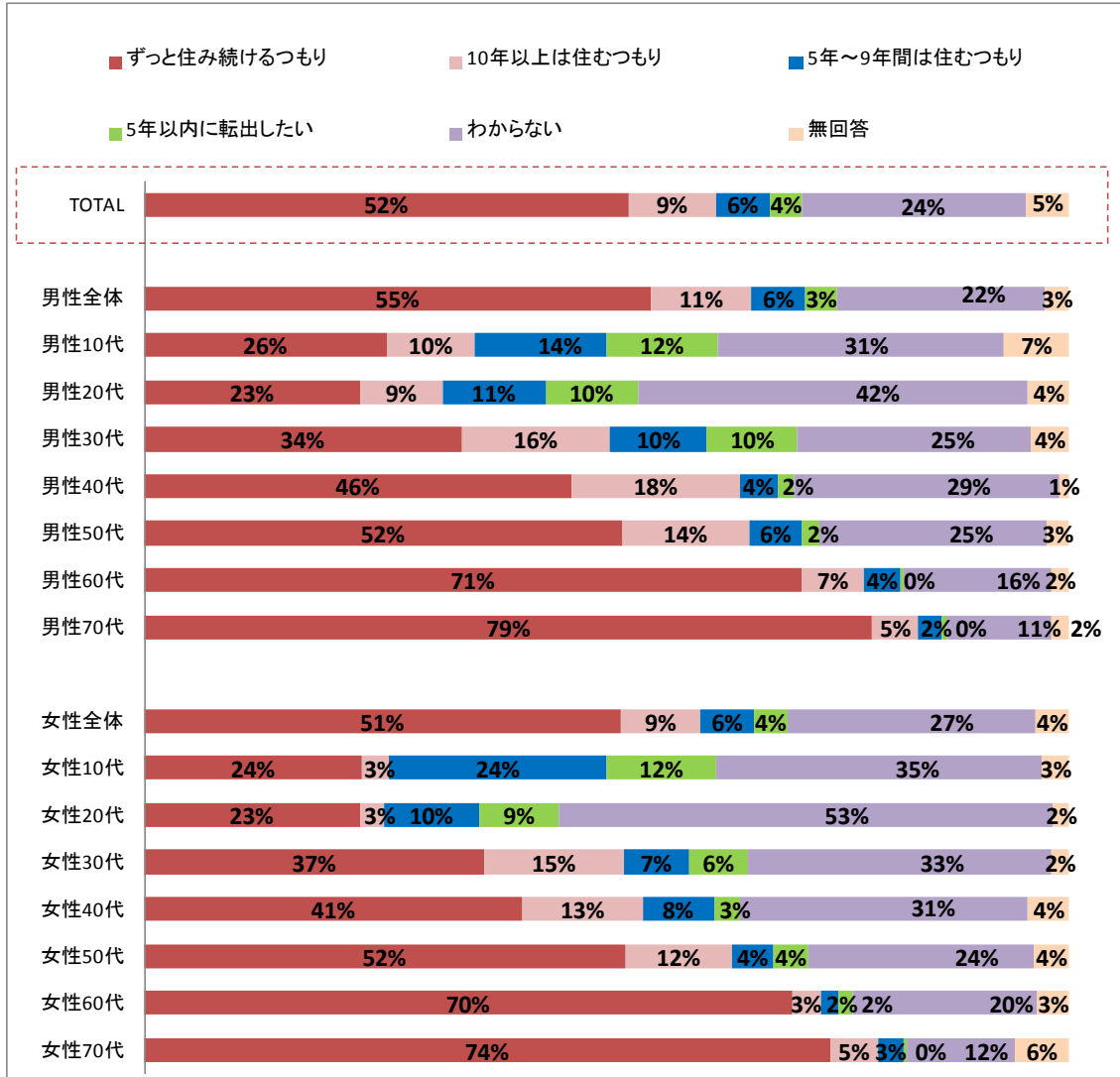
「ずっと住み続けるつもり」という回答が約半数を占め、「10年以上は住むつもり」と「5～9年間は住むつもり」をあわせると67.6%である。平成20年度の調査時の数値は64.5%であったため、以前よりも定住意識が高くなっている。

○愛着心別の定住意向



愛着心別の定住意向をみると、「愛着を感じている」と答えた人の73%が「ずっと住み続けるつもり」と回答し、また「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」と答えた人の41%が「ずっと住み続けるつもり」と回答している。一方、「愛着は感じない」と「以前は愛着があったが、最近薄れつつある」と答えた人では「わからない」という回答の割合が高くなっている。愛着心別の定住意向については平成20年の調査の結果から大きな変動はなかった。

○性別・世代別の定住意向



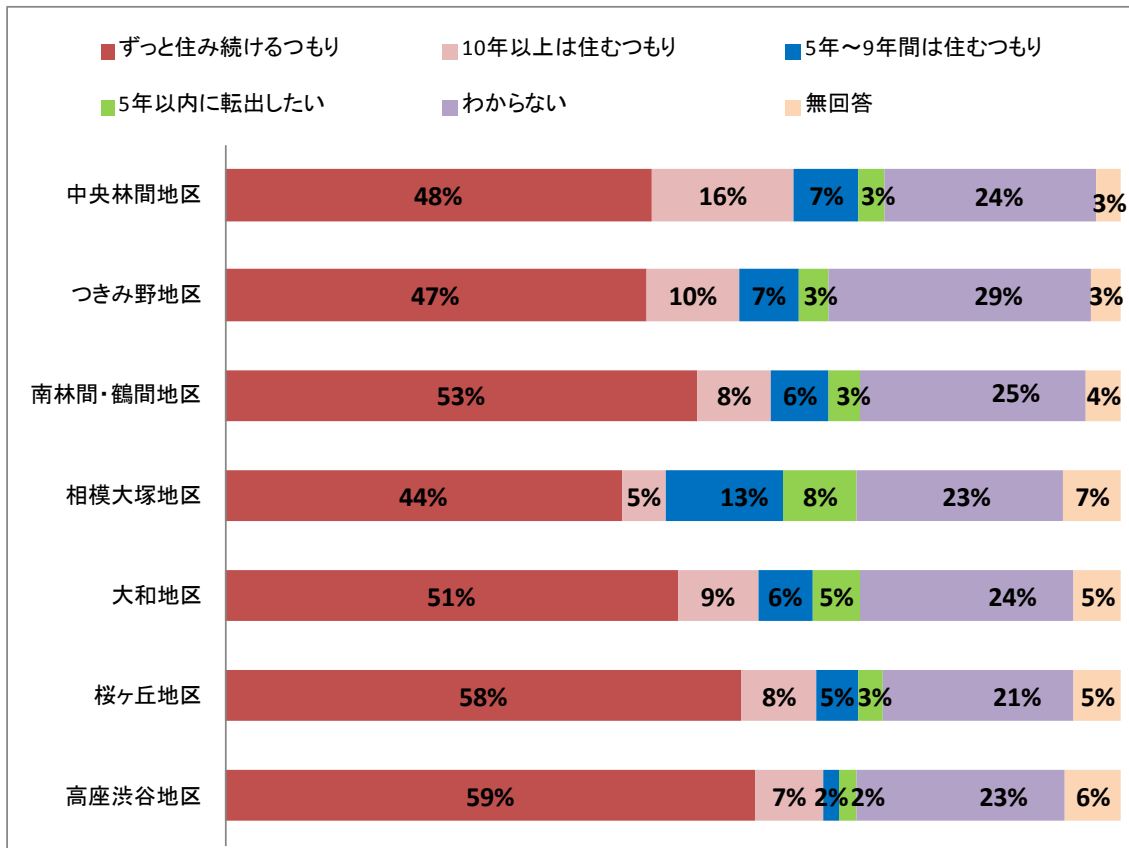
男性全体の55%及び女性全体の51%が「ずっと住み続けるつもり」を選択肢しており、女性よりも男性の定住意識が強い。また、男性、女性共に60代、70代以上の「ずっと住み続けるつもり」を選択した割合が70%以上となっており、高齢者の定住意識が特に高い。一方、男性、女性共に10代、20代の「ずっと住み続けるつもり」を選択した割合が30%を下回っており、若い世代の定住意識が低い。

○年齢別に見た定住意向

		ずっと住み続けるつもり	10年以上は住むつもり	5年～9年間は住むつもり	5年以内に転出したい	わからない	無回答	合計
実数	全体	1,313	237	147	89	606	118	2,510
	20歳未満	19	5	14	9	25	4	76
	20～24歳	15	2	10	10	34	1	72
	25～29歳	33	9	12	9	66	5	134
	30～34歳	68	20	18	19	57	8	190
	35～39歳	74	41	15	11	62	3	206
	40～44歳	95	26	17	7	74	7	226
	45～49歳	85	37	9	3	53	6	193
	50～54歳	80	25	12	5	46	6	174
	55～59歳	96	18	5	5	37	5	166
	60～64歳	183	12	11	1	67	7	281
	65～69歳	178	13	4	4	25	7	231
	70～74歳	186	19	6	0	27	10	248
75歳以上	161	4	6	2	26	10	209	
		ずっと住み続けるつもり	10年以上は住むつもり	5年～9年間は住むつもり	5年以内に転出したい	わからない	無回答	合計
構成比	全体	52%	9%	6%	4%	24%	5%	100%
	20歳未満	25%	7%	18%	12%	33%	5%	100%
	20～24歳	21%	3%	14%	14%	47%	1%	100%
	25～29歳	25%	7%	9%	7%	49%	4%	100%
	30～34歳	36%	11%	9%	10%	30%	4%	100%
	35～39歳	36%	20%	7%	5%	30%	1%	100%
	40～44歳	42%	12%	8%	3%	33%	3%	100%
	45～49歳	44%	19%	5%	2%	27%	3%	100%
	50～54歳	46%	14%	7%	3%	26%	3%	100%
	55～59歳	58%	11%	3%	3%	22%	3%	100%
	60～64歳	65%	4%	4%	0%	24%	2%	100%
	65～69歳	77%	6%	2%	2%	11%	3%	100%
	70～74歳	75%	8%	2%	0%	11%	4%	100%
75歳以上	77%	2%	3%	1%	12%	5%	100%	

60歳以上の世代における「愛着を感じている」を選択した割合がいずれも60%以上になっており、60歳以上の世代の定住意識が高い。一方、20歳未満と20～24歳、25～29歳における「ずっと住み続けるつもり」を選択した割合が30%を下回っており、特に若い世代の定住意識が低い。また、「ずっと住み続けるつもり」、「10年以上は住むつもり」を選択した割合は35歳未満においては50%を下回った。

○地域別の定住意向



地域別においては中央林間地区、南林間・鶴間地区、大和地区、桜ヶ丘地区、高座渋谷地区の4地域については「ずっと住み続けるつもり」、「10年以上は住むつもり」を選択した割合が60%を超えており、定住意識が高い。それに対して、相模大塚地区については「ずっと住み続けるつもり」、「10年以上は住むつもり」を選択した割合が49%と50%を下回った。また、相模大塚地区は「5年以内に転出したい」を選択した割合が8%と他の地域よりも高く、相模大塚地区の定住意識は低い。

○前回調査との比較

	今回調査	前回調査
1. ずっと住み続けるつもり	52.3%	49.4%
2. 10年以上は住むつもり	9.4%	9.1%
3. 5年から9年間は住むつもり	5.9%	6.0%
4. 5年以内に転出したい	3.5%	5.2%
5. 分からない	24.1%	30.3%

平成20年度に実施した前回の市民意識調査での調査結果と比較して、大和市に定住したい市民の割合が高まっている。

(3) 大和市の施策の重要度、満足度 (問3)

問3 あなたは、下記のまちづくりの分野の中で、どの分野が重要と感じていますか。またどの分野に満足されていますか。下の欄の1～14の中から、重要度、満足度それぞれに3つまで該当する番号を選んで記入してください。また、(1)で選んだ中から、あなたが最も重点的に進めて欲しいと思う分野について、1つだけ番号を書いてください。

(1)あなたにとって重要度の高い分野(1～14の中から3つまで)

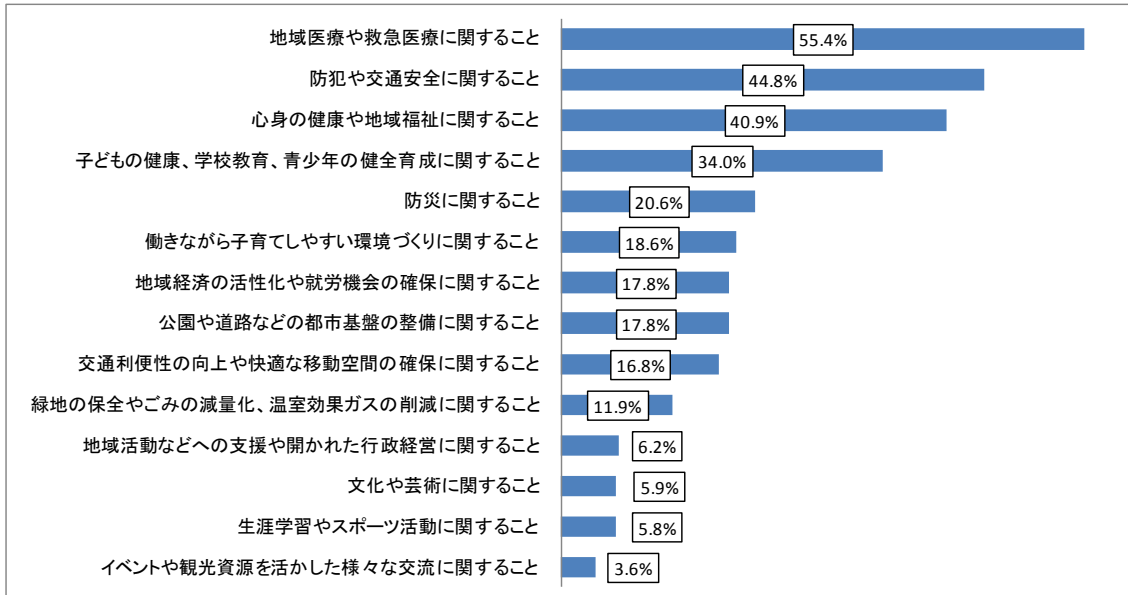
(2)あなたにとって満足度の高い分野(1～14の中から3つまで)

(3)あなたが最も重点的に進めて欲しいと思う分野((1)で選んだ中から1つだけ)

【まちづくりの分野】

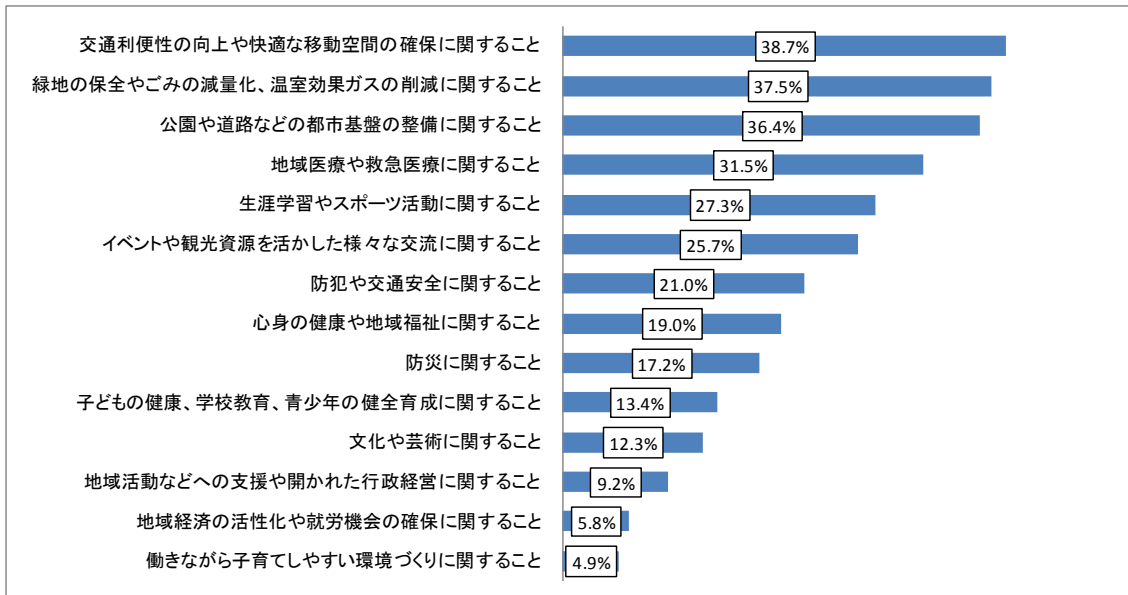
- 1 心身の健康や地域福祉に関すること
- 2 地域医療や救急医療に関すること
- 3 子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること
- 4 働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること
- 5 防犯や交通安全に関すること
- 6 防災に関すること
- 7 緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関すること
- 8 公園や道路などの都市基盤の整備に関すること
- 9 交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること
- 10 生涯学習やスポーツ活動に関すること
- 11 文化や芸術に関すること
- 12 地域経済の活性化や就労機会の確保に関すること
- 13 イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること
- 14 地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること

○重要度の高い分野



重要度が高い分野として一番選ばれたのは、55.4%の「地域医療や救急医療に関すること」であり、次いで「防犯や交通安全に関すること」が44.8%、「心身の健康や地域福祉に関すること」が40.9%となっている。

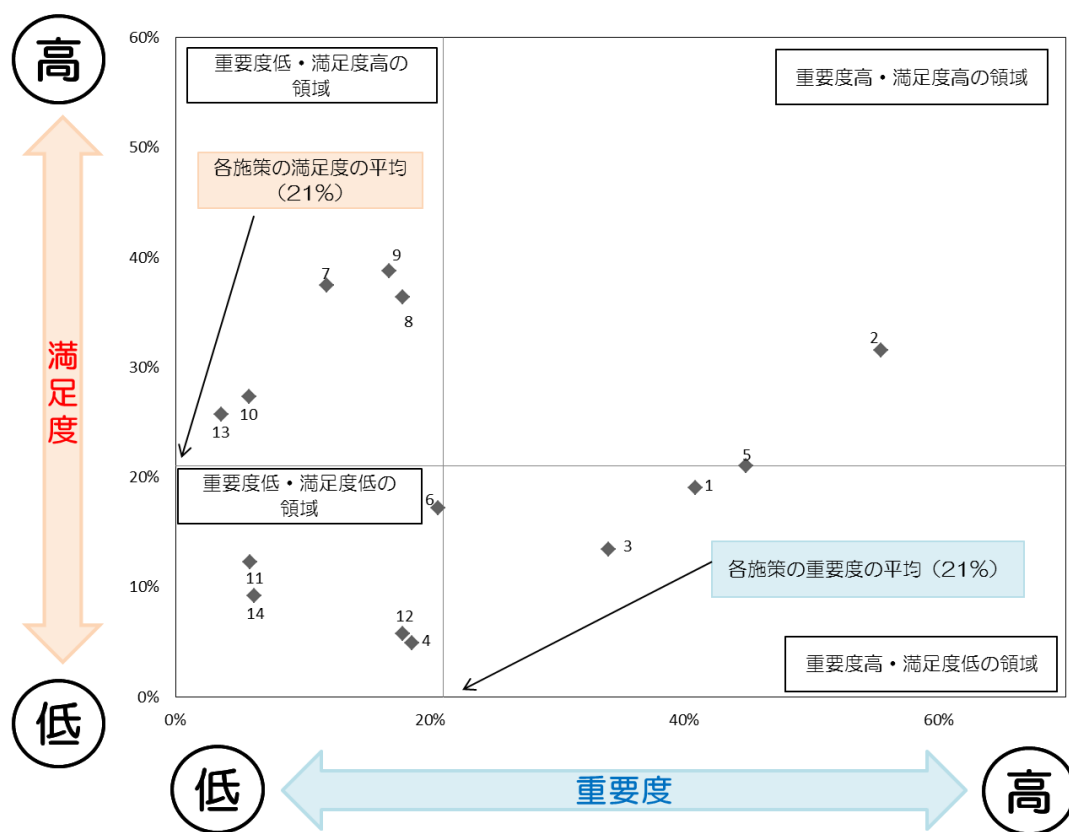
○満足度の高い分野



満足度が一番高い分野は、38.7%の「交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること」であり、次いで「緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関すること」が37.5%、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」が36.4%となっている。逆に、一番満足度が低い分野は、4.9%の「働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること」であり、5.8%の「地域経済の活性化や就労機会の確保に関すること」や9.2%の「地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること」などの分野において、満足度が低くなっている。

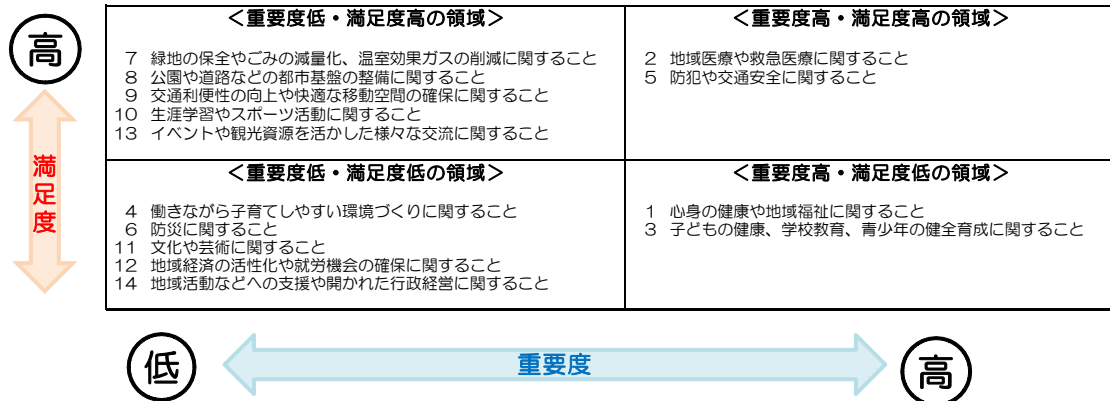
○分野別の重要度・満足度クロス分析①

下記グラフでは、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、各施策項目の割合を座標で示したものである。満足度・重要度の平均を軸とし、各施策の方向性を4つの領域で示している。



- 1 心身の健康や地域福祉に関すること
- 2 地域医療や救急医療に関すること
- 3 子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること
- 4 働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること
- 5 防犯や交通安全に関すること
- 6 防災に関すること
- 7 緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関すること
- 8 公園や道路などの都市基盤の整備に関すること
- 9 交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること
- 10 生涯学習やスポーツ活動に関すること
- 11 文化や芸術に関すること
- 12 地域経済の活性化や就労機会の確保に関すること
- 13 イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること
- 14 地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること

○分野別の重要度・満足度クロス分析②



重要度が高く満足度が高い領域には「地域医療や救急医療に関すること」や「防犯や交通安全に関すること」があり、この領域にある施策は、住民のニーズに即していることが伺える。

重要度が高く満足度が低い施策には、「心身の健康や地域福祉に関すること」、「子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」があり、この領域にある施策は、住民のニーズがあるにもかかわらず、行政としてその期待に応えていない可能性がある。そのため、施策や取り組みの改善を実施することが必要であると考えられる。

重要度が低く、満足度が高い領域には、「緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関すること」、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」、「交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること」、「生涯学習やスポーツ活動に関すること」、「イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること」がある。この領域の施策については、行政サービスの提供が過剰となっている可能性がある。

重要度が低く、満足度も低い領域には「文化や芸術に関すること」、「地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること」等があるが、この領域の施策は、重要性も満足度も低いことから施策の規模の適正性や施策の必要性を検討することが必要であると考えられる。

○地域間の重要度の比較

施策分野	地域名							
	大和市全体	中央林間地区	つきみ野地区	南林間・鶴間地区	相模大塚地区	大和地区	桜ヶ丘地区	高座渋谷地区
心身の健康や地域福祉に関すること	40.9%	34.7%	37.9%	42.2%	36.8%	39.2%	44.2%	44.0%
地域医療や救急医療に関すること	55.4%	53.3%	60.2%	59.0%	57.1%	54.9%	53.7%	50.3%
子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること	34.0%	35.8%	38.4%	33.1%	36.8%	29.7%	35.5%	36.5%
働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること	18.6%	19.0%	15.6%	16.9%	33.1%	20.9%	16.2%	19.3%
防犯や交通安全に関すること	44.8%	46.9%	50.2%	45.1%	36.8%	46.1%	42.0%	40.6%
防災に関すること	20.6%	22.6%	22.7%	21.2%	23.9%	20.4%	17.9%	18.0%
緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関すること	11.9%	12.9%	10.4%	10.9%	9.2%	10.7%	14.0%	14.2%
公園や道路などの都市基盤の整備に関すること	17.8%	21.5%	17.1%	18.7%	20.2%	16.2%	18.5%	13.4%
交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること	16.8%	12.2%	18.5%	15.9%	16.6%	17.2%	17.9%	21.4%
生涯学習やスポーツ活動に関すること	5.8%	7.5%	6.2%	5.7%	3.7%	3.0%	8.7%	5.0%
文化や芸術に関すること	5.9%	7.2%	4.7%	5.2%	1.8%	10.7%	3.9%	3.4%
地域経済の活性化や就労機会の確保に関すること	17.8%	18.3%	10.9%	16.9%	14.7%	19.9%	18.8%	20.1%
イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること	3.6%	2.1%	3.3%	3.6%	3.7%	3.9%	3.4%	4.2%
地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること	6.2%	6.1%	3.8%	5.6%	5.5%	7.2%	5.3%	9.6%

*赤色は平均（21%）以上。

○地域間の満足度比較

施策分野	地域名							
	大和市全体	中央林間地区	つきみ野地区	南林間・鶴間地区	相模大塚地区	大和地区	桜ヶ丘地区	高座渋谷地区
心身の健康や地域福祉に関すること	19.0%	20.0%	18.8%	19.7%	17.1%	16.0%	21.3%	16.9%
地域医療や救急医療に関すること	31.5%	33.0%	24.9%	37.4%	37.1%	31.0%	25.4%	27.8%
子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること	13.4%	20.5%	14.8%	14.5%	22.9%	10.6%	11.1%	8.5%
働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること	4.9%	3.2%	8.1%	4.6%	0.0%	5.1%	6.6%	3.6%
防犯や交通安全に関すること	21.0%	22.7%	28.3%	24.1%	20.0%	17.0%	15.6%	20.0%
防災に関すること	17.2%	18.9%	18.8%	17.2%	5.7%	14.3%	18.5%	18.8%
緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関すること	37.5%	31.4%	45.7%	37.6%	34.3%	37.5%	37.3%	35.7%
公園や道路などの都市基盤の整備に関すること	36.4%	29.2%	42.4%	34.5%	48.6%	30.0%	40.6%	46.6%
交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること	38.7%	56.2%	37.0%	37.2%	31.4%	38.5%	35.7%	32.7%
生涯学習やスポーツ活動に関すること	27.3%	18.9%	27.6%	25.3%	22.9%	31.3%	31.6%	28.4%
文化や芸術に関すること	12.3%	11.9%	5.4%	14.1%	17.1%	11.2%	11.9%	15.7%
地域経済の活性化や就労機会の確保に関すること	5.8%	4.3%	6.7%	5.0%	5.7%	5.8%	6.2%	7.3%
イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること	25.7%	19.5%	12.8%	19.1%	31.4%	43.6%	29.1%	28.4%
地域活動などへの支援や開かれた行政経営に関すること	9.2%	10.3%	8.7%	9.8%	5.7%	8.2%	9.0%	9.7%

*赤色は平均（21%）以上。

「地域医療や救急医療に関すること」については、満足度及び重要度が高い。これは、大和市が市全体として、特定の地域に偏らず、「健康創造都市 やまと」を掲げて施策を実施してきた結果であると考えられる。

「心身の健康や地域福祉に関すること」については、重要度に比して満足度が桜ヶ丘地区を除いて平均値を下回っており、多くの地域に共通した課題であると考えられる。

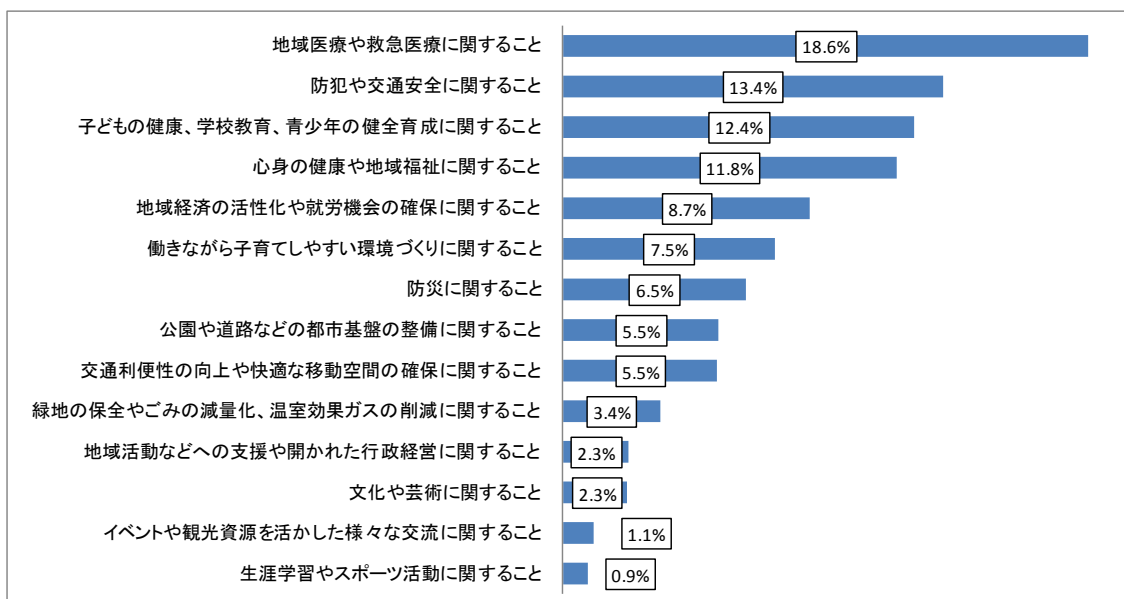
「子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」については、重要度に比して満足度が中央林間地区、相模大塚地区を除いて平均値を下回っており、多くの地域に共通した課題であると考えられる。

「防災に関すること」については、いずれの地域においても満足度が平均値を下回っているが、相模大塚地区においては、満足度は低い一方で重要度は他地域に比して高くなっている。

「防犯や交通安全に関すること」については、大和地区、桜ヶ丘地区の大和市の中央部南側に位置する2地域において、重要度に比して満足度が低くなっている。このことから、特にこの地域において防犯や交通安全対する施策が求められていると考えられる。

「働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること」については大和市全体で共通して満足度が著しく低くなっている。特に相模大塚地区においては重要度が平均値を超えていることから、働きながら子育てしやすい環境づくりに関する施策が求められていると考えられる。

○もっとも重点的に進めて欲しい分野

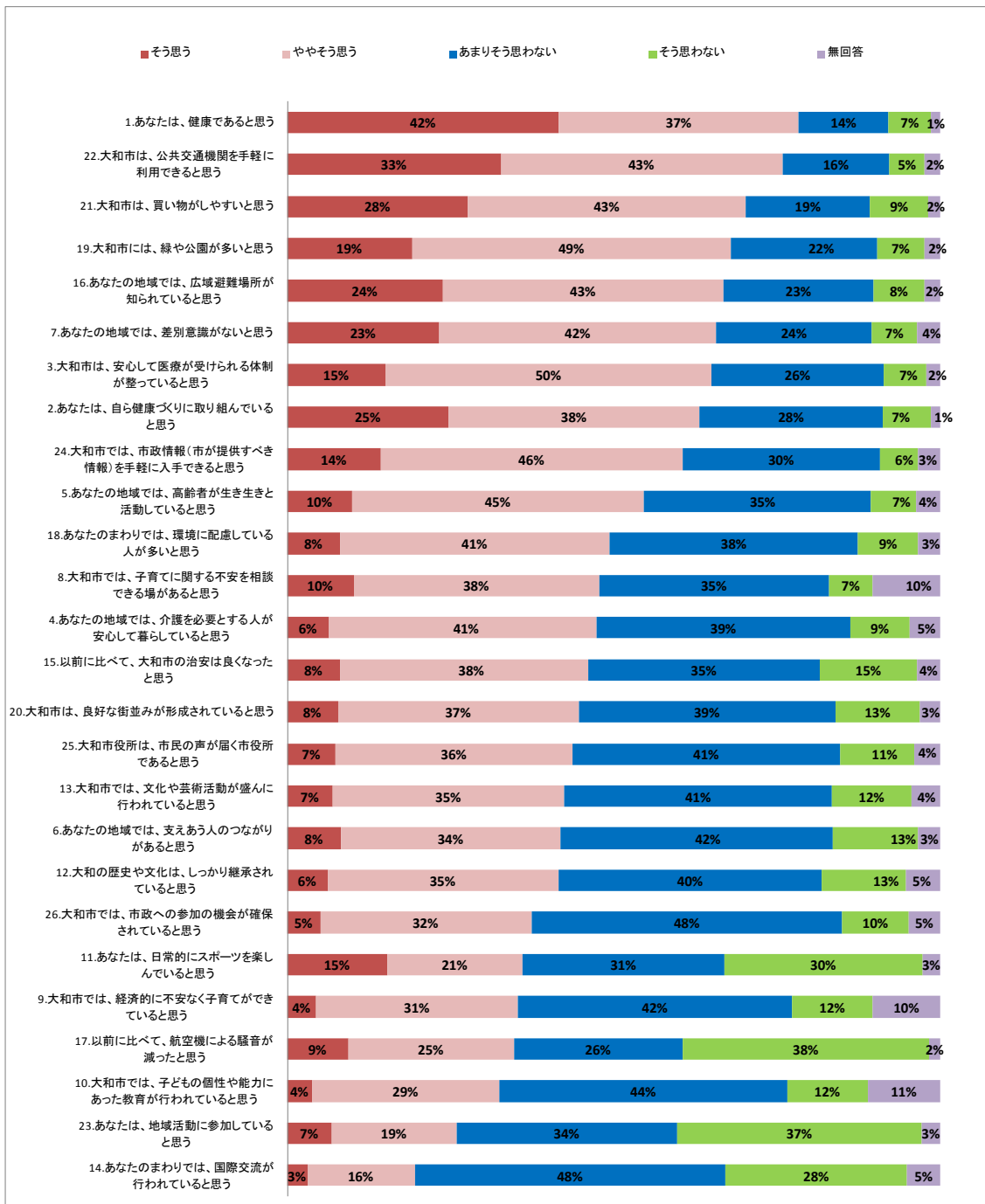


もっとも重点的に進めて欲しい分野としては「地域医療や救急医療に関すること」が一番に挙げられており、次いで「防犯や交通安全に関すること」、「子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「心身の健康や地域福祉に関すること」となっている。上位2つについては市民の満足度も高く、行政として適切なサービスを実施できていると言える。「子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「心身の健康や地域福祉に関すること」については市民の満足度が平均値以下となっているため、施策の改善や新しい施策を実施していく必要があると考えられる。

(4) 大和市のイメージ (問4)

問4 あなたは次にあげる項目についてどう思われますか。右欄の「そう思う」から「そう思わない」までの中から選んで番号に○印をつけてください。(それぞれ○印は1つ)

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
健康・医療・福祉・人権	1 あなたは、健康であると思う	1	2	3	4
	2 あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う	1	2	3	4
	3 大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う	1	2	3	4
	4 あなたの地域では、介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う	1	2	3	4
	5 あなたの地域では、高齢者が生き生きと活動していると思う	1	2	3	4
	6 あなたの地域では、支えあう人のつながりがあると思う	1	2	3	4
	7 あなたの地域では、差別意識がないと思う	1	2	3	4
子ども	8 大和市では、子育てに関する不安を相談できる場があると思う	1	2	3	4
	9 大和市では、経済的に不安なく子育てができていると思う	1	2	3	4
	10 大和市では、子どもの個性や能力にあった教育が行われていると思う	1	2	3	4
スポーツ・文化・国際交流	11 あなたは、日常的にスポーツを楽しんでいると思う	1	2	3	4
	12 大和の歴史や文化は、しっかり継承されていると思う	1	2	3	4
	13 大和市では、文化や芸術活動が盛んに行われていると思う	1	2	3	4
	14 あなたのまわりでは、国際交流が行われていると思う	1	2	3	4
安全・安心	15 以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う	1	2	3	4
	16 あなたの地域では、広域避難場所が知られていると思う	1	2	3	4
	17 以前に比べて、航空機による騒音が減ったと思う	1	2	3	4
環境・緑・公園	18 あなたのまわりでは、環境に配慮している人が多いと思う	1	2	3	4
	19 大和市には、緑や公園が多いと思う	1	2	3	4
都市環境	20 大和市は、良好な街並みが形成されていると思う	1	2	3	4
	21 大和市は、買い物しやすいと思う	1	2	3	4
	22 大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う	1	2	3	4
地域活動	23 あなたは、地域活動に参加していると思う	1	2	3	4
開かれた行政	24 大和市では、市政情報（市が提供すべき情報）を手軽に入手できると思う	1	2	3	4
	25 大和市役所は、市民の声が届く市役所であると思う	1	2	3	4
	26 大和市では、市政への参加の機会が確保されていると思う	1	2	3	4

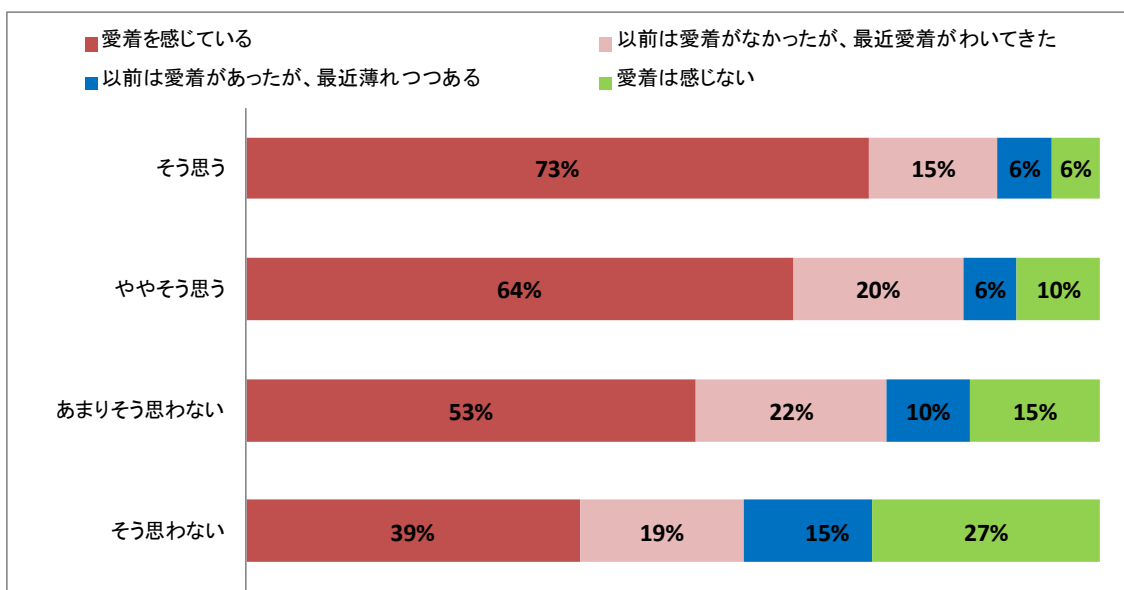


全ての項目の中で、「そう思う」と「ややそう思う」という回答をあわせて6割以上となった項目は、「あなたは、健康であると思う」、「あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う」、「大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う」、「あなたの地域では、差別意識がないと思う」、「あなたの地域では、広域避難場所が知られていると思う」、「大和市には、緑や公園が多いと思う」、「大和市は、買い物がしやすいと思う」、「大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う」、「大和市では、市政情報(市が提供すべき情報)を手軽に入手できると思う」の9項目であり、平成20年度の調査の際に6割を超えていた項目は引き続き6割を超えており、新たに「大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う」、「大和

市では、市政情報（市が提供すべき情報）を手軽に入手できると思う」の2項目で6割を超える選択がされた。このことから、健康感、健康への取り組み、都市としての利便性、快適性に関わる項目が上位となっていることが分かる。

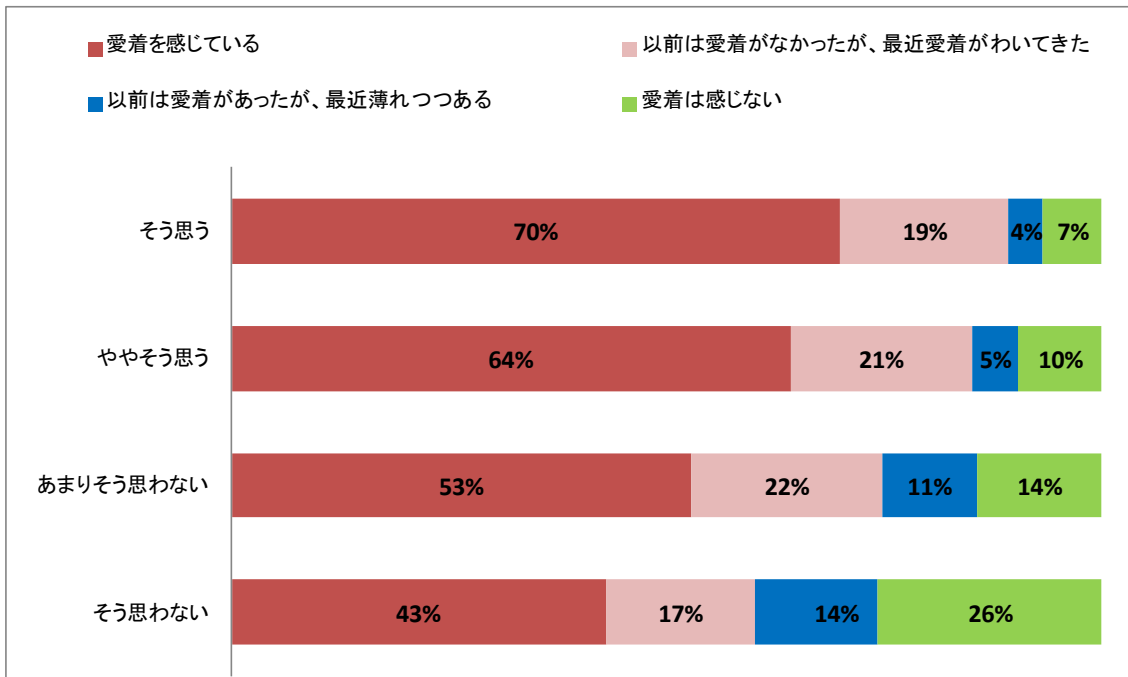
また、全ての項目の中で、「あまりそう思わない」と「そう思わない」という回答をあわせて5割以上となった項目について、それらの項目に対する否定的な認識が、大和市に対する愛着度へ与えている影響を把握するために、愛着心とのクロス分析を実施した。その結果、下記の9項目が大和市への愛着心に影響を与えている可能性があることが分かった。

・「あなたの地域では、支えあう人のつながりがあると思う」



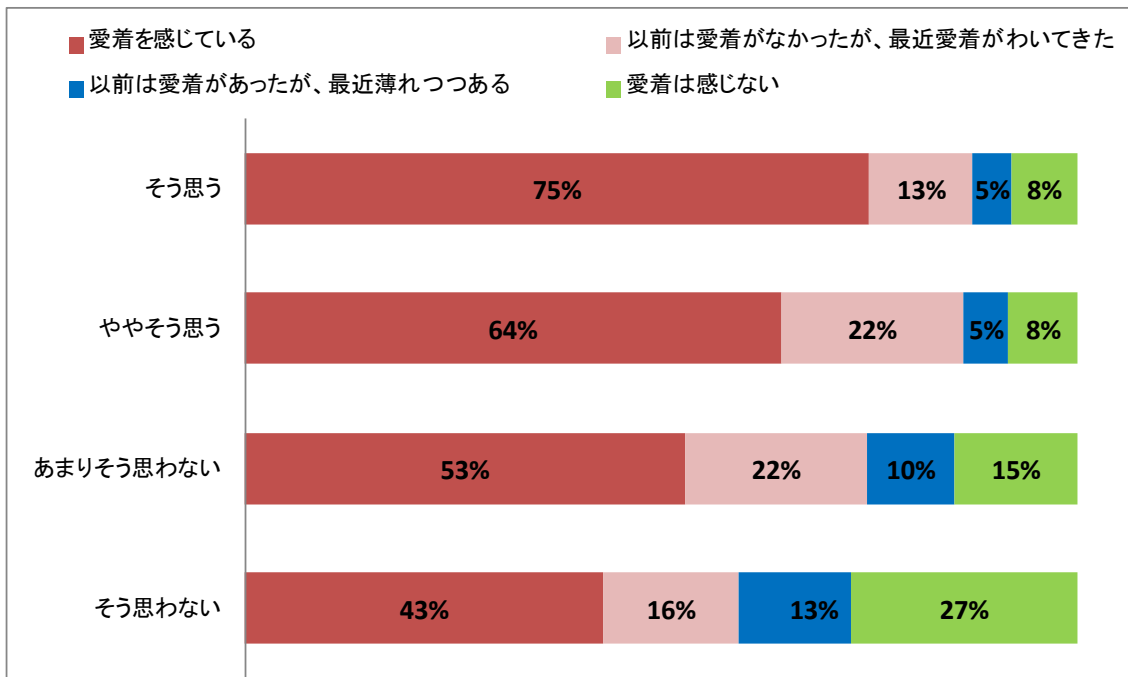
地域の人との繋がりに不安を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

・「大和市では、経済的に不安なく子育てができていると思う」



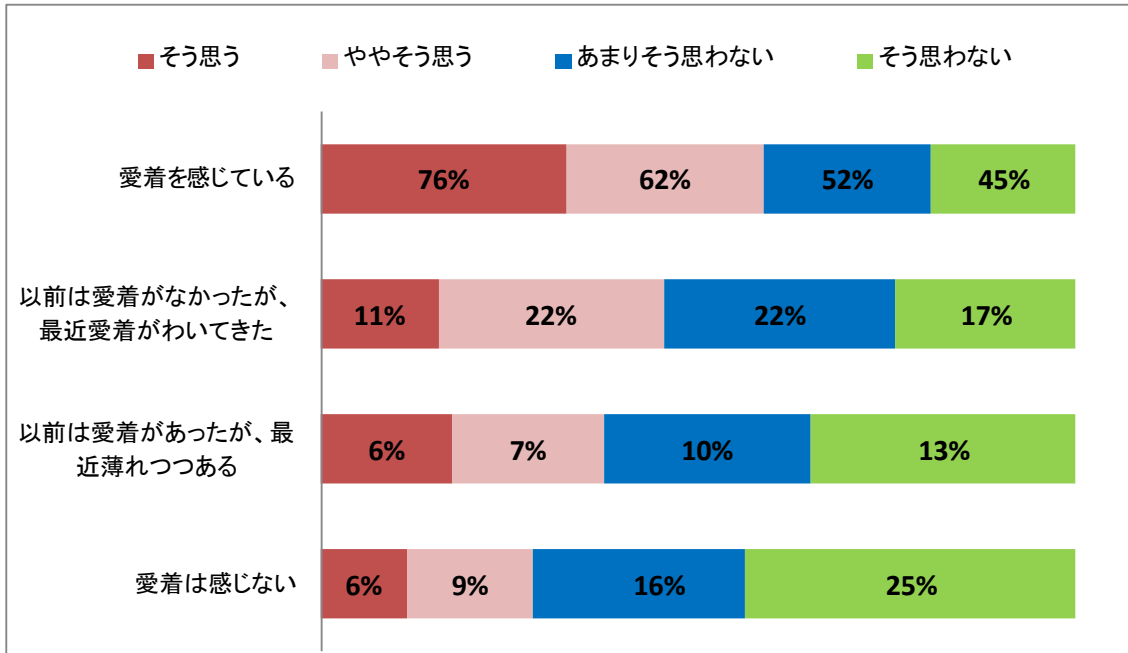
子育てに対して経済的に不安を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

・「大和市では、子どもの個性や能力にあった教育が行われていると思う」



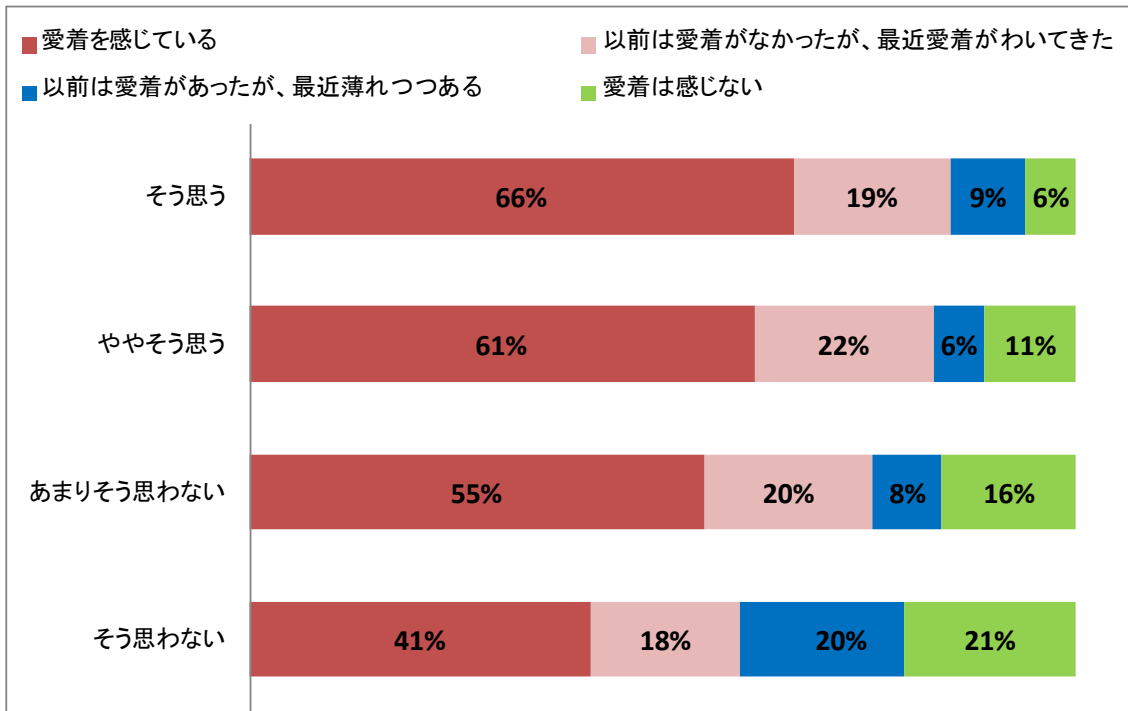
子供の教育に不安を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

・「大和の歴史や文化は、しっかり継承されていると思う」



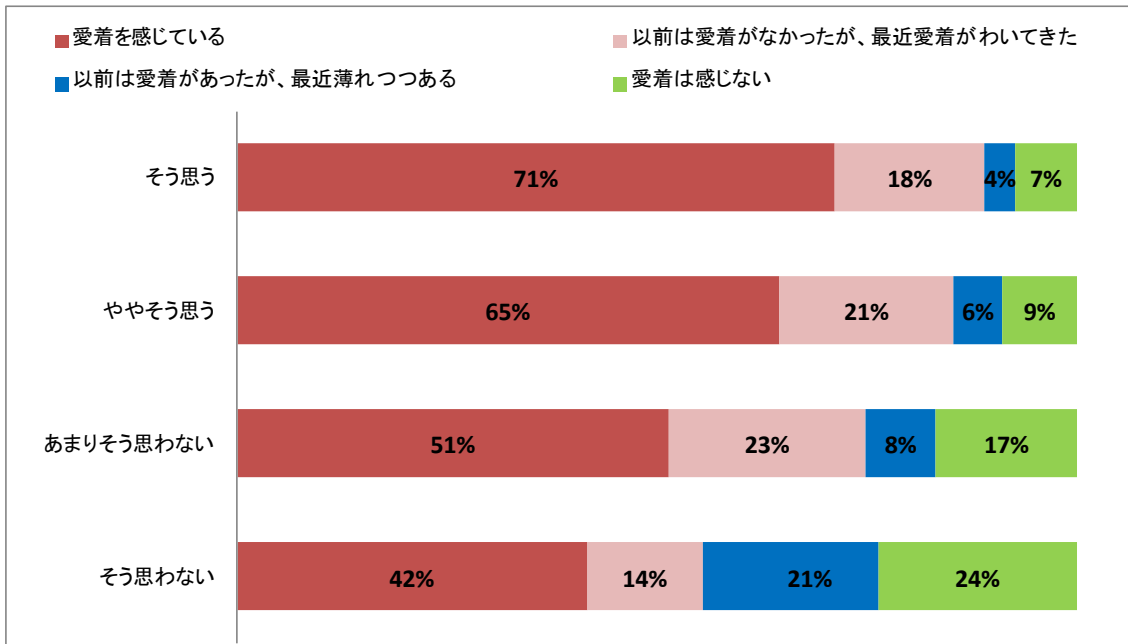
文化や歴史の継承に不安を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

・「大和市では、文化や芸術活動が盛んに行われていると思う」



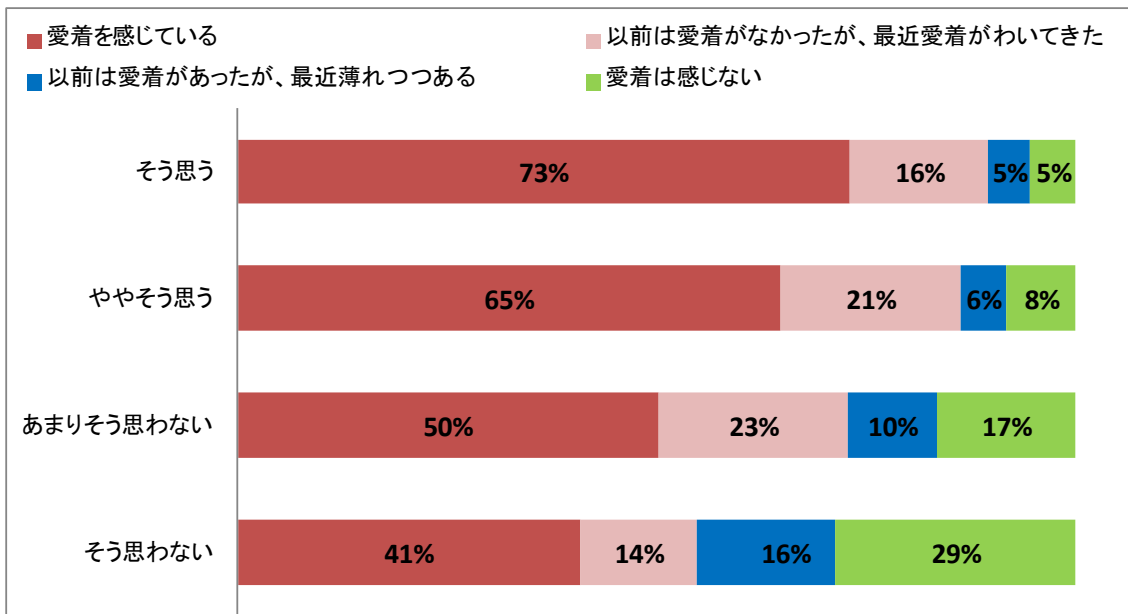
市の文化・芸術活動に不満を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

・「以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う」



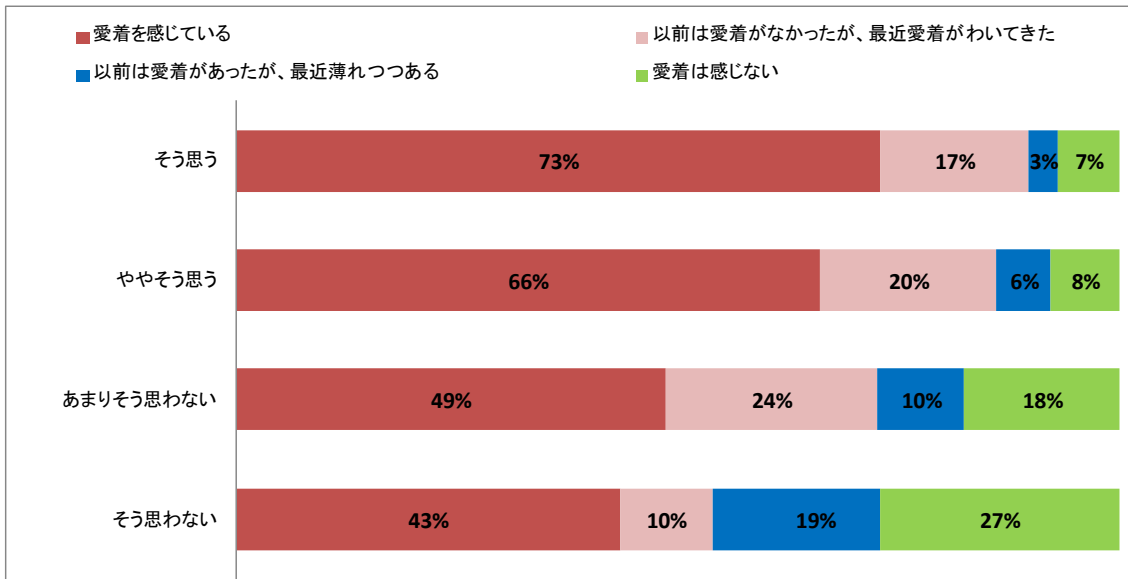
市の防犯活動に不安を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

・「大和市は、良好な街並みが形成されていると思う」



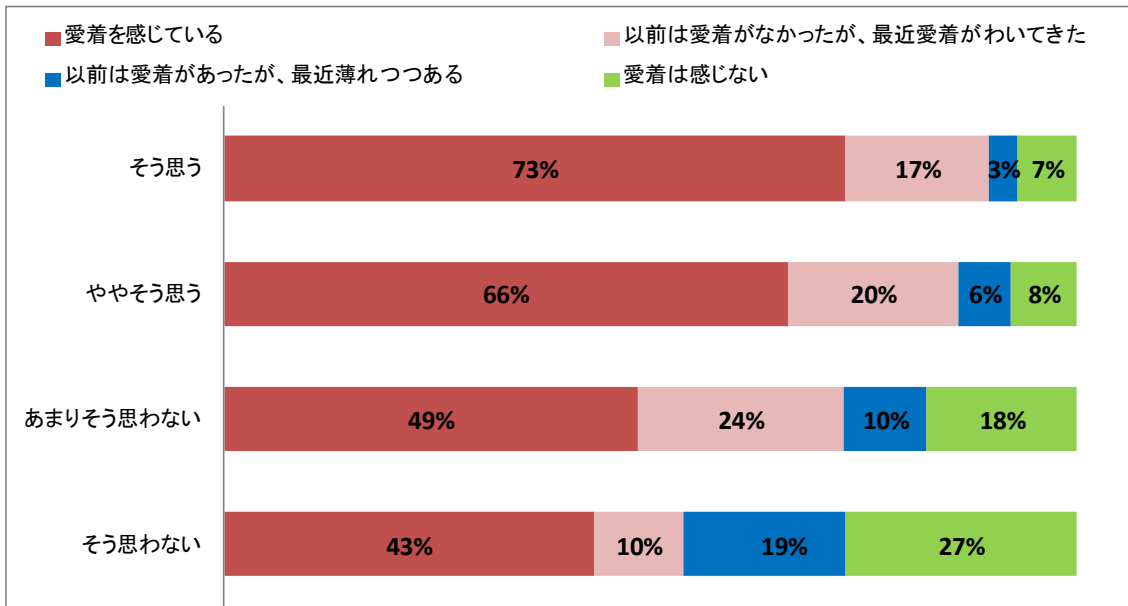
大和市の街並みに不満を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

・「大和市役所は、市民の声が届く市役所であると思う」



市との対話に不満を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

・「大和市では、市政への参加の機会が確保されていると思う」



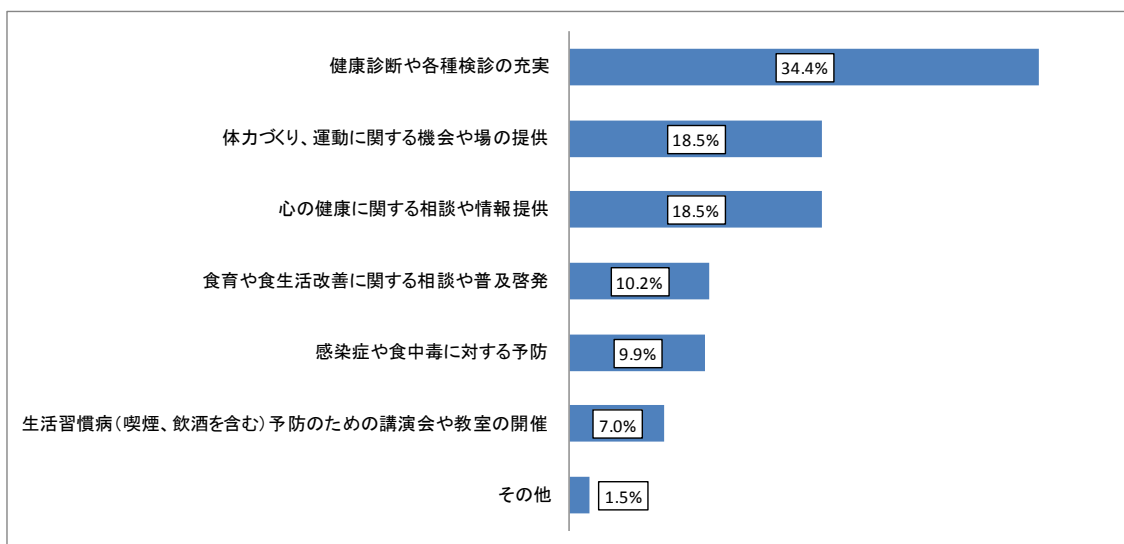
市政への参加に不満を感じている市民ほど、市への愛着度が低い。

(5) 心と身体の健康づくりに関する取り組み（問5）

問5 心と身体の健康づくりに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

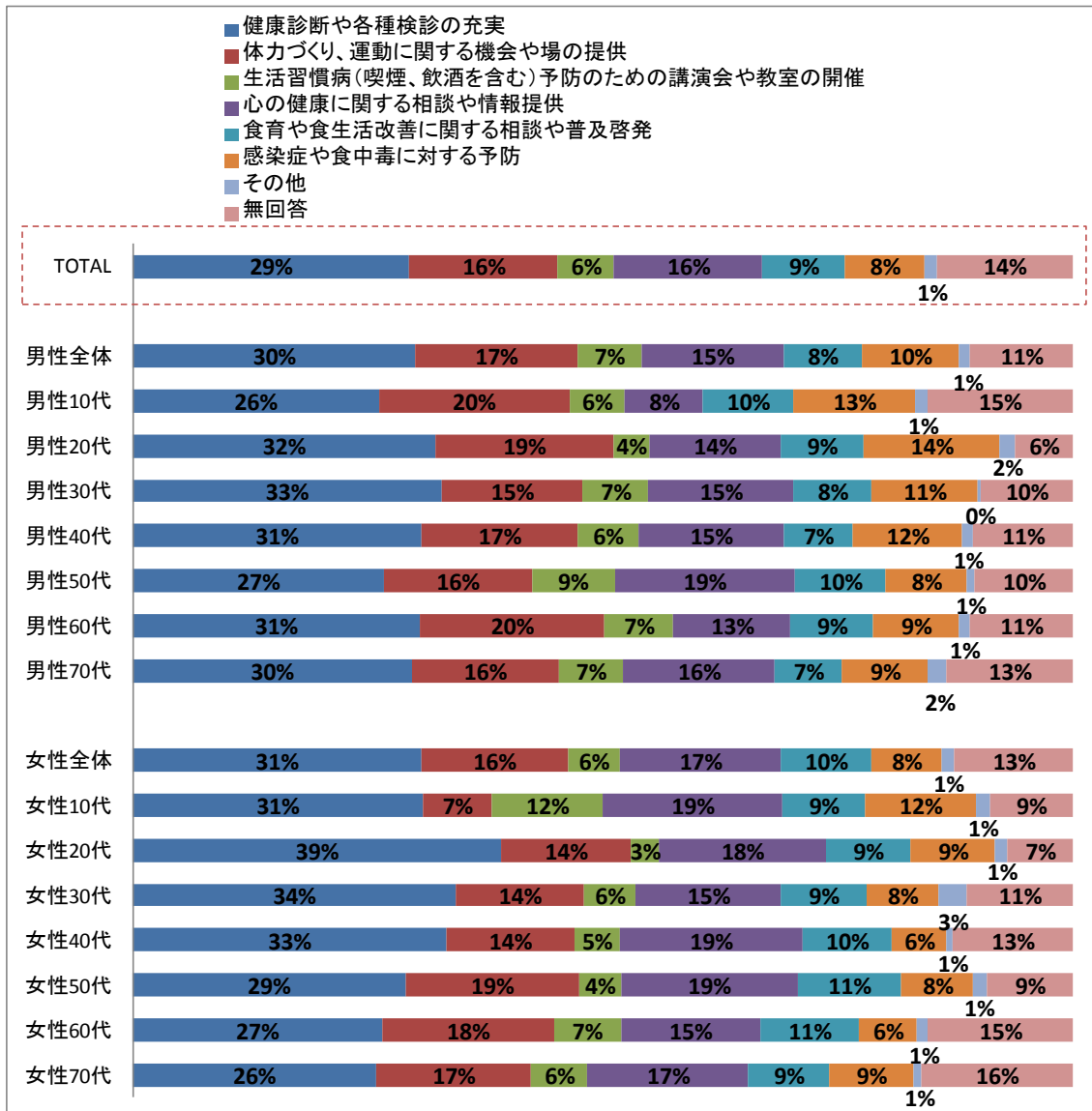
（○印は2つまで）

- 1 健康診断や各種検診の充実
- 2 体力づくり、運動に関する機会や場の提供
- 3 生活習慣病（喫煙、飲酒を含む）予防のための講演会や教室の開催
- 4 心の健康に関する相談や情報提供
- 5 食育や食生活改善に関する相談や普及啓発
- 6 感染症や食中毒に対する予防
- 7 その他（具体的に： _____）



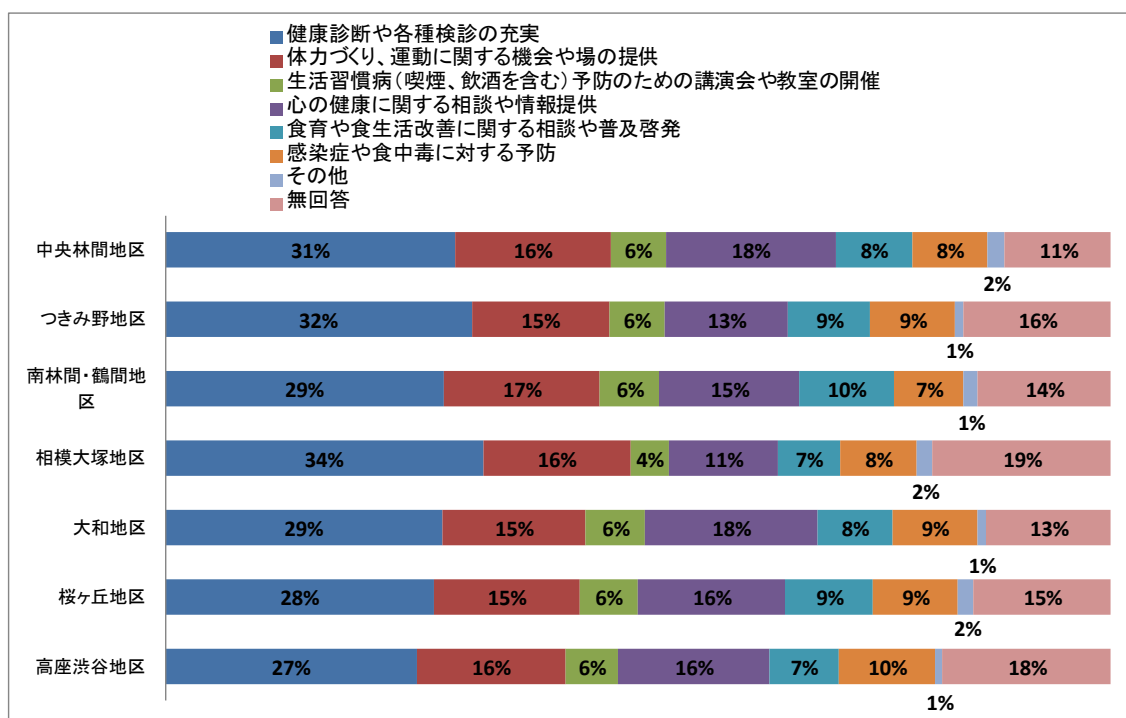
「健康診断や各種検診の充実」という回答が3割強を占め、次いで「体力づくり、運動に関する機会や」と「心の健康に関する相談や情報提供」がそれぞれ2割弱を占めている。

○性別・世代別



性別・世代別にみると、女性における「心の健康に関する相談や情報提供」を選択する割合が高くなっている。特に10代、40代、50代女性が選択する割合が高くなっている。また、50代男性においても選択する割合が高くなっている。

○地域別



地域別に見ても、地域によって特に力を入れて欲しい項目に違いはなかった。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として 44 件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

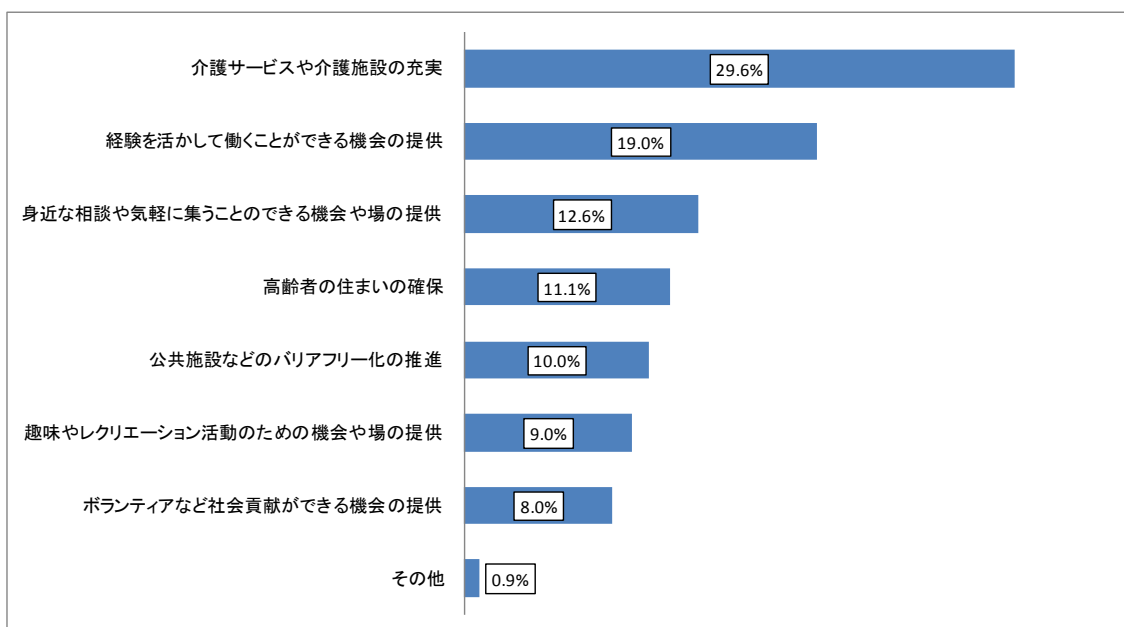
- 健康づくりのために、手軽に運動を出来る施設や機会を作って欲しい。(7件)
- 放射能測定を住民の生活圏で行なって欲しい。(5件)
- 航空機による騒音を無くして欲しい。(5件)

(6) 高齢社会に関する取り組み (問6)

問6 高齢社会に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

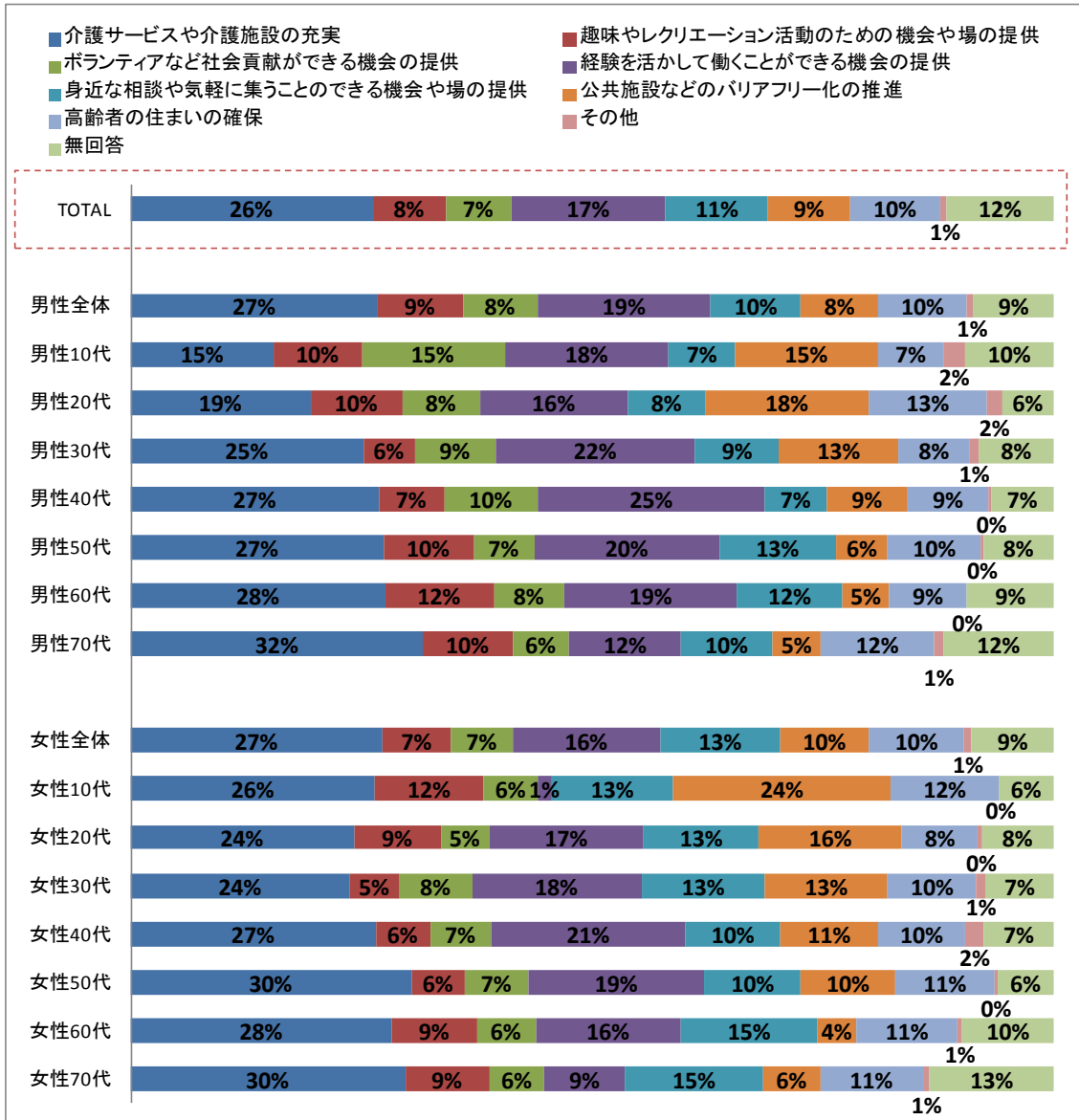
(○印は2つまで)

- 1 介護サービスや介護施設の充実
- 2 趣味やレクリエーション活動のための機会や場の提供
- 3 ボランティアなど社会貢献ができる機会の提供
- 4 経験を活かして働くことができる機会の提供
- 5 身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供
- 6 公共施設などのバリアフリー化の推進
- 7 高齢者の住まいの確保
- 8 その他 (具体的に:)



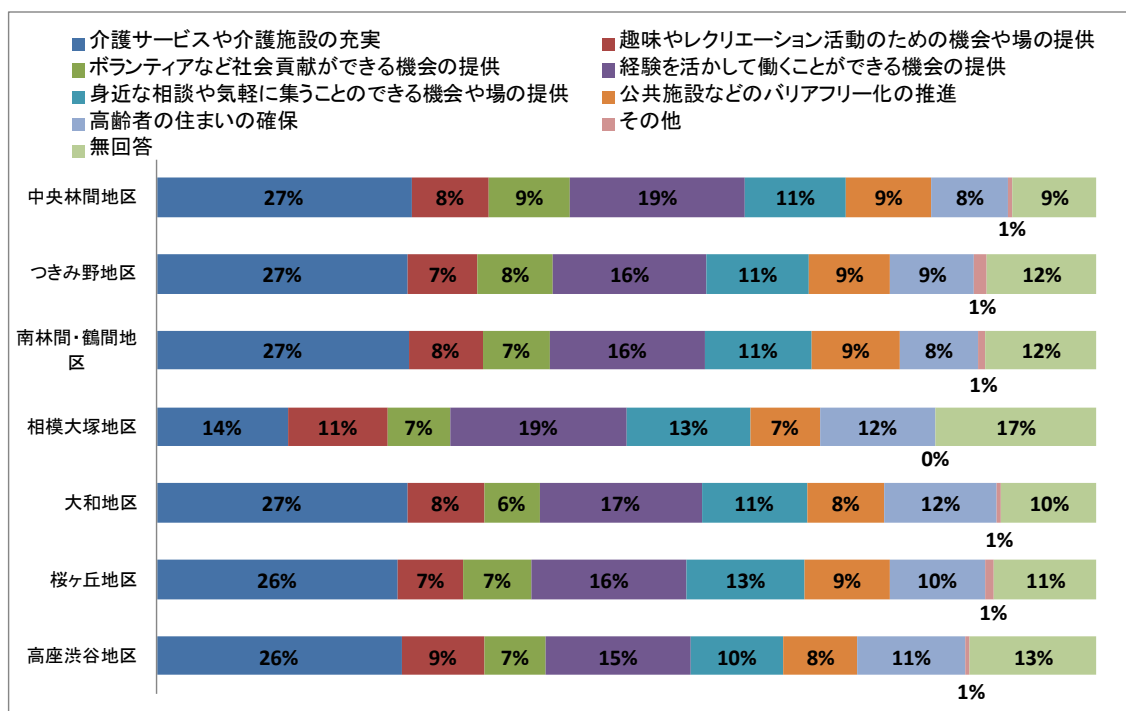
「介護サービスや介護施設の充実」という回答が約3割を占め、次いで「経験を活かして働くことができる機会の提供」が約2割との回答になった。このことから、高齢社会に関する取り組みとして、行政に対し介護サービス及び介護施設を充実させてほしいという介護の受け手の意見があると同時に、高齢者になっても働くことのできる環境整備が望まれている。

○性別・世代別



性別・世代別にみると、男性、女性共に高齢者世代になる程「介護サービスや介護施設の充実」を選択する割合が高くなっている。また、高齢者世代の女性においては「身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供」を選択する割合が高くなっている。

○地域別



地域別にみると、相模大塚地区の「介護サービスや介護施設の充実」の割合が低いことが特徴として挙げられる。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として44件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

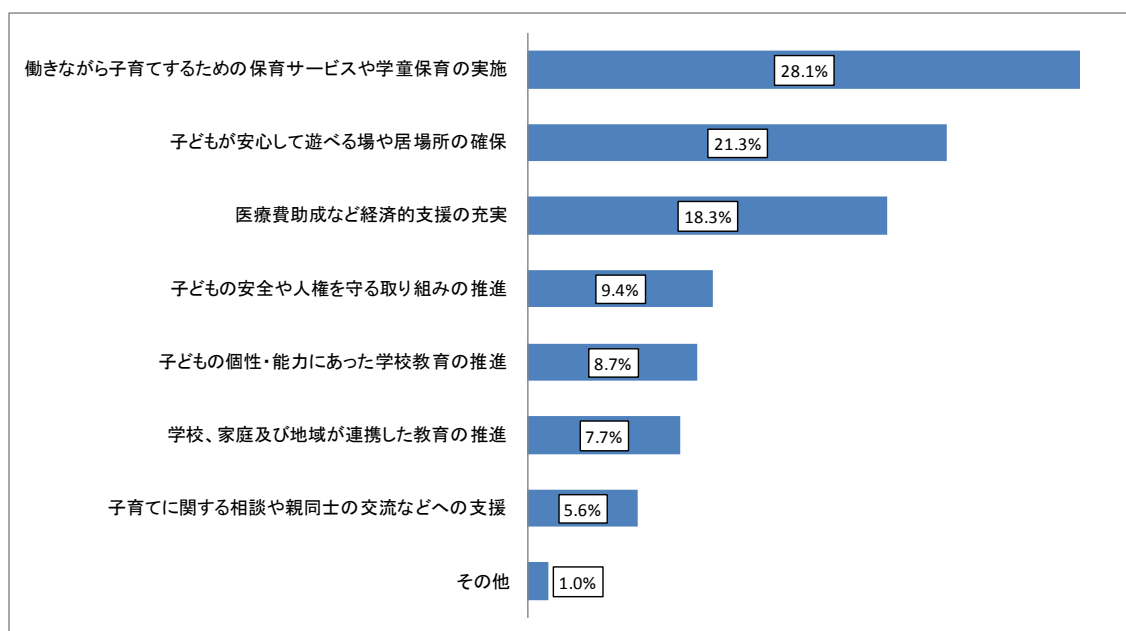
- 多くの高齢者が参加できるいろんな集まりや、気兼ね無く話を出来る場所を提供して欲しい。(4件)
- 一人暮らしの高齢者を孤立させない為のマメな声掛けや訪問があれば来客の楽しみになって良いと思う。(3件)
- 介護が不要になるように健康づくりのためイベントの開催や施設の建設をして欲しい。(3件)
- シルバー人材センターがもう少し活動して仕事を斡旋するなど、高齢者が働ける場所を広げて欲しい。(2件)

(7) 子育てに関する取り組み (問7)

問7 子育てに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

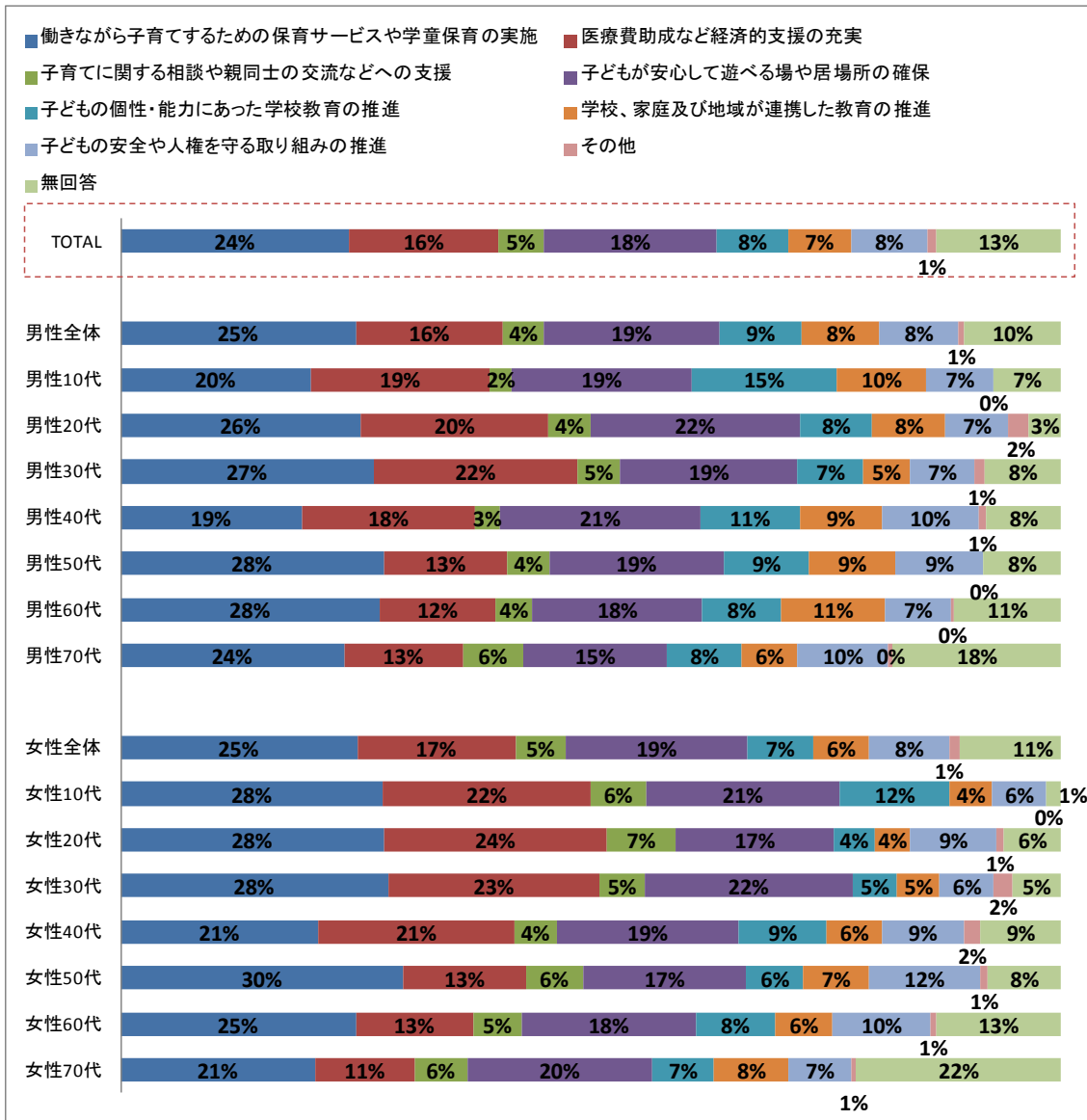
(○印は2つまで)

- 1 働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施
- 2 医療費助成など経済的支援の充実
- 3 子育てに関する相談や親同士の交流などへの支援
- 4 子どもが安心して遊べる場や居場所の確保
- 5 子どもの個性・能力にあった学校教育の推進
- 6 学校、家庭及び地域が連携した教育の推進
- 7 子どもの安全や人権を守る取り組みの推進
- 8 その他 (具体的に:)



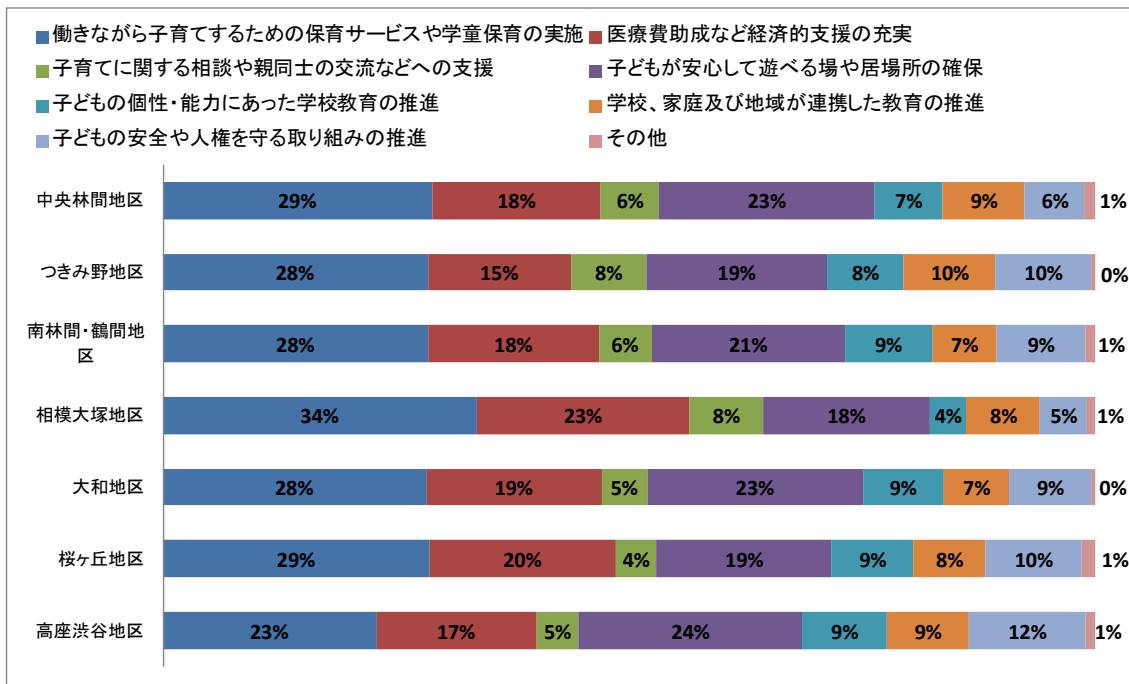
「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」という回答が約3割を占め、次いで「子どもが安心して遊べる場や居場所の確保」や「医療費助成など経済的支援の充実」がそれぞれ約2割との回答になった。

○性別・世代別



性別・世代別にみると、若い世代ほど「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」と「医療費助成など経済的支援の充実」を選択する割合が高い。

○地域別



地域別にみると、特に相模大塚地区において「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」と「医療費助成など経済的支援の充実」を選択する割合が高い。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として 50 件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

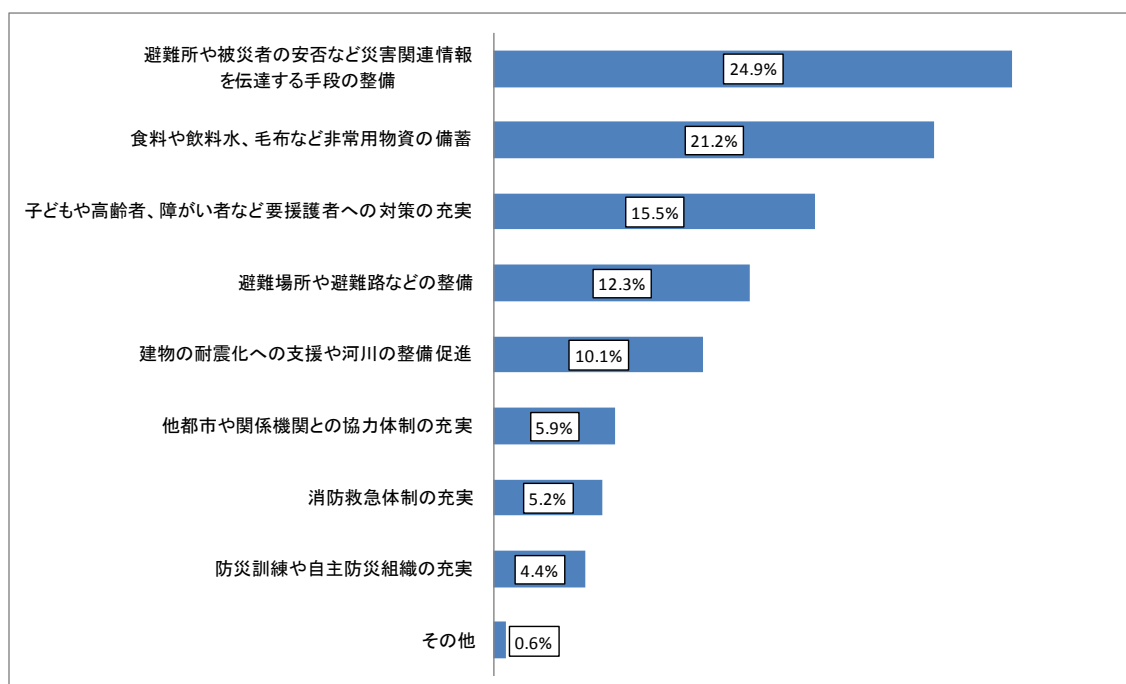
- 出産時にかかる高額な費用の為、子供を作ることができない家庭が多い。少子化対策として、産時費用の助成や不妊治療の助成をして欲しい。(4 件)
- 学校教育のレベル向上に取り組んで欲しい。(4 件)
- 通学路の整備をして欲しい（危険な所がたくさんある）。(3 件)

(8) 防災対策に関する取り組み (問8)

問8 防災に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

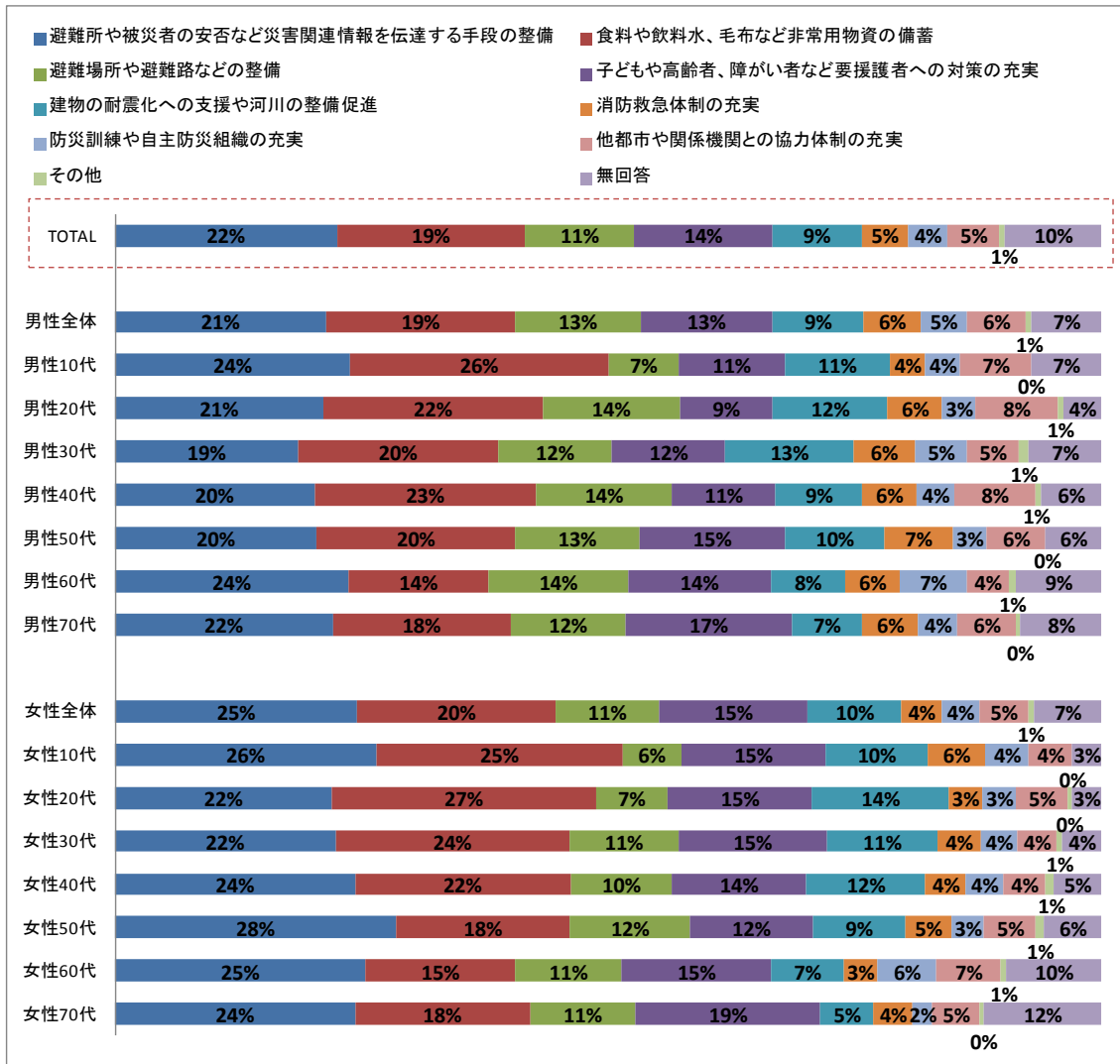
(○印は2つまで)

- 1 避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備
- 2 食料や飲料水、毛布など非常用物資の備蓄
- 3 避難場所や避難路などの整備
- 4 子どもや高齢者、障がい者など要援護者への対策の充実
- 5 建物の耐震化への支援や河川の整備促進
- 6 消防救急体制の充実
- 7 防災訓練や自主防災組織の充実
- 8 他都市や関係機関との協力体制の充実
- 9 その他 (具体的に：)



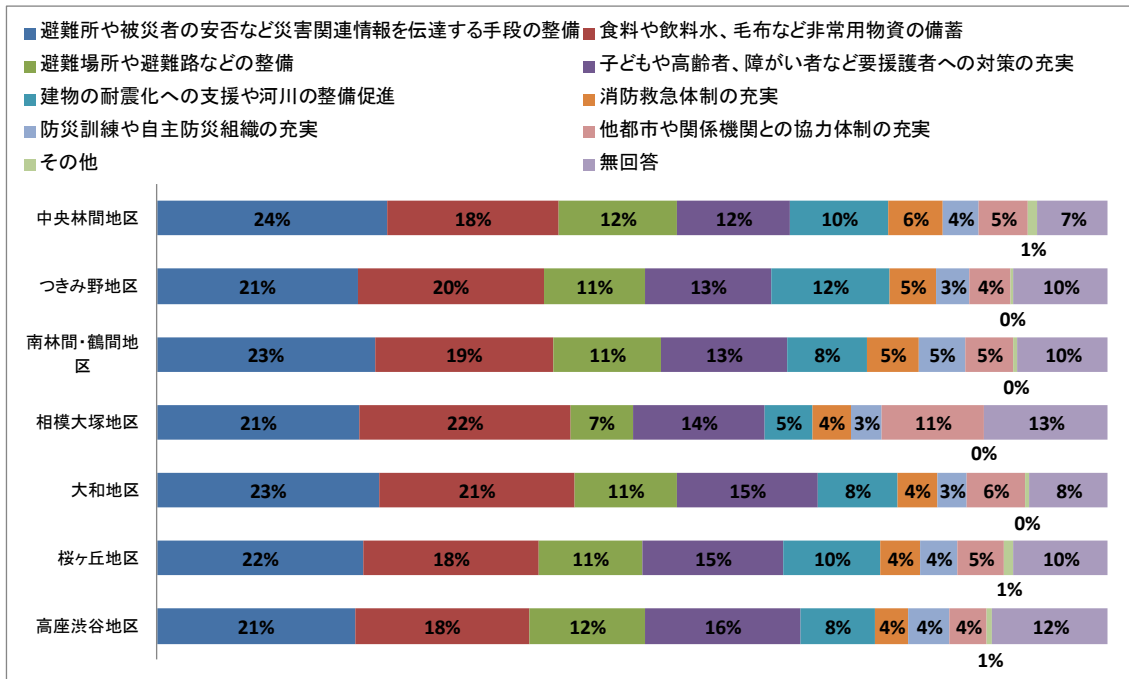
「避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備」という回答が25%を占め、次いで「食料や飲料水、毛布など非常用物資の備蓄」が21%、「子どもや高齢者、障がい者など要援護者への対策の充実」が15%との回答になった。

○性別・世代別



性別・世代別に見ても、性別や世代によって特に力を入れて欲しい項目に違いはなかった。

○地域別



地域別に見ても、地域によって特に力を入れて欲しい項目に違いはなかった。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として 33 件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

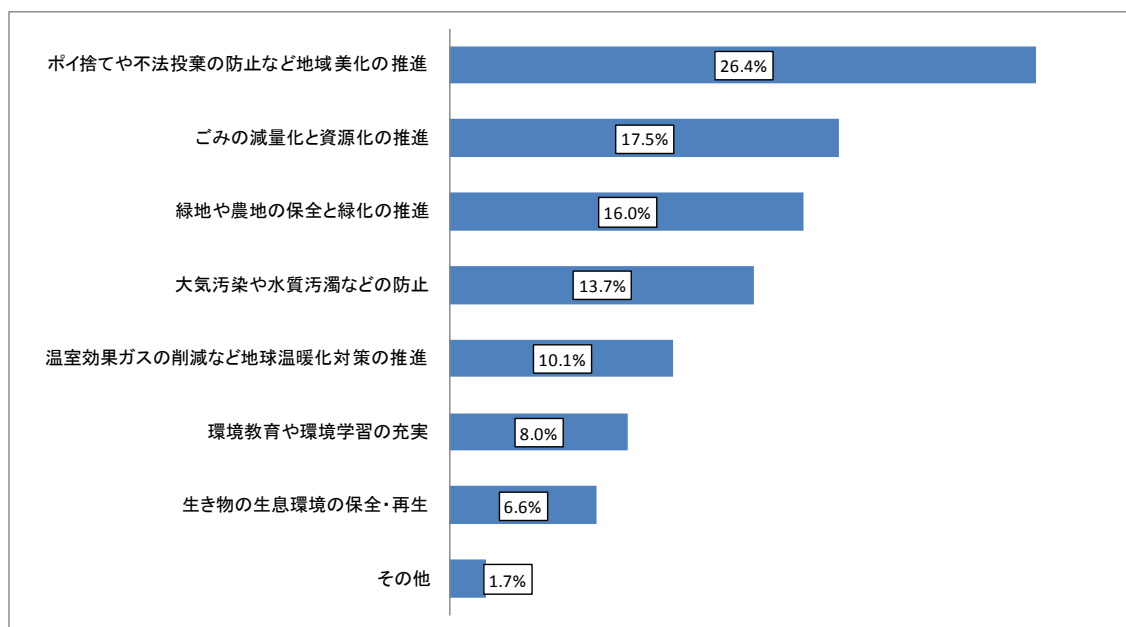
- 防災放送が聞き取れない。何を言っているのかさっぱり分からない。(7 件)

(9) 環境問題に対する取り組み (問9)

問9 環境に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

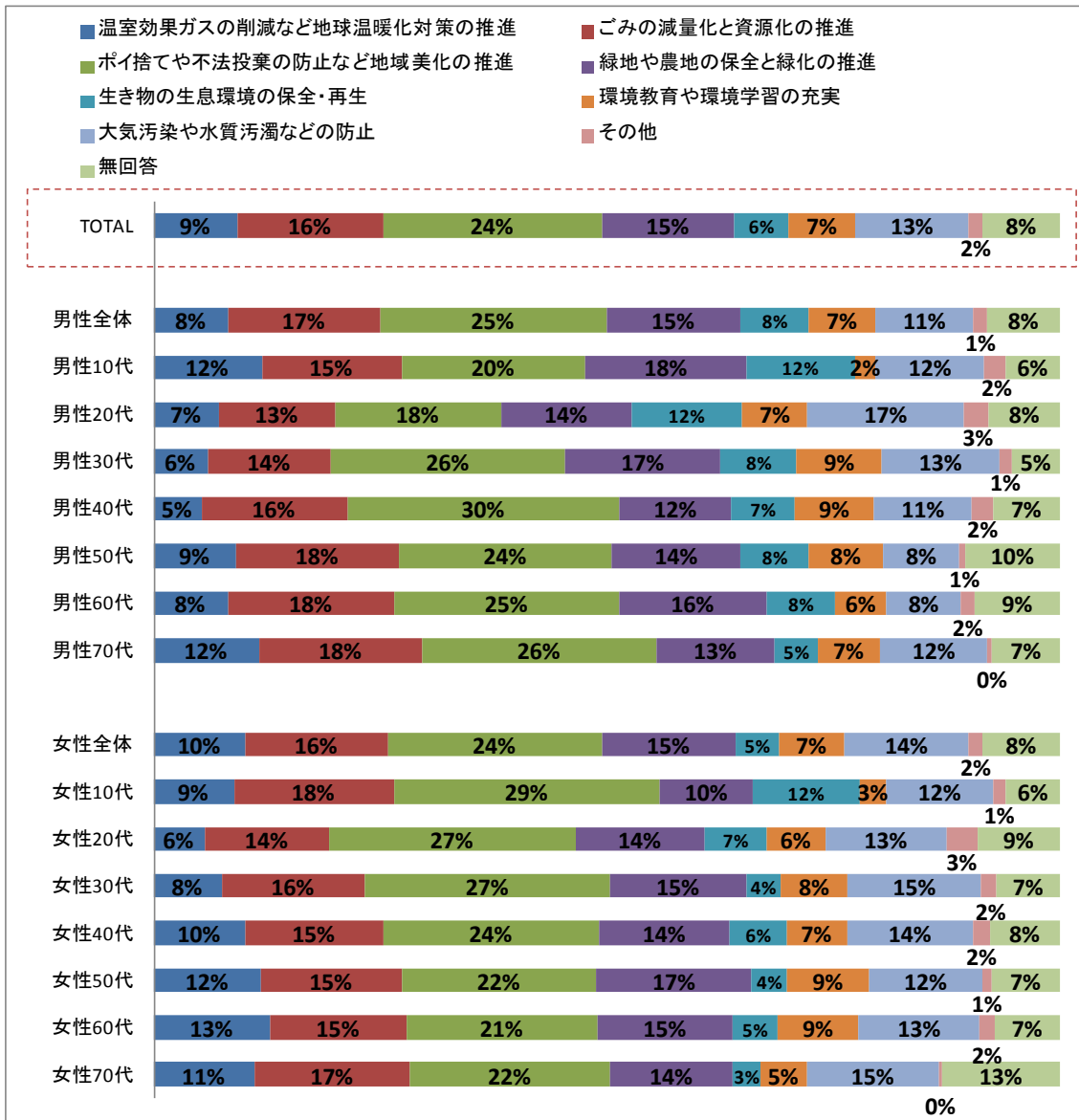
(○印は2つまで)

- 1 温室効果ガスの削減など地球温暖化対策の推進
- 2 ごみの減量化と資源化の推進
- 3 ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進
- 4 緑地や農地の保全と緑化の推進
- 5 生き物の生息環境の保全・再生
- 6 環境教育や環境学習の充実
- 7 大気汚染や水質汚濁などの防止
- 8 その他 (具体的に:)



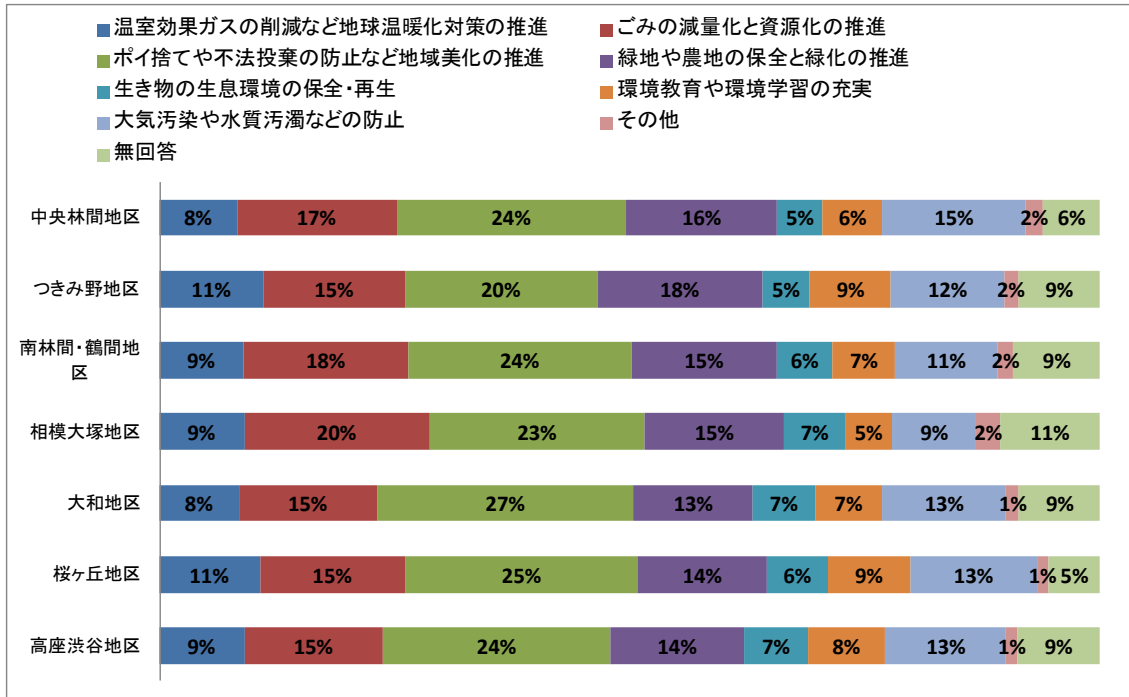
「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」という回答が26%を占め、次いで「ごみの減量化と資源化の推進」が18%、「緑地や農地の保全と緑化の推進」が16%との回答になった。

○性別・世代別



性別・世代別にみると、男性、女性ともに「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」、「ごみの減量化と資源化の推進」、「緑地や農地の保全と緑化の推進」の順に回答が多い。

○地域別



地域別に見ても、地域によって特に力を入れて欲しい項目に違いはなかった。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として 80 件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

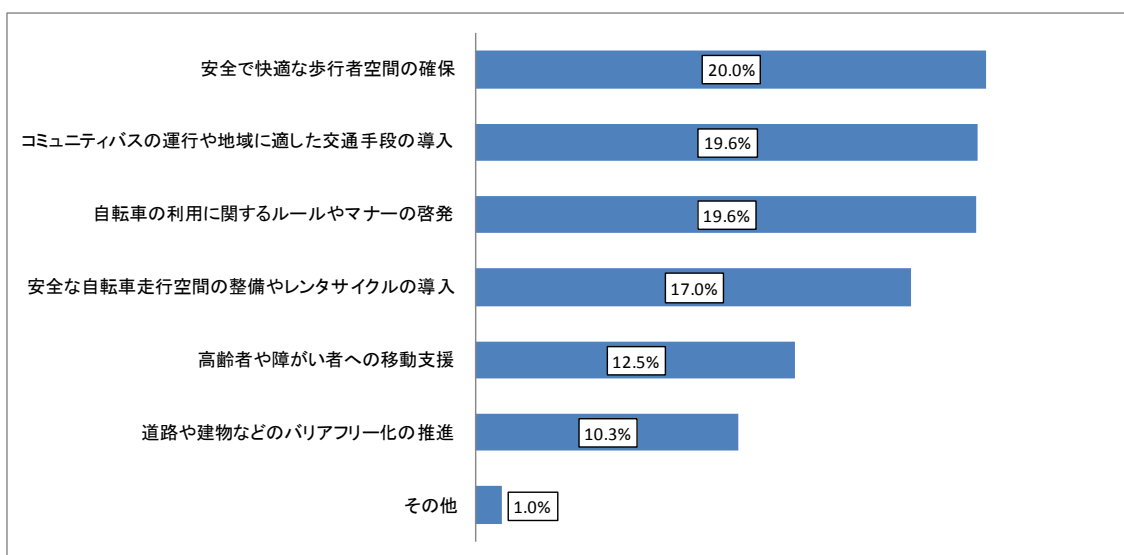
- 航空機による騒音をどうにかして欲しい。(24 件)
- 喫煙所の整備などを行い、歩きタバコや吸殻のポイ捨てを無くして欲しい。(11 件)
- ポイ捨て、ペットの糞尿が多すぎるので、何かの罰則を作って欲しい。(6 件)

(10) 移動しやすいまちづくりに関する取り組み (問10)

問10 移動しやすいまちづくりに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

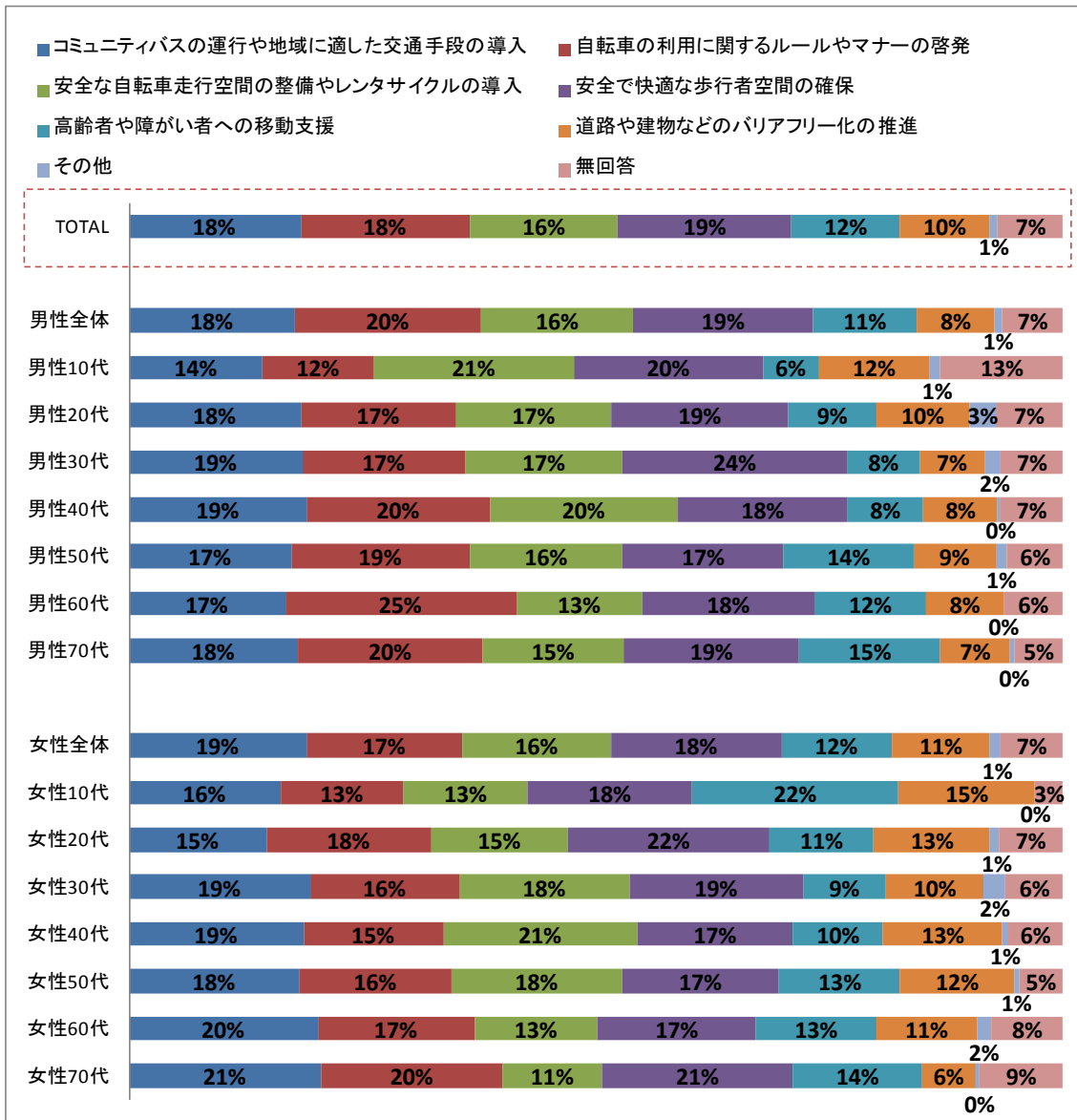
(○印は2つまで)

- 1 コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の導入
- 2 自転車の利用に関するルールやマナーの啓発
- 3 安全な自転車走行空間の整備やレンタサイクルの導入
- 4 安全で快適な歩行者空間の確保
- 5 高齢者や障がい者への移動支援
- 6 道路や建物などのバリアフリー化の推進
- 7 その他 (具体的に: _____)



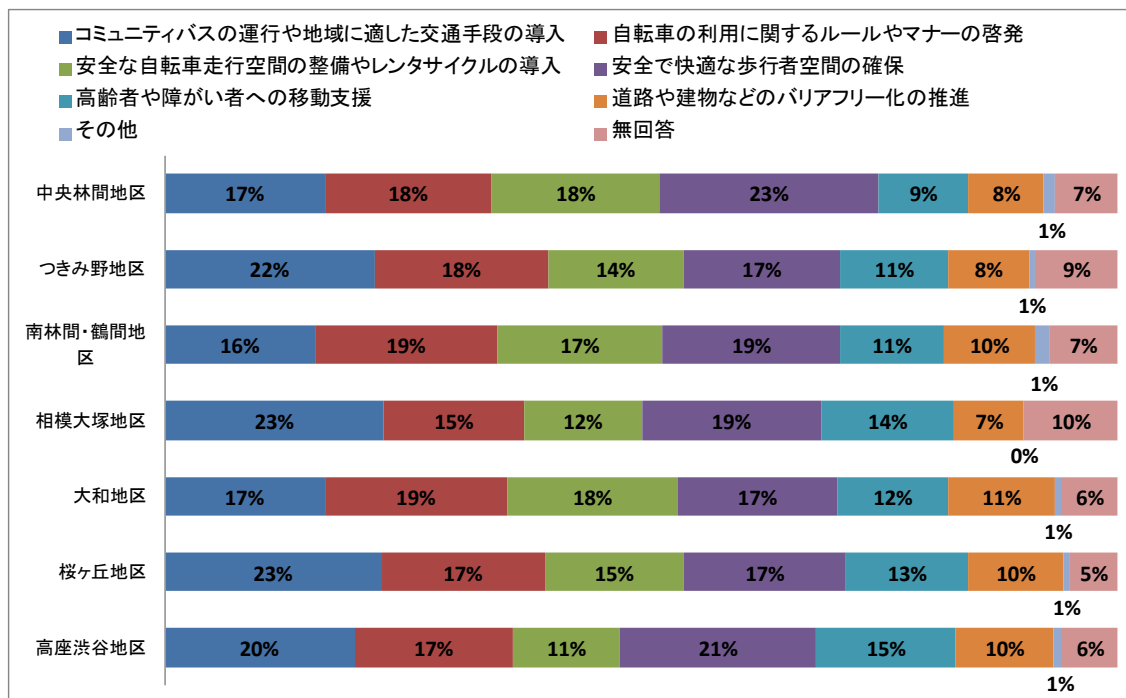
「安全で快適な歩行者空間の確保」、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の導入」、「自転車の利用に関するルールやマナーの啓発」という回答がそれぞれ約20%を占め、次いで「安全な自転車走行空間の整備やレンタサイクルの導入」が17%との回答になった。

○性別・世代別



性別・世代別にみると、男性10代における「安全な自転車走行空間の整備やレンタサイクルの導入」の割合が高くなっている。

○地域別



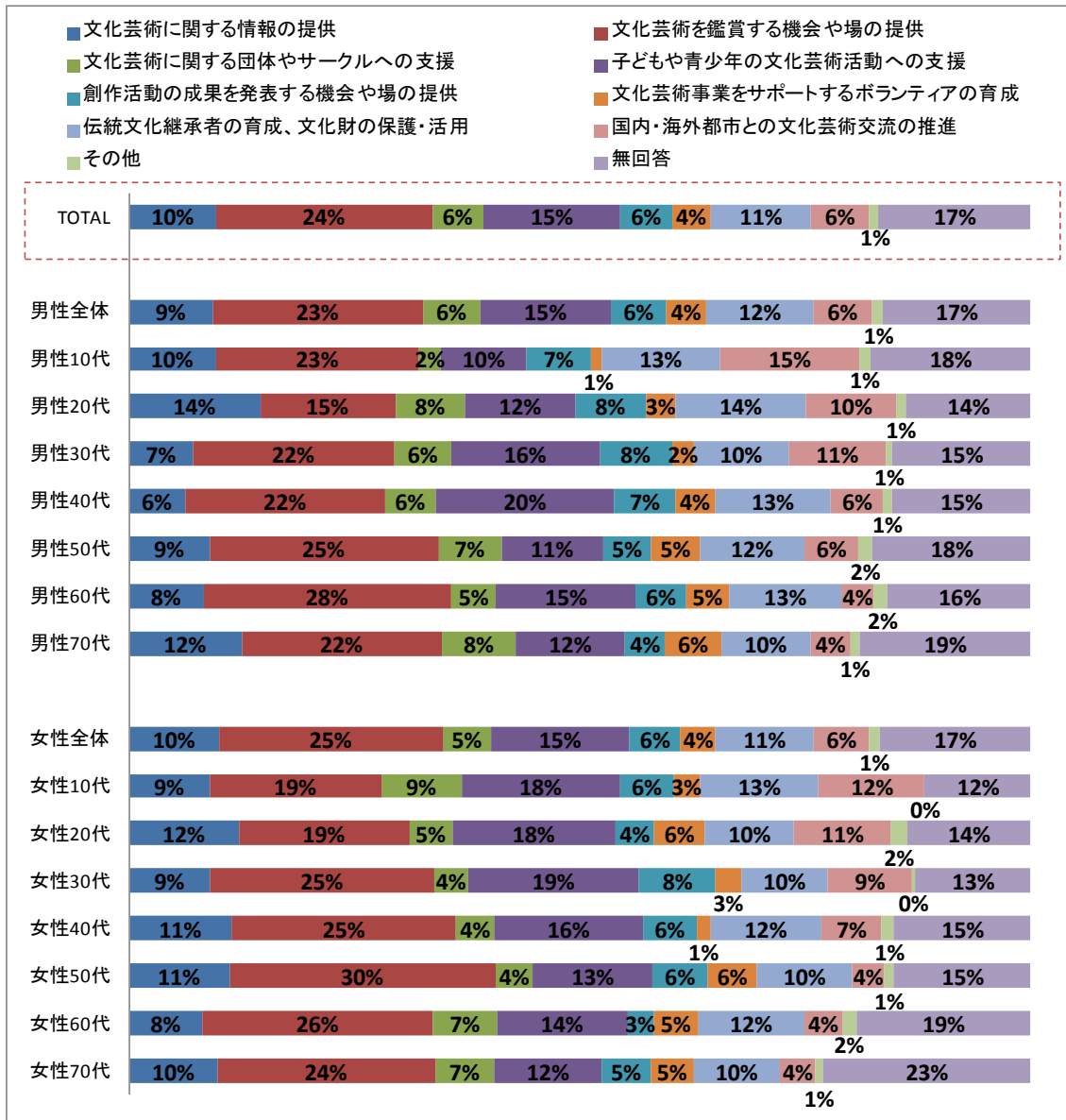
地域別にみると、中央林間地区と高座渋谷地区において「安全で快適な歩行者空間の確保」を選択する割合が高くなっている。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として 64 件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

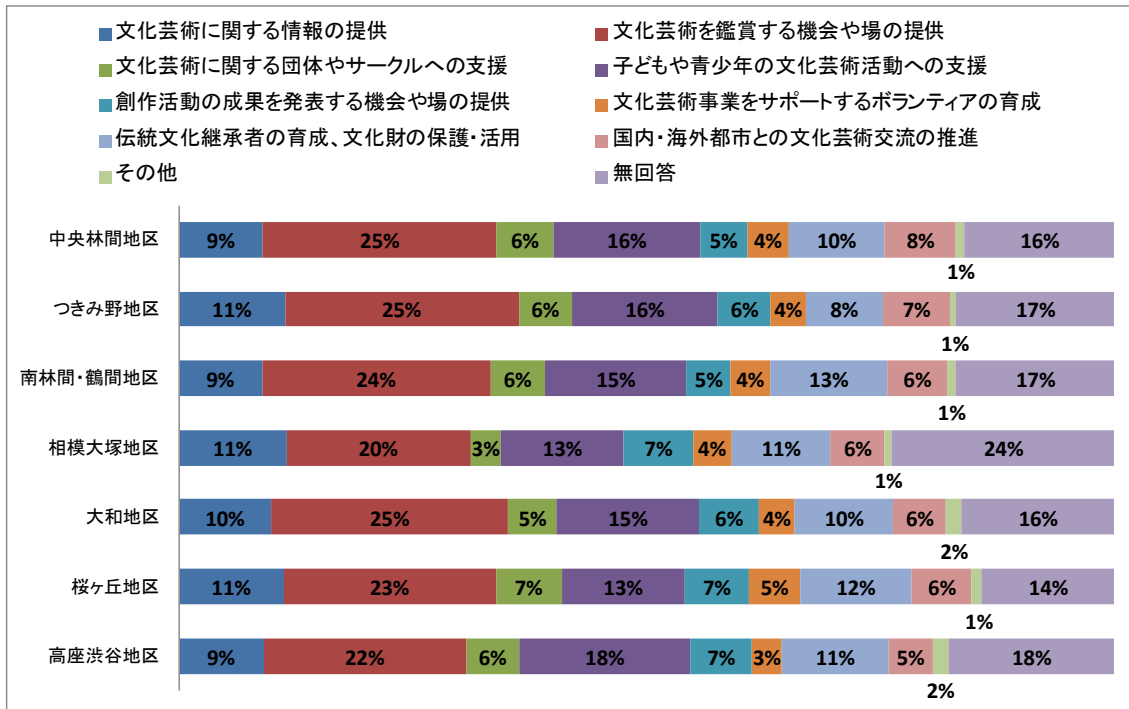
- コミュニティバスの運行回数やルートを増やし、高齢者や障害者が移動しやすいようにして欲しい。(14 件)
- 駐輪場・駐車場を作ってほしい。現状少なく、停める所が狭い。(7 件)
- 自転車が走れる道を作って欲しい。(6 件)

○性別・世代別



性別・世代別にみると、男性、女性共に10代における「国内・海外都市との文化芸術交流の推進」の割合が高くなっている。

○地域別



地域別にみると、各地域ともに「文化芸術を鑑賞する機会や場の提供」、「子どもや青少年の文化芸術活動への支援」を選択する割合が多い。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として 57 件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

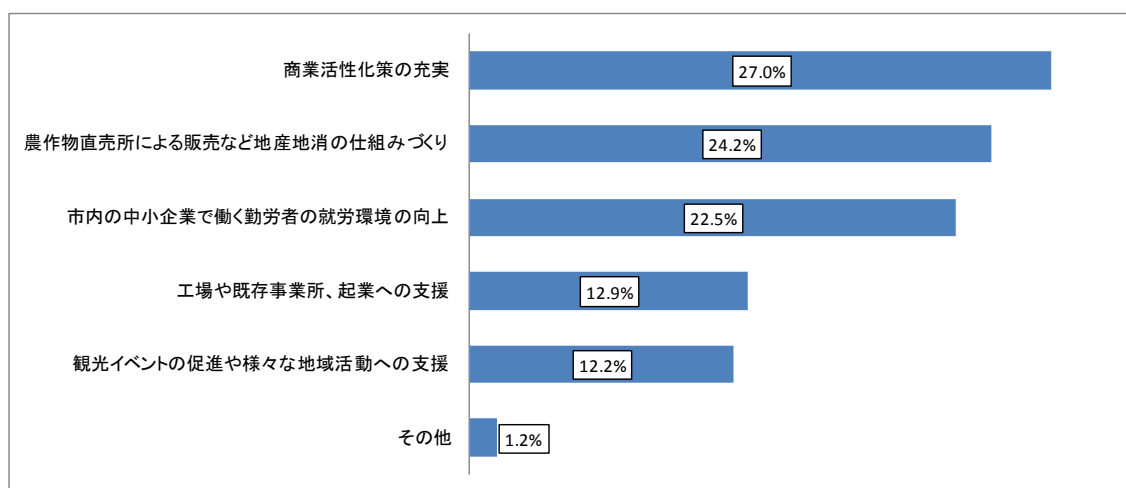
- 文化ホールを建設して欲しい。(21 件)
- 予算がかかることは減らし、より優先順位が高いことに使って欲しい。(6 件)

(12) 地域経済の活性化への取り組み (問12)

問12 地域経済の活性化に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

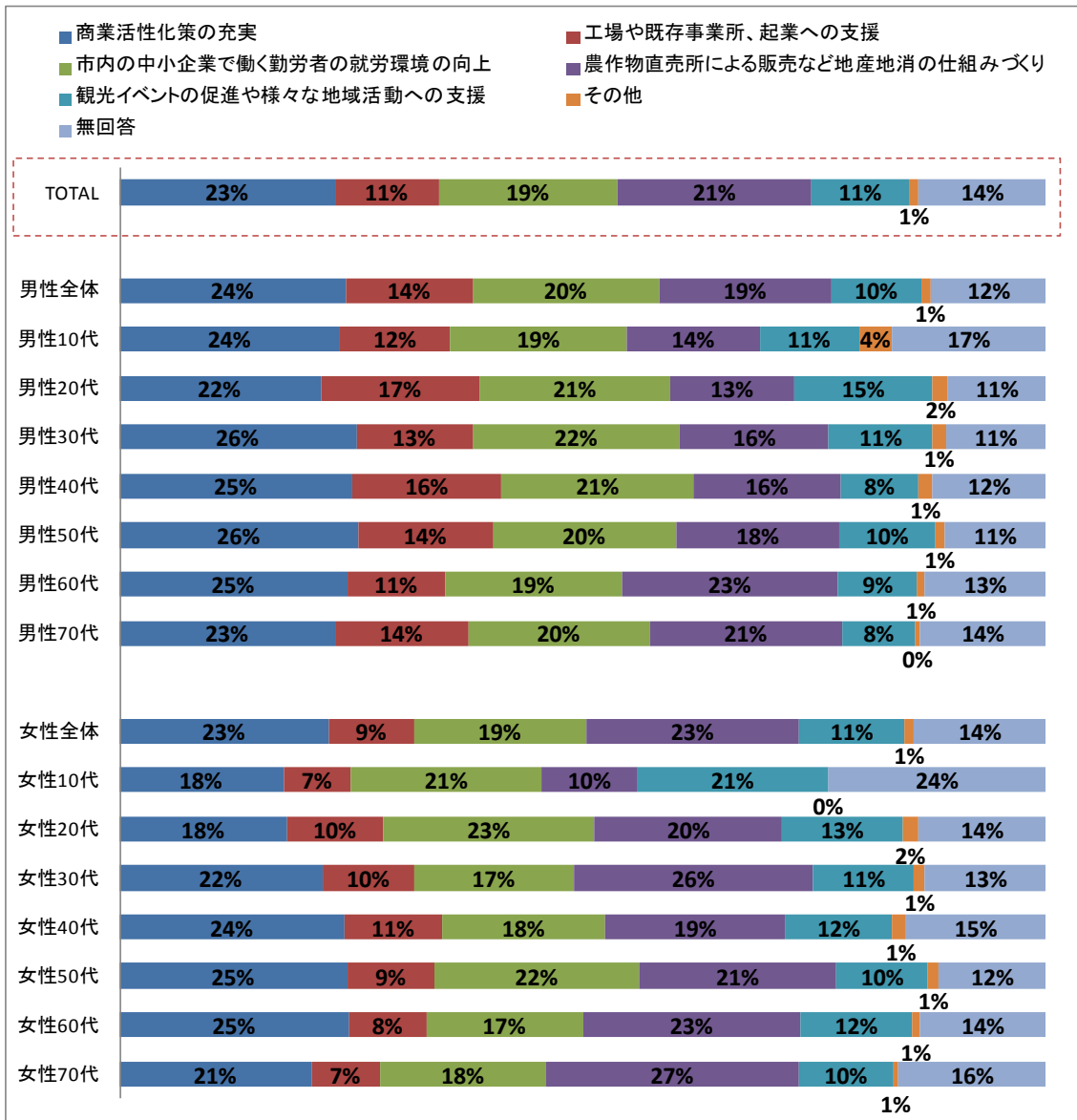
(○印は2つまで)

- 1 商業活性化策の充実
- 2 工場や既存事業所、起業への支援
- 3 市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上
- 4 農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり
- 5 観光イベントの促進や様々な地域活動への支援
- 6 その他 (具体的に: _____)



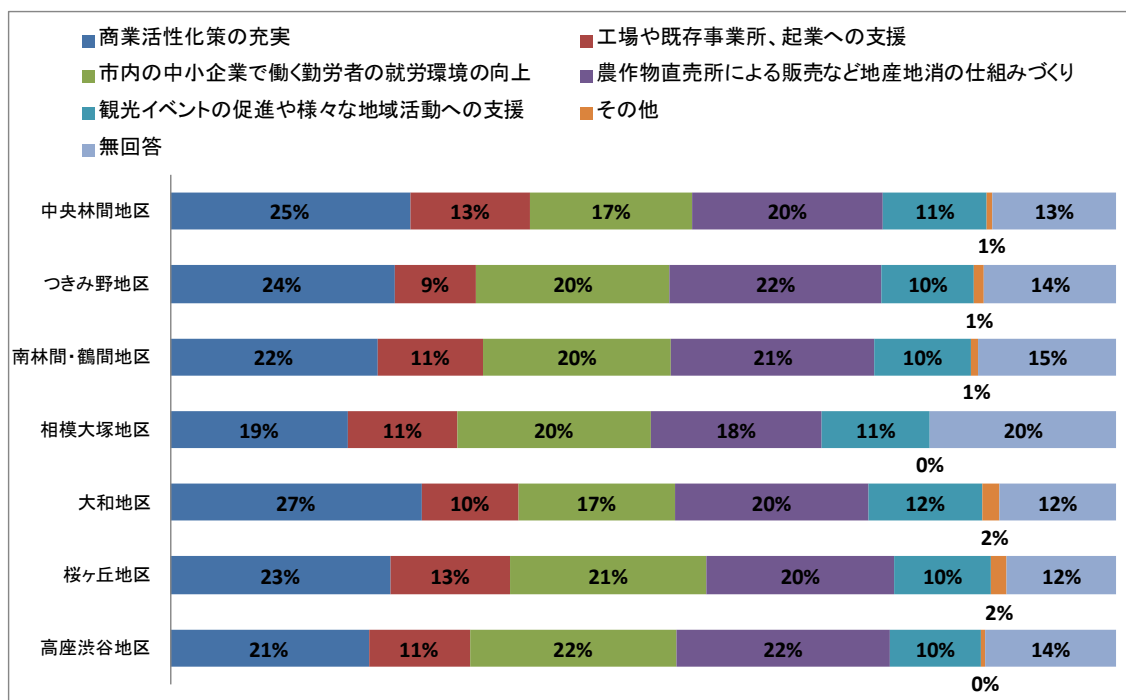
「商業活性化策の充実」という回答が27%を占め、次いで「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」が24%、「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」が22%との回答になった。

○性別・世代別



性別・世代別にみると、女性10代における「観光イベントの促進や様々な地域活動への支援」の割合が高くなっている。

○地域別



地域別に見ても、地域によって特に力を入れて欲しい項目に違いはなかった。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として 59 件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

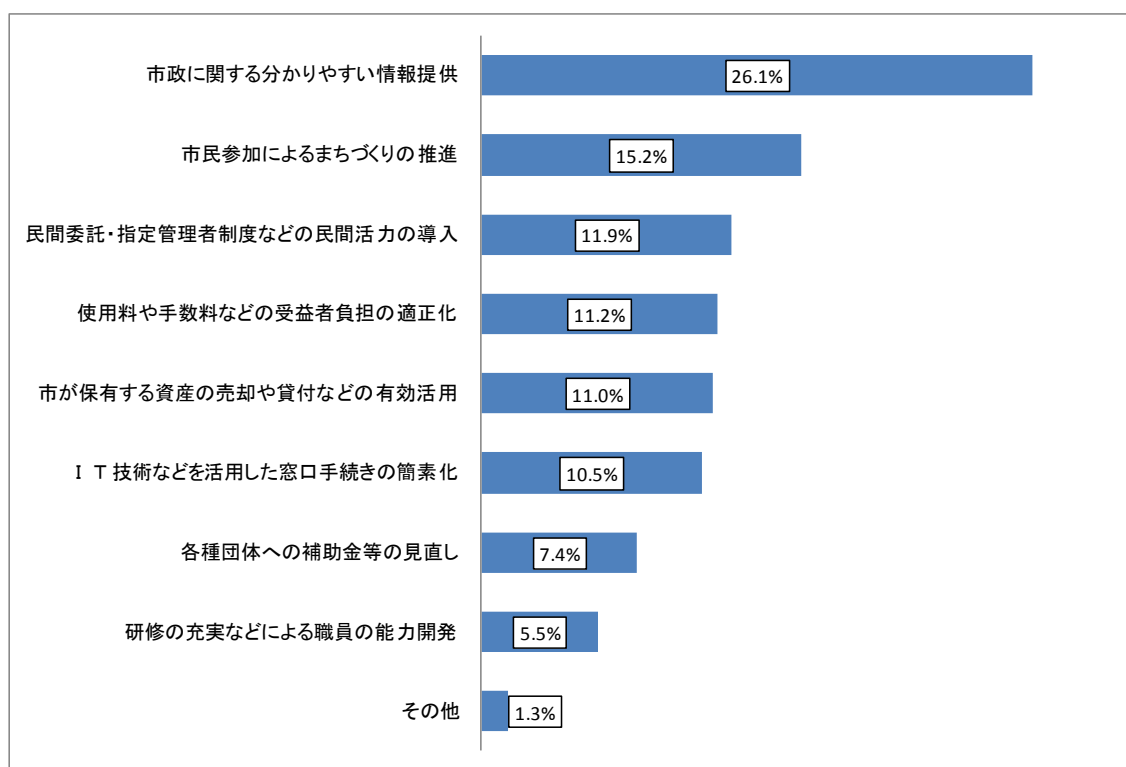
- 地元の商店街の活性化が必要である。(11 件)
- 大和駅をはじめ再開発や大型商業地域の開発をして欲しい。(5 件)

(13) 行政経営に関する取り組み (問13)

問13 行政経営に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

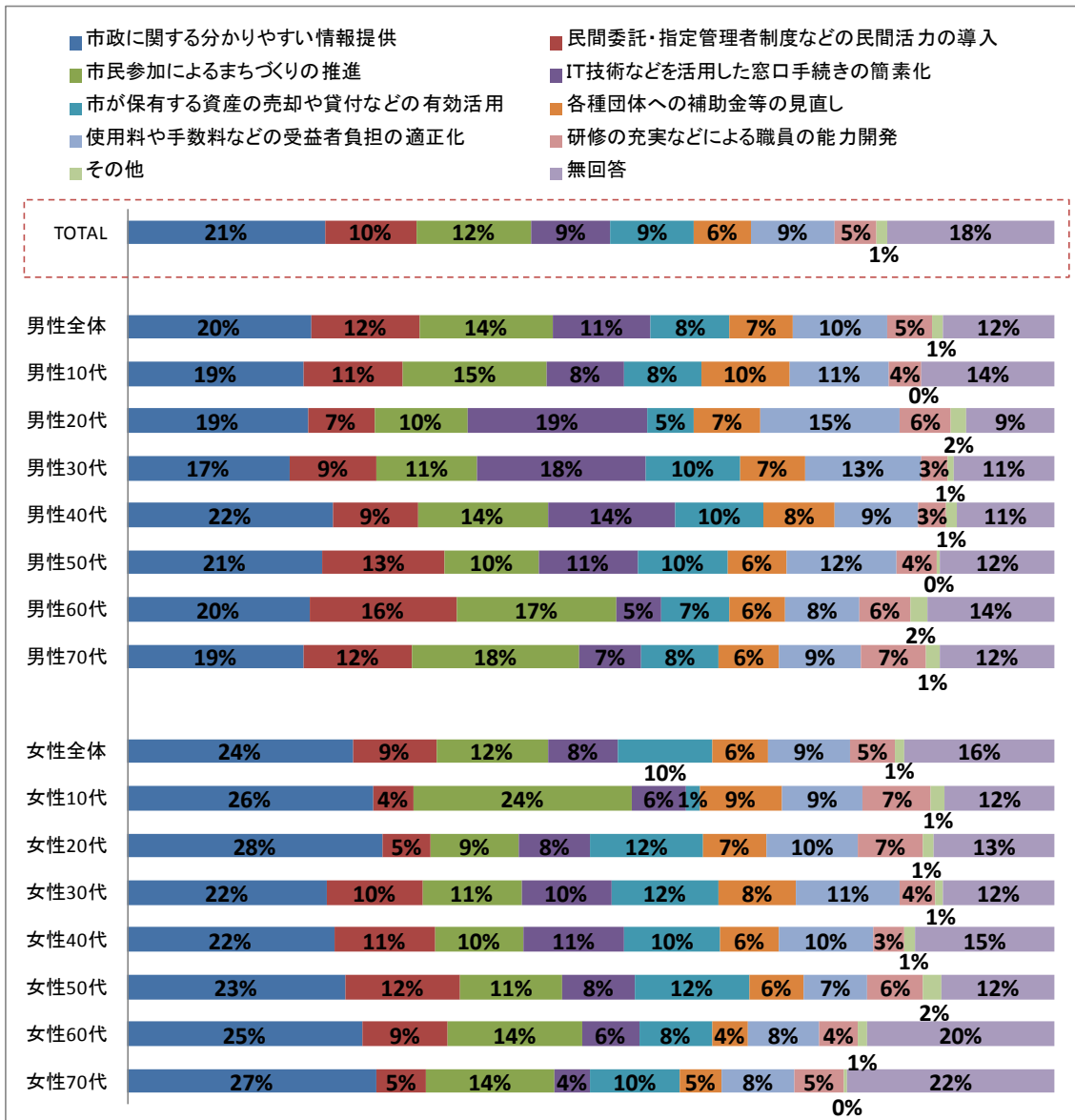
(○印は2つまで)

- 1 市政に関する分かりやすい情報提供
- 2 民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入
- 3 市民参加によるまちづくりの推進
- 4 I T技術などを活用した窓口手続きの簡素化
- 5 市が保有する資産の売却や貸付などの有効活用
- 6 各種団体への補助金等の見直し
- 7 使用料や手数料などの受益者負担の適正化
- 8 研修の充実などによる職員の能力開発
- 9 その他 (具体的に：)



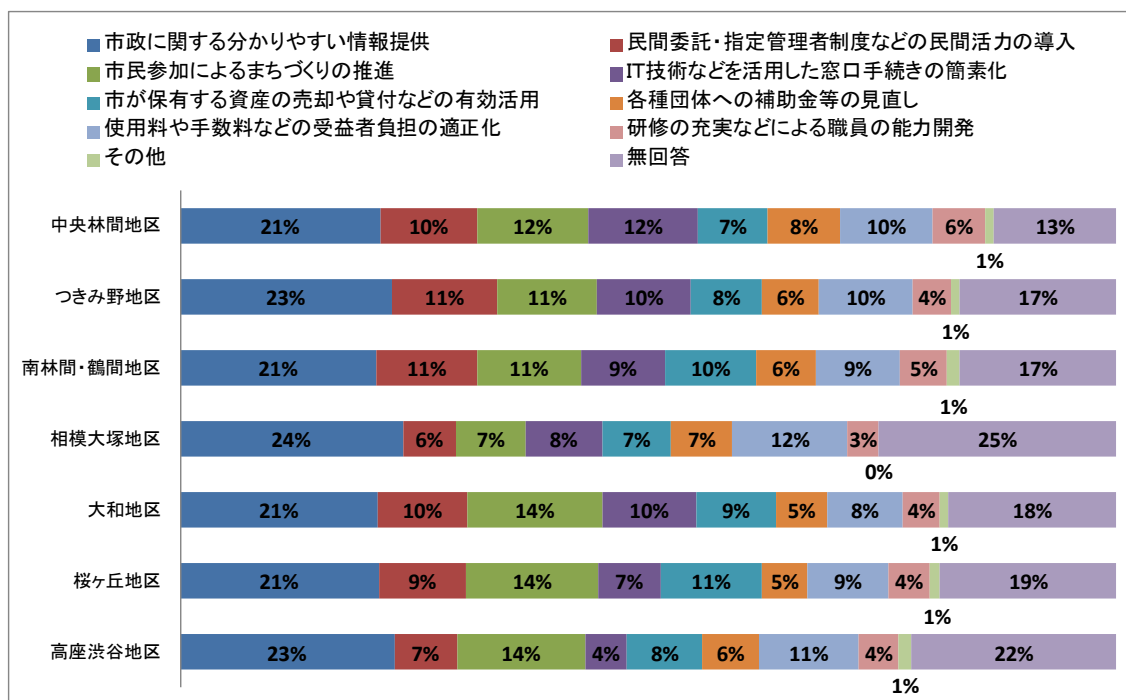
「市政に関する分かりやすい情報提供」という回答が26%を占め、次いで「市民参加によるまちづくりの推進」が15%、「民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入」が12%との回答になった。

○性別・世代別



性別・世代別にみると、女性10代における「市民参加によるまちづくりの推進」の割合が高い。また、男性に20代における「IT技術などを活用した窓口手続きの簡素化」の割合が高い。

○地域別



地域別に見ても、地域によって特に力を入れて欲しい項目に違いはなかった。

○その他（自由記述）について

その他の具体的意見として 59 件の記載があり、そのうち件数の多かった意見は下記の通りである。

- 行政改革の結果として、職員数の削減をすべき。(4 件)
- 職員の意識改革をお願いしたい。(3 件)
- 市民目線のわかりやすい言葉（納得しやすい）で応対して欲しい。専門用語を並べたてられても分かりません。(3 件)

(14) まちづくりに関する自由意見

○ 回答者 2,510 人のうち 893 人からまちづくりに関する自由意見が述べられた。そのうち、自由記述欄に記載された事項で、特に多かった点は以下の 5 点であった。

- ◇ 航空機の騒音問題に対する対策が不十分。
- ◇ 自転車のマナーの悪さ。
- ◇ 待機児童が多く、働きながら子育てする環境に対する対策が不十分。
- ◇ 細い道路が多く、危険。
- ◇ 街灯が少ないことや防犯パトロールが不十分であり、防犯に対する対策が不十分。

○ 自由記述の回答について、主な意見の内容を以下のように基本目標別にまとめた。

基本目標 1 1人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

■高齢者の雇用について

- 会社を引退したけれどまだまだ働く能力のある人もたくさんたくさんいます。高齢者をいかした街づくりのモデルとなれば、住みたいと思う人も増え、高齢者の健康増進という副産物も期待できそうです。
- 60 歳以上の高齢者に対する雇用支援を積極的に行って欲しい。

■高齢者の健康作りについて

- 老人が増えていく中で、近い将来、自分達がお世話になる老人ホームを探すのが大変と伺って居ります。
- 医療費を軽減させるためには、高齢者の体力作りをして頂くような場所を提供してほしい。
- 広報に老人会の紹介を載せてはどうか。高齢者、独居老人同士の交流を活発にさせる方法を考えて欲しい。

基本目標2 子供が生き生きと育つまち

■子育てについて

- 学童をもっと充実させてほしいです。小学生が一人で日が暮れてお家で両親を待つのはかわいそう。働きやすい環境を整えてもらえると、子供だけでなく、両親も家の事を気にせずに働けるかと思います。私学・公立問わず、皆が使える学童を作ってほしいです。
- 教育施設の除染・耐震化を進めて欲しいです。
- 子どもが遊べる安全な場所を増やして欲しい。

■教育費の助成について

- 子供を育てていると、何かとお金がかかります。医療、教育、進学に対し、金銭的に援助してもらえる制度がもっと必要です

■小児医療費の助成について

- 子供の小児医療証が、所得制限でもらえなくなりました。私の子供は、医療にかかることが多いので、中学までは、医療を受診するのに無料にして欲しいです。所得があっても、これでは生活が苦しいです。
- 医療費助成の年齢上限を上げて欲しい。そして、全ての子供を対象にして欲しい。収入で決めるのはおかしいと思う。

基本目標3 安全と安心が感じられるまち

■防犯について

- 夕方4時～6時の間、各地域にて安全パトロールの推進をお願いします。特に通学路にあたる防犯灯の設置する場所を中心にパトロールを行ってはいかがでしょうか。
- ひったくりが多発しているようなので、防犯策を強化していただきたい。
- 大和市は全体的に街灯が少なく、暗いイメージがある。

■防災について

- 震災後、とても不安だったので防災について調べたが、結局自分がどこの避難場所へ行ったら良いのか、全然わからなかった。今もわからないままです。この地域に住む人は、この避難場所という明確な防災マップを作成して欲しい。
- 市の放送が聞き取れない。放送しているのは分かりますが内容が分かりません。良く聞きとれる近い所に設置して下さい。

■生活環境について

- 航空機による騒音をもっと減らして欲しいです。

基本目標4 環境を守り育てるまち

■自然への親しみについて

- 駅周辺に緑も少なく、ざわついた市という感じです。駅前周辺は街の顔とも言えるのでは。せめて緑とベンチを増やして欲しいです。
- ジョギングコース（景観豊かな）とサイクリングコース、散歩コース（並木道）も欲しいです。

■ごみ捨てについて

- 緑が多いようだが、実態は生活ゴミの捨て場になっている。所有者との協定で、減税の見返りとして、林の整備を求めるべき。
- タバコ等のポイ捨てが気になります。神奈川県条例もありますので、歩きタバコなどきびしい規制をしてほしいと思います。

■放射能について

- これから何十年もの間、放射能と付き合っていかなければいけません。この取り組みと放射線量を計る機械を貸し出してほしいです。

基本目標5 快適な都市空間が整うまち

■道路整備について

- 道路の交差が変則の為、危険場所が多い。
- ベビーカー、車椅子でも安心して通れる道を整備して欲しい。
- 市内の道路全般を調査して、歩道もない様な道路も多いとは思いますが、せつかくある歩道は水はけの良い歩道に改善して、又、東京のように狭い道路は一方通行にするなどしてほしい。
- 道がせまく見通しの悪いT字路、十字路が多いにもかかわらず、一時停止線等がなく自転車やバイクの飛び出しや、走り方が危険な気がします。ミラーはたくさん付いていますが、どちらが優先なのか。一時停止線や看板などで危険な場所を整備してもらえたらと思います。（特に最近、急に人口が増えたので人も車も増えたので整備が必要に思います）
- 最近、高齢者が多く、車イスで移動する場面が、多く見受けられる。道路（歩道）、あるいは公共施設のバリアフリーの推進をしてもらいたい。
- 大和市の道路がせまいので、朝の通勤、通学時に自転車専用の通る場所の確保を実施して欲しい。

■公共交通について

- コミュニティバスを狭い道でも通れるように、もう少し小さくして高齢社会に備えてバス停などを増やしたり、ルートを細かく検討したらもっと良くなると思います。

■自転車の取り締まりについて

- 自転車利用のルールを条例化して欲しい。今一番怖いのは自転車と衝突して怪我することである。本当は歩道で自転車を走らせることを禁止してもらいたいがそれが不可能なら、後から歩行者を追い抜く時は必ずベルを鳴らして歩行者の注意を喚起することを義務付けてもらいたい。また最近流行りと聞き、ブレーキなしの自転車は歩道利用禁止を条例で決めてもらいたい。
- 私の住んでいる南林間地区で、特に思うのですが狭い道が多いので、一方通行、及び交互通行の標識を解かりやすく表示する事と、自転車の数も増しておりますので、自動車、自転車の安全確保及びマナーの育成に力を入れて欲しいと思います。
- 自転車専用レーンを設置して、自転車と歩行者を分離させてもらいたい。

基本目標 6 豊かな心を育むまち

■施設の利用について

- バレエの教室に通っていた時に、発表会前でしたので、個人的に練習がしたくて、公共で借りることの出来る場所を探した所、学習センター、コミュニティーセンター、青少年センター、勤労福祉会館、全て規制がきびしくて、単発で借りられる場所がなかった。規制を緩和して欲しい。

■施設の整備について

- 大和市にはきれいな建物や広場が少ないと思います。美術館やホール等、文化や美術に貧しい感じがします。保育園に2年間待っても、低収入の人達にとってはきついようです。幼稚園に入れる費用が多くてぼやいています。
- コンサートホール等のイベントホール施設の建設をお願いしたい。

■青少年の教育について

- 若年層の飲酒・喫煙がとても気になります。深夜に限らず駅前で騒いだり、ゴミを散らかしたり、何度もため息が出てしまうような行為を見ました。子供は将来の町づくりを担っていく大事な存在なので、青少年への育成にもう少し力を入れて欲しいと思います。

基本目標7 市民の活力があふれる町

■産業について

- 大型店が多く、商業的にはかなり満足して来たようですが、昔ながらの商店街が寂れてきていますので、その辺を何かアイデアが出て活性化すると良いと思います。
- 地域の活性化の一環として、ショッピングモールのようなものを大和にも作ってもらえたら、非常に便利でうれしい。
- 大和駅周辺の街づくりを充実させて欲しいです。子連れで大和駅に出掛けても、食事するところは2階以上のところが多く、ベビーカーで行っても不便だったり、遊べる所も無いので、大和駅には行きません。車であれば、出掛ける場所も多いので私はそこまで不便でないが、駅利用の人は(子連れ)相模大野まで行く人が多いようです。
- 大和駅を利用して通勤しておりますが、鶴間、高座渋谷駅周辺の商業施設と比べ、大和駅周辺はせっかく相鉄線が地下化し広場ができたのに、今の駅ビルでは、不十分です。地元路面店の人達が、大型店を作るのを反対したのだと思いますが、シャワー効果で地元商店街も発展することと今実感していると思います。大和市行政も参加した形で駅周辺の再開発を早急に進めてもらいたい。このままだと電車の乗り換えだけの大和駅になってしまうと思います。

■地域の活動について

- 地域ごとに集える場所を作り、気軽に談話が出来、お茶が飲める所が欲しい。(老若男女)
- イベントを頻繁に行ってほしいです。
- 私は小規模の自治会に属しています。世帯数が少ない上高齢化により役員を受けの人がいなく自治会維持が困難になっています。自治会長は役員会、行事、夜の集まりなど出る機会が多く、高齢者には負担が多すぎます。近隣の自治会に吸収してほしいと頼んでもメリットが無い等断られます、大きな自治会には、老人会、子供会、お祭等活性化している中、何も出来ずお年寄り家の中で引き込んでいます。又、近年地震、災害など不安な世の中、自治会を通しての連絡網が必要な時に、このままでは行き詰ってしまいます。出来れば市の方で地区割、合併など良い方法を検討して頂ければ幸いです。

IV. 調査結果のまとめ

アンケート調査の結果を分析し、その分析結果を市全体、地域ごとに分類すると、以下の通りとなる。

(1) 調査から分かったこと (市全体)

【平成 20 年度調査時との比較】

前回調査と比較して、次のようなことがわかった。

- 前回調査時と比べて、市民の大和市に対する愛着が高くなった。(p. 21)
- 前回調査時と比べて、「地域医療や救急医療に関すること」、「防犯や交通安全に関すること」に関する満足度が高くなった。(p. 28)
- 前回調査時と同様に、「緑地の保全やごみの減量化、温室効果ガスの削減に関すること」、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」、「交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること」については満足度が高い。(p. 28)
- 前回調査時と比べて、「子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」の重要性が高くなった。また、満足度に関しては前回調査時と同様に低い。(p. 28)
- 前回調査時と比べて、大和市に対する定住意識が高い。(p. 26)

【今回の調査で分かったこと】

今回の調査によって、次のようなことがわかった。

- 20 歳未満と 60 歳以上の大和市に対する愛着が高い。(p. 18)
- 居住年数が 20 年以上の住民の愛着心が特に高い。(p. 21)
- 高齢者世代の定住意識が強い一方、若い世代の定住意識が低い。(p. 24)
- 特に地域医療・救急医療に関する分野、防犯・交通安全に関する分野、教育に関する分野の重要度が高い。(p. 28)
- 「地域医療や救急医療に関すること」、「交通利便性の向上や快適な移動空間の確保に関すること」については住民の満足度が高い。(p. 28)
- 介護サービスの充実を求めると同時に高齢者になっても勤労意欲が高い。(p. 43)
- 子育てをしながら働くための支援に関する意見と子どもの健康・安心に関する意見が多い。(p. 46)
- 若い世代ほど、子育てに関する取り組みとして、働くための環境整備と経済的支援を求める意見が多い。(p. 47)

【大和市の課題】

今回の市民意識調査によってわかったことを元にした、大和市の課題は次の通りである。

○課題1

「心身の健康や地域福祉に関すること」の満足度を上げること。

(求められていること)

- ✓ 健康診断や各種診断を充実させる施策が求められている。(p. 40)
- ✓ 10代、40代、50代の女性及び50代男性においては、心の健康に関する相談や情報提供を求めている。(p. 41)

○課題2

「子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」、「働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること」の満足度を上げること。

(求められていること)

- ✓ 働きながら子育てするための保育サービスや学童保育を充実させる施策が求められている。特に20代女性を中心とする若い世代から求める声が多い。(p. 47)
- ✓ 子どもが安心して遊べる場や居場所を充実させることが求められている。(p. 46)
- ✓ 医療費助成など経済的支援を充実させることが求められている。特に若い世代から求める声が多い。(p. 47)

○課題3

「防災に関すること」の満足度を上げること。特に、大和市北側について満足度を上げること。

(求められていること)

- ✓ 避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備すること、食料や飲料水、毛布など非常用物資の備蓄することが求められている。(p. 49)
- ✓ 防災放送を聞き取りやすくすることが求められている。(p. 51)

○課題4

「防犯や交通安全に関すること」の満足度を上げること。特に、大和市中央部南側について満足度を上げること。

(求められていること)

- ✓ 「防犯や交通安全に関すること」が重点的に進めて欲しい分野となっている。(p. 32)
- ✓ 自転車の利用についてルールを定めることが求められている。(p. 67)
- ✓ 街灯を増やすことが求められている。(p. 67)
- ✓ 警備のパトロールを強化することが求められている。(p. 67)

(2) 調査から分かったこと (地域別)

地域ごとの調査結果は一部に特徴はあったが、全体的に顕著な差は見られなかった。つまり、大和市全体として抱えている課題はどの地域においても抱えているものであるといえる。以下では、調査結果から読み取れる、各地域の特徴を記載している。

■中央林間地区

- 教育・子育てに関する分野の満足度が低いことが分かった。特に働きながら子育てしやすい環境づくりに関することについて満足度が低い。
- 心と健康に関する相談や情報提供を求める割合が高い。
- 安全で快適な歩行者空間の確保を求める割合が高い。
- 交通の便が良いことからそれに伴い歩行者の安全や効率的な公共交通サービスの提供が求められている。

■つきみ野地区

- 「防犯や交通安全に関すること」は他の地域と比較して、重要度・満足度共に高い。

■南林間・鶴間地区

- 「地域医療や救急医療に関すること」は他の地域と比較して最も満足度が高い。

■相模大塚地区

- 「子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」は他の地域と比較して重要度が高く、満足度も高い。
- 「働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること」は他の地域と比較して重要度が高く、満足度が低い。
- 「防犯や交通安全に関すること」は他の地域と比較して重要度が高く、満足度が低い。
- 「防災に関すること」は他の地域と比較して重要度が高く、満足度が低い。
- 「イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること」は他の地域と比較して重要度が低く、満足度が高い。

■大和地区

- 「働きながら子育てしやすい環境づくりに関すること」は他の地域と比較して重要度が高く、満足度が低い。
- 「防犯や交通安全に関すること」は他の地域と比較して重要度が高く、満足度が低い。
- 「イベントや観光資源を活かした様々な交流に関すること」は他の地域と比較して重要度が低く、満足度が高い。

■桜ヶ丘地区

- 「心身の健康や地域福祉に関すること」は他の地域と比較して重要度が高く、満足度も高い。
- 「防災に関すること」他の地域と比較して重要度が高く、満足度が低い。

■高座渋谷地区

- 高座渋谷地区における大和市に対する愛着心が他の地域と比較して低いことが分かった。
- 「子どもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」は他の地域と比較して重要度が高く、満足度が低い。